

第八十九回帝國議會
衆議院

農業團體法中改正法律案外一件委員會會議錄(速記)第四回

付託議案

農業團體法中改正法律案(政府提出)

(第八號)

水産團體法中改正法律案(政府提出)

(第九號)

臨時森林資源造成法中改正法律案

(政府提出)(第三號)

蠶絲業法改正法律案(政府提出)(第一號)

(十七號)

昭和二十年十二月十二日(水曜日)午前
十時三十分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 川崎巳之太郎君

理事 仲西 三良君 松延彌三郎君

理事 北 勝太郎君

愛野時一郎君 五十嵐吉藏君

石坂 義平君 今尾 登君

宇田 耕一君 岡田啓治郎君

楠美 省吾君 鈴木 重次君

田嶋榮次郎君 瀧地 文平君

別所喜一郎君 森川 仙太君

山田 六郎君 安孫子孝次君

青山 三三君 加藤 知正君

眞藤慎太郎君 唐橋 重政君

二田 是儀君 川俣 清吾君

同日委員大石君辭任ニ付其ノ補闕ト
シテ加藤知正君ヲ議長ニ於テ選定セリ

出席國務大臣左ノ如シ

農林大臣 松村 謙三君

商工大臣 小笠原三九郎君

出席政府委員左ノ如シ

農林政務次官 紅靈 昭君

農林參事官 子爵北條 篤八君

農林省總務局長 楠見 義男君

農林省農政局長 和田 博雄君

農林省山林局長 黑河内 透君

農林省水産局長 笹山茂太郎君

農林省蠶絲局長 山添 利作君

農林省食品局長 柴野和喜夫君

農林省畜産局長 蓮池ノ公侯君

農林省園藝局長 西村 彰一君

農林省農務局長 並川 義隆君

農林省農務局長 並川 義隆君

農林省農務局長 並川 義隆君

農林省農務局長 並川 義隆君

農林省農務局長 並川 義隆君

農林省農務局長 並川 義隆君

農林省農務局長 並川 義隆君

農林省農務局長 並川 義隆君

農林省農務局長 並川 義隆君

農林省農務局長 並川 義隆君

農林省農務局長 並川 義隆君

農林省農務局長 並川 義隆君

農林省農務局長 並川 義隆君

農林省農務局長 並川 義隆君

農林省農務局長 並川 義隆君

農林省農務局長 並川 義隆君

農林省農務局長 並川 義隆君

農林省農務局長 並川 義隆君

農林省農務局長 並川 義隆君

農林省農務局長 並川 義隆君

農林省農務局長 並川 義隆君

農林省農務局長 並川 義隆君

農林省農務局長 並川 義隆君

農林省農務局長 並川 義隆君

農林省農務局長 並川 義隆君

農林省農務局長 並川 義隆君

農林省農務局長 並川 義隆君

農林省農務局長 並川 義隆君

農林省農務局長 並川 義隆君

農林省農務局長 並川 義隆君

農林省農務局長 並川 義隆君

農林省農務局長 並川 義隆君

農林省農務局長 並川 義隆君

農林省農務局長 並川 義隆君

農林省農務局長 並川 義隆君

御承知ノヤウニ農林省ニ入ルコトニナ
リテ居リマシテ、別ノ系統ニナツテ居
リマス、是トハ全然關係ガゴザイマセ
ヌ

○加藤(知)委員 此ノ蠶絲協同組合ト
シテモノノ其ノ目的ノアル所ハ、第二
十二條ノ四項目ニ互ツテ居ルノデアリ
マスガ、養蠶實行組合ノナス所ト自ラ
異ルモノアルコトハ言フマデモアリ
マスセケレドモ、併シ是ガ別ノ系統ニ
屬シテ居ルトカ居ラナイト云フコト
ナコトヲセズニ、ドウセ此ノ蠶絲業
ヲ改正セラル、ノダカラ、其ノ序ニ
打ツテ一丸トシマシテ、總テ蠶絲
業ニ關係ノ事柄ハ、自家用蠶絲等モ之
ヲ行ハシムルコトニ改メテ、サウシテ
一ツノ組合ノ中ニ皆網羅スル方ガ、所
謂簡素化ノ意味カラ言フテモ宜イコト
デハナイカ、斯様ニ考ヘルノデアリマ
スガ、其ノ邊ニ付テノ御考慮ハ拂ハレ
テ居ルカドウカ、ソレヲ一ツ伺ツテ見
タイト思ヒマス

○山添政府委員 只今御述べベニナリマ
シタ問題ハ、法案ノ整理トシテ一ツノ
御意見ヲ考ヘ、併シ只今ノ養蠶
實行組合、其ノ又上ノ農林省、此ノ制
度ヲ改メル考ヘハ、只今持ツテ居リマ
スガ、其ノ邊ニ致シテ居ルノデアリマ
ス、又法令モ改メタルコトニナレバ、
其ノ時ニ考慮ヲ致シタイト考ヘテ居リ
マス

○加藤(知)委員 現在ノ蠶絲業ノ状態
ハ、御承知ノヤウニ以前トハ非常ニ違
ヒマシテ、變化ヲ來シテ居リマス、デ
アリマスカラ其ノ變化ヲ致シテ居ル事
柄カラ考ヘマシテモ、十分此ノ法律ノ
上デ改正セナケレバナラヌモノガ澤山
アルト思フノデアリマシテ、詰リ此ノ
改正案ハ暫定ノモノデアツテ、何レ
其ノ内ニ能ク一ツ根本ノ二練リ直シテ
ヤル積リデアル、斯ウ云フヤウナ意向
ヲ大臣ガ洩ラサレタコトガアルノデア
リマス、ソレハ私當然ダト考ヘルノデ
アリマスガ、其ノ點ニ付キマシテモ何
時頃サウ云フヤウナ風ニ運バレルノ
カ、是ハ大臣カラ承ル方宜イト思ヒ
マスガ、併シナガラ直接蠶絲行政ニ當
ツテ居ラレル蠶絲局長ノ御意見ハ、ド
ウ云フ風ニ考ヘテ居ラレマスカ、參
照ノ爲ニ此ノ場合伺ツテ置キタイト思
ヒマス

○山添政府委員 只今御述べベニナリマ
シタ意見ノ中ニハ、恐ク養蠶實行組
合及ヒ其ノ養蠶ノ主トスル團體ニ付テ
或ル御意見ヲ御持チニナツテ、ソレヲ
前提トシテ御述べベニナツテ居ルコト
ヤウニ伺ヒマスセケレドモ、只今ノ養
蠶實行組合ニ對シテハ、私ハ當分ノ
間ハ少クモアノ儘ノ形ガ宜イノダト云
フ風ニ考ヘテ居リマシテ、之ヲ何時ド
ウ云フ風ニ改メスルカト云フコトハ、
只今何等考慮ヲ致シテ居リマセヌ

○加藤(知)委員 本法第三十一條ニ依
リマシテ、蠶絲業會ガ設立セラレルコ
トニナルノデゴザイマスガ、ソレニ付
キマシテ伺ヒタイノハ、蠶絲業者十人
以上設立云々ト云フコトニナルノデア
リマスガ、是ハ同一地區内ノ會員云々
トゴザイマス、此ノ同一地區内ト云フ

ノハドウ云フコトニナルノデアリマス
カ、此ノ蠶絲業會ナルモノハ中央、都
道府縣、若シハ市町村ト系統ノニ
ヲ組織セシムル御考ヘデアルカドウ
カ、其ノ邊ヲ詳シク御述べテ願ヒタイ
ノデアリマス

○山添政府委員 蠶絲業會ノ制度ハ、
今マデノ公ノ目的ヲ持ツテ居ル團體法
ノ立法例ト變リマシテ、是ハ抽象的ナ
規定ガ設ケテゴザイマス、ト申シマス
ノハ、蠶絲業會ト云フ一ツノ制度ヲ設
ケテ、ドウ云フ業種ノ人ガ組織スルカ、
又地區ハドウ云フヤウニスルカト云フ
コトハ、法例ノ上ニ何等特定シタ制限
トカ、規定トカヲ設ケテ居リマセヌ、
隨テ此ノ制度ノ上ニ立ツテ蠶絲業ノ必
要トスル團體ヲ謂ハ自由ニ構成シテ
行クコトガ出來ルヤウニ仕組ンデゴザ
イマス、サウ云フ風ニ法制ガ立テ、ゴ
ザイマスガ、實際問題トシテドウ云フ
風ニスルカト云フハ、只今進ンデ居リ
マスノハ、全國ノ地區ニ依ツテ、又蠶
絲業者ヲ網羅シタスル團體ヲ作ルコ
トニ進ンデ居リマス、構成員カラ申シ
マス、全國蠶絲業會、ソレカラ蠶絲業
者、蠶絲業者、蠶絲業者ガ集マ
シテ、日本蠶絲業會ト云フ全國團體ヲ
設ケルヤウニ目下其ノ業者ノ間デ準備
ヲ致シテ居リマス、只今出來ントスル
蠶絲業會ハソレデゴザイマスセケレ
ドモ、將來必要ニ應ジテ之ヲ地方のニ
作ルト云フコトモアラウカト思ヒマス
ガ、只今府縣カラズト系統的ニスル
ト云フ考ヘハ持ツテ居リマセヌ、ト申
シマスノハ、蠶絲業組合法ニ依リマス

ト、養蠶關係ハ別ト致シマシテ、製絲ニ付キマシテモ、種ニ付キマシテモ、府縣カラ全國團體ヲ作ル、ソレカラ又中央蠶絲會ヲ作ルコトニナツテ居リマシケレドモ、戰爭中色々企業整備ガ進シタト云フ關係モゴザイマシテ、現在デハ製絲業者ニ致シマシテモ、又種ノ業者ニ致シマシテモ、人數ガ少クナツテ居リマシテ、府縣デケデ一ツノ組合ヲ作ルト云フコトハ意味ガナク、寧ろ全國單一ノ蠶絲會ノ中ニ入ルコトガ適切デアルト云フノデ、サウ云フ團體ヲ作ルコトニナツテ居ルノデアリマス

○加藤(知委員) サウ致シマス、此ノ同一地區内ト云フノハドウ云フ意味ヲナスノゴザイマセウカ

○山添政府委員 ソレハ具體的ニ、ドウ云フ地區ニ依ツテ蠶絲會ヲ作ルカト云フコトニ依ツテ決マルノデアリマシテ、法令上特定シテ居リマセヌ

○加藤(知委員) 更ニ伺ヒタイノハ、第三十條「蠶絲會ハ其ノ目的ヲ達スル爲メ左ノ事業ヲ行フ」蠶絲會ノ指導獎勵ニ關スル施設」其ノ他四項目掲テゴザイマスガ、此ノ中ノ蠶絲會ノ指導獎勵ニ關スル施設ト云フノハドウ云フ方法デヤラレルノカ、ソレヲ一ツ伺ヒタイ、若シ此ノ指導ガ技術ニ關係シタ指導ト云フコトニナリマス、蠶絲會ノ蠶絲業ニ對スル指導獎勵ト或ハ牙盾シ、或ハ衝突スルヤウナコトガアリハセヌカ、繩張り爭ヒガソコニ生ズルヤウナコトガアリハセヌカ、斯ウ云フコトヲ實ハ氣遣フノデス、所謂命令ニ違ニ出デマシテ困ル者ハ私ハ蠶絲業者デアルト思フ、ソレデ農業者ノ方、是ハ蠶絲ニ關スルコトデケデアルト云フヤウナ見解デ居ラレルノカ、ソレトモ此ノ蠶絲業ノ指導獎勵ハ製絲ニ關係

ノモノノマデモト云フヤウナ御考ヘデラレルノカ、若シ養蠶製絲ヲ策メテ之ヲヤルト云フコトニナリマス、ドウモ其ノ氣遣ヒガ十分ニアル、茲ラ一ツハツキリ伺ツテ置キタイ

(北委員長代理退席、委員長著席)

○山添政府委員 此處ニ書イデアリマス意味ハ獨リ養蠶トカ、製絲トカ云フコトデナク、廣イ意味合デゴザイマス、問題ハ具體的ニ農業者ノ仕事ト矛盾シタリ、ブツ突ツタリシナイカ、斯ウ云フ點ニアルト存ジマス、養蠶ニ關スル指導ハ農業者ガ當ルノガ原則デアリマシテ、此ノ會ハ直接養蠶ノ指導獎勵ヲ致スノデハアリマセヌケレドモ、養蠶ノ指導獎勵ノ目的ヲ以テ或ル財源ヲ作り、農業者ヲ通ジテ出シテ行ク、斯ウ云フヤウナ方法ヲ執ルモノト考ヘテ居リマス、又製絲等ニ關シマシテハ、資材ノ斡旋ト云フヤウナコトヲ致スモノト思ツテ居リマス

○加藤(知委員) 私ハ本當ニ蠶絲業ノ改善發達ヲ圖ルト云フコトニハ、所謂養蠶家ト製絲家トヲ直結セシメ、製絲家ト「アメリカ」ノ機業家トガ直結シナケレバ本當ノ改善發達ハ圖ラレナイ、斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマス、デゴザイマスカラシテ、此ノ養蠶家ト製絲家トヲ直結セシメ、製絲家ト米國ノ機業家トヲ直結セシムルト云フコトニナルト、養蠶ハ農業者ノヤルコトダ、製絲ハ其ノ他ノ關係ハ此ノ蠶絲會ガヤルノダト云フヤウニ區別サレルコトハ甚ダ宜クナイと思ヒマス、本當ニ此ノ蠶絲會ノ前途ヲ憂慮セラレル立場カラ餘程ハ研究シテ貰ハナケレバナラヌト思ツテ居リマス、是マデノ幾多ノ弊害ハ養蠶ハ養蠶、製絲ハ製絲或ハ横濱ノ問屋ハ問屋、「アメリカ」ノ機業家ハ機

業家、養蠶家ノ拵ヘタ爾ハ一體ドウナノカ、製絲家ノ拵ヘタ生絲ハ何處ヘドウナルノダト云フ、其ノ行先スラ分ラヌヤウナ狀態ニアルノダカラ、自然拵ヘル者ガ責任ニナリ、本當ノ力ガ入ラヌト云フコトニナル、自分ノ拵ヘタ生絲ニ對シテ、「アメリカ」ノ機業家カラ直グニ小言ガ來ル、或ハ良イ物ニ付テハ褒メテ來ル、斯ウ云フコトニナリマス、同ジ製品ヲ拵ヘマシテモ張合ヒガアル、ソコニ品物ノ良イ物ガ出ケタリ抑ヘタリスルト云フコトハ決シテ良イ品物ヲ拵ヘサスルコトニハナラヌノデスカラ、私ハ今申上ゲタヤウニ、ドウシテモ是ハ養蠶家ト製絲家トヲ直結セシメ、製絲家ト「アメリカ」ノ機業家トヲ直結セシメ、中間機關ハ一切之ヲ廢シテ此ノ改善發達ニ當ルト云フコトガ一番最上ノ方法デアルト考ヘテ居ルノデアリマス、此ノ點ニ付テ政府當局ノ御意見ヲ伺ヒタイノデアリマス

○山添政府委員 只今御述ベニナリマシタ趣旨ハ全ク同感デアリマス、隨テサウ云フ意味合カラ此ノ蠶絲會ノ制度ニ於キマシテモ、養蠶モ入レバ製絲家モ入ルト云フ風ニ、關係業者ガ直接入ツタ一ツノ團體ヲ作ラレルノデアリマス、又養蠶ハ農業者ガヤル仕事デ、海外ノ需要ヲ反映スル所ノ製絲ト云フヤウナモノハ、全ク關係ガナイカト申セバ、ソレハサウデハナイノデ、只今御述ベニナリマシタ御説ノ通りデアルト思ヒマス、併シ物ハ直結々々ト申シマシテモ、自ラソコニ機構ノ分化ト言ヒマスカ、サウ云フコトモアルノデアリマシテ、農業者ガ農業一般、蠶絲業モ含メテ指導スルト云フ原則ニハ變リハアリマセヌ、併シソコニ製絲家モ協

力シテ行クト云フ關係ハ必要デアリマス、戰時中、日本蠶絲統制株式會社ニ依ツテ統制ヲ致シテ居リマシタ時分ニハ、御説ノヤウニ養蠶ト製絲トノ關係ガ全ク斷切レナイ關係ニアリマシタケレドモ、今後モソコニ密接ナル協力關係ガ成立スルヤウナ方法デヤツテ行キタイト云フ風ニ考ヘテ居リマス

○加藤(知委員) 只今政府當局ノ御意見ノアル所ヲ承リマシテ、非常ニ満足スルノデアリマスガ、蠶絲會ガ唯中央ニアルデケデ、地方ニハナイト云フコトニナルト、御考ヘハソコニアリマシテモ其ノ實現ハ私ハ困難デアルト思ヒマス、デアリマスカラヤハリ中央ニ蠶絲會ヲ設ケラレルト同時ニ、地方ニモ是非ハ都道府縣、市町村マデニモ及ボスヤウナ御考ヘヲ以テ、今後大ニ改正ヲサスルソレマデニ十分此ノ點ヲ御研究シテ下サルヤウニ希望致シマシテ、之ニ關スル質問ハ一應是デ打切りマスガ、之ニ付テ私ガ特ニ一ツ伺ヒタイノハ現在ノ桑園デアリマス、何ト申シマシテモ現在ノヤウナ桑園デハ疎ナ生絲ハ出來マセヌ、又今ノヤウナ桑園デハ養蠶ヲヤツテモ割ニ合ヒマセヌ、デアリマスカラ、ドウシテモ良イ生絲ヲ作フトスルニハ良イ繭ヲ作ツナケレバナラヌ、良イ繭ヲ取ルニハ良イ桑園ニ依ラナケレバナラヌト云フコトハ言フマデモナイ、所ガ近頃ノ桑園ハ、非常ニ怪シイ桑園ニナツテ居ル、本當ニ良イ繭ヲ作ラウトシテモ出來ナイ貧弱極マル桑園ニナツテ居ル、デアリマスカラ之ニ依ツテ良イ繭ヲ作ラウナドト云フコトハ無理ナ話デアル、然ラバドウスレバ宜イカト云フ問題ニナノデアリマスガ、良イ桑園ヲ作ルニハ何ト云ツテモ、肥料ニ重大ナル關係

ガアルト云フコトヲ申上ゲナケレバナラヌ、其ノ肥料ガ今日デハ全クヤリタクテモヤルコトガ出來ナイト云フコトハ御承知ノ通りデアリマス、金肥即チ化學肥料ト云フモノハ、洵ニ十分極マツタ狀態ニアルノデアリマシテ、食糧關係ノ農産物、即チ米麥重點主戰トデモ申シマセウカ、米、麥、甘藷、馬鈴薯等ガ第一位ニ置カレテ居ツテ、桑園ノ肥料ト云フモノハ第二位、第三位ニ置イテ居ル所カラ、殆ド桑ニハ肥料ヲヤラナイ、ヤラナイ結果ガ、今日ノヤウナ荒廢見ルニ堪ヘナイ桑園ガ多クナツテ居ルノデアリマス、恐ラク現在ノ桑園ヲ能ク調ベマシタナラバ、反當平均十畝目ノ繭モ上ルマイト、私ハ考ヘテ居リマス、サウ云フ貧弱極マル桑園デハ、是ハ到底駄目デアル、聞ク所ニ依リマスレバ、「マツカサ」軍司令部ノ方カラ、十六、七萬俵ノ生絲ヲ差當リ欲シト云フ希望ヲ申サレタト云フ話デアリマス、是ハ事實カドウカ分リマセヌ、分ラヌケレドモ、之ニ付テ確實ノ所カラ聞イテ見マス、確カニサウ云フ希望ヲ米國ノ機業家ハ十分ニ持ツテ居ルト云フコトヲ想像スルコトガ出來ルノデアリマス、併シナガラ十五、六萬俵ノ生絲ガ果シテ出來ルカドウカ、現在ノ桑園ハ曾テハ六十五萬町歩カラアツタモノガ、最近二十三萬町歩ニ減ツタ、其ノ二十三萬町歩モ十五萬町歩ノ桑園ヲ切下減反シテ獎勵金マデ出シテ獎勵セラレタ、其ノ結果段々減ツテ來テ、現在デハ五、六萬町歩モアルマイト我々ハ聞カサレテ居ルノデアリマス、現ニ私今朝自分ノ居リマス所ノ田無カラ武藏境マデ半道バカリノ所ヲ歩イテ來マス、桑園ヲ伐採シテソレヲ牛車ニ山ト積ンデ運ンデ居

リマス、桑ヲ伐ツテハナラヌト云フ「マツカーサー」軍司令部ノ命令ガアルニモ拘ラズ白晝公然ト桑ヲ伐ツタモノヲ運シテ居ル、アレヲ「マツカーサー」軍司令部ノ人ガ見たナラバドウ云フ感ジヲ起スデアリマセウカ、サウ云フヤウナ實情ニアルノデアリマスカラ、如何ニシテ此ノ桑株ヲ拔取ルコトヲ止メルカト云フコトニ付テハ、是ハ餘程シツカリト政府カラヤツテ貰ひナケレバ駄目デアルト考ヘマスガ、尙ホ是ト同時ニ如何ニ致シマシテモ、立派ナ桑園ヲ作ラシメルト云フコトニ付テ、一段ノ御考ヘヲ願ハナケレバナラヌコトト存ジマス、ソレニハヤリ肥料デアリマス、此ノ肥料ニ付テ私ハ昨年肥料ノ現地査察ヲヤツタノデアリマスガ、永人間獎勵シテ來タ、堆肥ト云フモノガ、殆ドモノニナツテ居ラナイノデアリマス、我々素人ガ見テモ、コンナコトデドウスルノカト考ヘサセラレタ點ガ澤山アツタノデアリマス、其ノ詳細ヲ申上ゲタイケレドモ、此ノ席上ニ於テハ之ヲ遠慮致シテ置キマス、化學肥料ノ未ダ十分ニ出來ナイ今日、自給肥料ハ今申上ゲタヤウナ狀態デアル、是デハ何ヲ作ラウガ巧ク行ク筈ハナイ、減産スルノハ當然ノ話デアル、デアリマスカラ、是ハ自給肥料ニ付テ政府ガ非常ニ思ヒ切ツタ政策ヲ御執リニナラヌト、到底産物ノ増強ナドト云フコトハ思ヒモ寄ラス話デアルト考ヘテ居ルノデアリマス、ソレニ付キマシテ、私ハ此ノ間農業團體法ノ本會議ノ席上デ、燐炭肥料ノコトヲ特ニ大臣ニ御伺ヒシタ、所ガ大臣ハ故意ニ御答辯ナサラナカツタノカ、或ハ恣レテ御答辯ガナカツタノカ、或ハ燐炭其ノモノヲ知ラズシテ御答ヘニナラナカツタノカ、

ソレハ私ニハ分ラナイ、一言モ此ノ燐炭肥料等ニ付テハ觸レテ居ナイ、是ハドウモ農林大臣ノ考ヘガ餘リニ冷淡デアルヤウニ覺ヘ思ハレタ、今日ハ自給肥料ト云ツテモ堆肥バカリデハ本當ノ増産ハ出来マセズ、堆肥ト同時ニ燐炭肥料ヲヤレバ必ズ増産出来ルコトハ首ヲ懸ケテ保證スル、私ハ嘗テ農商委員會等ニ於テ大イニ御話ヲ申上ゲタノデアリマス、燐炭ハ百利アツテ一害ナシ、斯ウ云フコトヲ申上ゲテ居ル、デアリマスカラ、ナゼ燐炭肥料ニ付テ政府ハモウ少シ力ヲ入レラレナイカ、私ハ不思議デナラナイ、増産々々ト云ツテ掛聲バカリヤツテモ、増産ハ出来ルモノデハナイ、机上ノ空論デバ増産ハ出来マセズ、本當ニ之ヲヤラセ、ヤルト云フ所ニ行カケレバ増産ハ出来マセズ、唯ヤレノト言ツテモ駄目デアリマス、堆肥ヲ積メノト言ツテモ碌ニ積ミハシナイ、其ノ積ンダ堆肥モ碌ナ堆肥ガ出来テ居ラナイ、燐炭肥料モ其ノ通りデアル、デアリマスカラ、ナゼ燐炭肥料ニ今少シク力ヲ御入レナサラナイカ、其ノ一ツヲ私ハ御伺ヒシタイ、殊ニ桑園ト云フモノニ對シテハ、斯ウ云フ關係ガアリマス、燐炭肥料ヲ十分ニヤリマスト良イ蠶ガ出来ルノデアリマス、何ナレバ、桑其ノモノニ非常ニ力ガ付ク、即チ病蟲害ニ耐ヘル力ガ十分ニ付クノデアリマス、是ハ元ノ都是製絲會社ニ於テ研究ヲヤツテ居ル管デアリマス、能ク其ノ會社ニ就テ御調べヲ願ヒタイ、ソコデ此燐炭肥料ハ桑園バカリデハナイ、水田ニ施シテ用致シマスト頗ル效能ガアルノデアリマス、先ヅ第一ニ苗代デアリマスガ、此ノ燐炭ヲヤリマスト、其ノ結果ハ健苗ガ出来ル、堅イ苗ガ出来ル、堅イ苗

ヲ作レバ堅イ稻ガ出來ル、病蟲害ニ對シテモ非常ニ力強ク之ニ堪ヘルガ與ヘラレマスカラ、此ノ場合本當ニ増産シヨウト思フタナラバ、堆肥ト共二十分鍾炭ヲヤラセルト云フ方策ヲ執ラナケレバ駄目デアリマス、私ハ増産ノ本當ノ秘訣ハ、深耕ヲヤラセルコトダト思フ、深耕ニモ程度ガアツテ、大體ノ所ハ一尺二寸位ノ深耕ヲサセ、ソレニ伴フデケノ肥料ヲ耕セマズト、其ノ上ノ作物ハ必ズ良ク出來マス、都下ノ小ノ關稅總八氏ト云フ篤農家ノ如キハ、肥料ニ應ジテ増産ガ出來ルト言ヒ、肥料(堆肥並ニ燐炭)ヲ千貫ヤレバ千貫ダケノ收穫ガアル、五百貫ヤレバ五百貫ダケノ收穫ガ上ル、唯徒ラニ横ニ耕地ヲ墾ゲテ、開墾セヨ増産ガ出來ルト云フヤウナ、ソナハ淺薄ナ考ヘデ、ドウシマスカ、現在ノ耕地デモ今申上ゲタヤウニ耕シ方如何ニ依ツテ、立派ニ増産ガ出來ル、若シ政府ガ私ノ此ノ言ヲ御容レニナリマシテ全農家ニ行ハシムルナラバ、現在ノ生産額ハ二倍以上ニナリマシテ、食糧問題ハ立派ニ解決ガ出來ルト申上ゲテモ私決シテ過言デナイト存ジマス

私ハ農林大臣ニ尙ホ詳シク申上ゲタインデアリマスガ、如何ニ大臣ニ申上ゲテモ、アナタ方ガ心カラ御承知下サラナケレバ駄目デアリマス、直接事務行政ノ側ニ當ツテ居ラレルアナタ方ガ、サウカ宜シイ、ヤラウ、斯ウ云フ御考ヘデ大臣、次官ニ御説キニナレバ、本ハアナタ方ニアルノデス、若シ私ノ言ヲ御容レ下スツテ、二倍ノ増産ガ出來ナカツタナラ、私ハ此ノ二ツトナイ首ヲ差上ゲマス、ヤツテ御覽ナサイ、唯机上ノ空論ノミヲ駁ハシテ、ソレデ

以テ増産ガ出來ルト思ツタラ、トンデモナイコトデス、今日ハ實行ノ世ノ中デアル、此ノ點ニ付テ幸ヒニ肥料ニ御關係ノ總務局長モオイデノコトデアリマスカラ、十分之ニ付テノ御意見ヲ伺ヒタイノデアリマス

○楠見政府委員 便宜私カラ御答ヘ申シマス、煤炭ヲ中シテノ自給肥料ノ關係ニ付テノ御尋ねデスガ、實ハ先日本會議デ加藤サシカラ御質問ニナリマシタ際ニ、農林大臣ノ答辭ガ漏レテ居ルヤウナ御話テゴザイマシタガ、大臣トシマシテハ、煤炭ヲ含メテ自給肥料ノ増産ノ必要性ヲ篤ト御述べニナツタノデアリマス、勿論只今御述べニナリマシタヤウニ、肥料ノ問題ハ獨リ此ノ食糧ダケニ限リマセズ、尤モ現在食糧ニ付キマシテハ、一番肥料難ニ喘イデ居ルノデアリマスガ、併シ食糧ト同様ニ、今後食糧ノ入ル見返リ物資トシテ最も重要ナ穀類、斯ウ云フモノニ付キマシテモ、同様ニ肥料ノ必要ナコトハ申上ゲルマデモモノイノデアリマス、然ルニ御承知ノヤウニ、戰時中ハ化學肥料ガ非常ニ減ツテ參リマシタ、一面之ヲ補ヒマス爲ニ、自給肥料ノ増産ヲヤツテ參ツタノデアリマス、其ノ自給肥料ノ増産ヲヤリマシタ結果、從來ノ化學肥料ノ三要素ノ一ツデアリマス加里肥料、加里肥料ハ販賣肥料トシテハ殆ド問題モナラヌヤウニナツテ參リマシタケレドモ、自給肥料ノ増産ニ依リマシテ、其ノ不足ノ加里肥料ハ何トカ賄ツテ行ケル、隨テ現在窒素、硫酸、加里ノ中デ加里ガ一番問題ガ少イノハ、自給肥料ノ増産ニ依リ肥料ニ外ナラナイト思フノデアリマス、ソコデ是カラノ食糧確保ナリ、或ハ其ノ他ノ作物ノ確保ノ上ニ必要ナ肥料ト云フコトニナリ

マスト、一面ニ於キマシテハ、農林大臣ガ豫ネ、本會議ナリ或ハ委員會ノ席ニ申シテ居リマスルヤウニ、早急ニ化學肥料ノ増産、復舊、増産爲メノ施策ヲ講ゼナケレバ、オーストリアノデアリマスガ、同時ニ是等ノ化學肥料ノ復舊、増産、擴充等ト併セテ忘レテナラヌコトハ、申上ゲルマシテ、自給肥料ノ増産デアリマス、自給肥料ノ増産ニ付キマシテハ、先づ來年申上ゲルマスウニ、コ、數年來非常ニ其ノ増産ハ擧ツテ居ルノデアリマス、尤モ此ノ増産ノ際ニハ色々ノ努力ノ間斷其ノ他種々困難ナ問題ガアツタノデスガ、是等ノ困難ナ問題ハ、今後相當緩和サレルノデハナカラウカト思フノデアリマス、隨テ我々ト致シマシテハ、一面ニ於キマシテ化學肥料ノ増産ト同時ニ、自給肥料ノ確保増産ト云フコトニ付テハ、戰爭中以上ニ特ニ努力ヲ盡シテ參リタイト思フノデアリマス、今申シマシタヤウニ、自給肥料ノ増産ガ皆クサウ思フヤウニ行カナイト云フコトニハ、是ハ百何十億萬圓ト云フヤウナ自給肥料ヲヤツテ居リマスノデ、努力ノ上ニ於テ、非常ナ太キナ制約ヲ受ケテ居ツタノデアリマス、此ノ點ハ戰後相當緩和サレルト思ヒマスガ、更ニモウツノ大キナ理由ト致シマシテハ、是ノ指導面、普及ヲスルト云フ點ニ於テ、戰爭中ハ中々思フヤウニ參ラナカツタノデアリマス、是モ御承知ノヤウニ農業者等ノ技術指導員ガ應召シ、又初期ニ於テハ微用ヲ受ケ或ハ轉業ヲスルト云フヤウナコトカラ、中央デ色々ノ計畫ヲ立テ實行シテ戴キマスノハ、結局地方應デアリ、又地方ノ農業會デアル譯デアリマスガ、直接最前線ノ是等ノ指導機關ト云フモノガ、何ト申シマシテモ

和十七年ノ統計ノ堆肥ノ五十億圓ヨリハ多イノデアリマス、是ダケ生産サレマシタナラバ、是ハ自給肥料ノ上ニ於テ非常ニ大キナ役目ヲナスモノト思フノデアリマス、ソレデ綠肥ノ成分ハ窒素ハ〇・五、磷質ハ〇・一、加里ガ〇・三デ、是ハ決シテ多イ分量デハナイガ、稍々平均ヲ取ツタモノデアリマス、是デヤリマスト三千萬圓ノ窒素ガ取レル、二〇〇〇萬圓ノ磷質ガ取レル、ニナリマス、又六百萬圓ノ綠肥ガ取レル、一五〇〇萬圓ノ肥料ガ取レルノミナラズ、六十億圓ノ青草ガ取レル、是ハ家畜ノ飼料トナリ、家畜ノ腹ヲ通シテ又青ビ土地ニ還元サレルノデアリマス、是等ハ主作物ノ間作、混作或ハ周間作或ハ後作トシテ十分作リ得ルノデアリマス、私共ノ經驗カラ致シマスルト、北海道ノ如キ半年シカ耕作期間ノダイ所デアリマシテモ、綠肥ヲ十分活用出來ルノデスカラ、府縣ノ如ク一年中出來ル所ヘ行キマシタナラバ、是ハ工夫スレバ相當ノ綠肥ガ出來得ルト思フノデアリマス、サウスルト半面ニ於テ飼料問題ノ解決ニモナルト思フノデアリマス、之ヲ八十二議會ニ於テ私建議致シマシタケレドモ、當局ハ、オヤリニナツテ居ルコトハオヤリニナツテ居ルノデスカ、其ノヤリ方ガ極メテ熱意ガナイト申上ゲテハ失禮デアリマスガ、是ノ少イノデアリマス、是ハ廣イ面積デナケレバ無論出來ナイノデアリマスガ、ソレデ私ハ全國ノ農地ヲ總動員致シマシテ、畑地ノ一年中ノ綠化運動ヲスルト云フ目的デ建議案ヲ出シ

タヤウナ次第デアリマス、金肥ノ生産ガ出來ナイ時ニ於テハ勿論デアリマスガ、金肥ガ十分生産サレマシテモ、ヤハリ有機質肥料ガ十分土地ニ入ラナケレバ、金肥ヲ有效ニ使フコトハ出來ナイノデアリマスカラ、是ハ應對策デアリ、此ノ點ニ對シマシテ十分御研究ヲ願ヒ、強力ニ獎勵ヲシテ戴キタイノデアリマス、斯ウ申上ゲルト、種子ガナイト云ハレル、是ハ農林省ノ技術當局子ガナイト云ハレル、種子ハ作ツナケレバナイノデアリマス、其ノ當時ハ滿洲カラ持ツテ來ルト云ヒマシテモ、滿洲カラ必要量ヲ持ツテ來ルコトハ出來ナカツタガ、モウ滿洲カラ持ツテ來ルコト出來ナイノデアリマス、種子ト申シマシテモ、綠肥デ言ヒマス、紫雲英トカ、或ハ大豆トカ、或ハ「ザ」トウィツケン「トカ、或ハ豌豆トカ言フモノノガナクテモ、麥デモ或ハ大根デモ何デモ宜イノデアリマス、北海道デハ大根ヲヤツテ居リマシタ、現在ハ大根ノ種子ガナイカラヤツテ居リマセヌガ、大根ノ豐富ナ時ニハ古種子ヲヤツテモ若干ハ直ぐ出來ルノデアツテ、大根ヲヤリマシテモ相當ノ生産ガ上ツテ居ルノデアリマス、又雜草ヲ使用シマシテモ、此ノ中ニ綠肥ニナルモノモアルト思フノデアリマス、其ノ當時私ハ斯ウ云フコトヲ御願ヒ申上ゲタノデアリマス、全國ノ試驗場ヲ動員シテ、地方々々ニハソレレノ適當ナ綠肥作物ガアル筈デカラ、ソレヲ研究シテ、ソレヲ利用サレマシタナラバ、種子ノ不足モ補ヒ得ルノデアリマス、種子ト云フ申上ゲタノデアリマスケレドモ、

其ノ研究モ甚ダ微力デアリマシテ、現在綠肥ト云フモノハ寧ろ減ツテ居ルヤウナ狀態デアラウト思フノデアリマス、此ノ點ヲ堆肥、厩肥ノ増産ト相並行シテ、強力ニ獎勵策ヲ御立テ下サツテ、オヤリ下サツタラドウカト云フコトヲ申上ゲタノデスカ、之ニ對スル御所見ヲ伺ヒタイト思ヒマス、ソレニ關聯シテモウツ御願ヒ申上ゲタイコトハ、綠肥肥料ノ問題デアリマス、是ハ府縣ノ水田ニ於キマシテハ、綠肥肥料ハ重要デアリマスケレドモ、左程ニ困ツテオイデニナナイカモ知レマセヌ、併シ北海道ノ如キ畑作トサル所、又麥ノ肥料トスル所、今後開墾地ニナルト思ヒマスガ、是ハ綠肥肥料ガナケレバ生産ガ上リマセヌ、北海道ハ今年ハ非常ニ凶作デアリマシタ、是ハ氣候ノ關係ニ於テ凶作ニナツタノデアリマスケレドモ、麥トカ或ハ馬鈴薯トカ云フ冷害ニ強イ作物ノ生産ガ上ツテ居ナイノデアリマス、其ノ原因ハ綠肥肥料ノ缺乏デアリマス、若シ綠肥肥料ガ相當ニ供給出來レバ、北海道ハ一割ヤ二割ノ增收ハ直チニ出來ル、過去ニ於キマシテハ、過去ト云フヨリモツイ一兩年マデハ、日本ノ穀倉トシテ北海道ハ相當ノ數量ノ作物ヲ府縣ニ出シテ居リマシタガ、今年ハ反對ニ府縣カラ賣ハナケレバナラヌト云フコトニナツタノハ、一ツハ氣候ノ關係デアリマスガ、一ツハ綠肥肥料ノ缺乏ノ爲デアリマス、畑作ニ重キヲ置キ來作ニ重キヲ置クト云フコトニナリマス、綠肥肥料ガナイト云フコトハ、生産ニ支障ガ生ズルト思フノデアリマス、ソレデ綠肥肥料ニ對スル今後ノ見通シニ付テモ、併セテ御尋ね申上ゲタイト思フ

ノデアリマス、政府委員カラ御答辯ヲ戴タ前ニ、委員長カラモ此ノ問題ニ付一言申添ヘタイト思フノデアリマス、安孫子君ガ熱心ニ綠肥肥料ヲ主トシタル建議案ヲ出シタノハ二、三年前ト思ヒマス、其ノ席上ニ於テ時ノ農商省當局ハ、至極贊成ダト云フコトデ、滿場一致採擇ニナツタノデアリマス、然ルニ一向其ノ後其ノ實行ノ成績ノナク、私共舊イテ居ル事實ガアルノデアリマス、昨年私ハ農林省ノ方カラ派遣セラレテ、農林省ノ技術ノ方ナド一緒ニ千葉縣ヲ廻ツテ、増産ノ模樣ヲ觀察激勵ニ廻ツタノデアリマス、千葉縣ノ安房郡ノ方ニ、綠肥デ以テ大變ニ成績ヲ擧ゲテ表彰セラレタト云フ村役場ガアツタノデ、ソレハ洵ニ結構ナコトダト思フツテ行ツテ見タ、所ガ村長以下ガ出テ説明シテ言フノハ、ソレハ以前ノコトデ、昨今ハ綠肥ノ種切レニナツテ表彰ドコロデハナイ、ヤツテ居ナイノデスカ、此ノ表彰ニ對シテモ私共憤慨ニ堪ヘナイヤウナ次第デアリマス、斯ウ言ツテ頭ヲ擧イテ話ヲシタ、農林省ハ綠肥ノコトモ大イニ獎勵シテ居ルノハ、種切レニナツタ儘放ツテ置ク、是ハバドツチノ罪カ知リマセヌガ、褒美ヲ貰ツタ村役場デサヘモソナ有様デハ、外ノ所デハ尙更ニ獎勵シテ居ラナイ、自給肥料何カノ爲ニ差向ケラナドト云フノデ、豫算ヲ澤山取ツテイレラシヤル筈デガ、ソレヲドウ使ハレテ居ルカ、機會ガアツタヲ伺ハナケレバナラヌト云フ積リニ私共ナツタノデアリマス、安孫子君ノ御話、又先刻ノ加藤君ノ御話ニ付キマシテモ、御意見ハ如何デゴザイマスカト御意見ヲ伺フノハ宜イデスカ、御意見ノ理想論ヲ

此處デ繰返シテモ、毎年同ジコトヲヤツテハ詰ラナイ話デス、此ノ短イ期間ニヤツテモ唯暇潰シニナル、今マデハ斯ウ「云フ金ヲ以テ繰返シハドウ、綠肥ニハドウ割振ツテ居ツタ、又地方ノ無用ノ長物ノヤウニ見ラレテ居ル所ノ農學校ナリ農事試驗場ナリト云フモノハ、實際コナ風ニ此ノ問題ニ付テ勵カシテ居ルノダト云フ具體的事實ヲ示シテ戴キタイ、ソレデナイト、コシナ問答ハオヒヒ暇潰シデカラ、私ハ止メルコトニシタイト思フ、千葉縣ノ或ル農學校ナドニ燃炭ノ熱心家ガアツテ、校長ナド大イニヤツテ居ル所ガアリマスガ、縣廳デハドウスルカト云フコトヲ、私共縣廳ヘ更ニ民ツテ、縣ノ肥料課長ニ聽イタノデアリマス、サウスルト、是ハ民間デハアンナ風ニ盛上ル力デ以テ、此ノ縣ハ一番優良肥料ニ努力ヲシテ居ルガ、中々熱ガ掛ラナイノデ、今年「昨十九年ノ縣會ノ時ノ話デスカ、僅カニ五千圓メケ其ノ方ニ向ケテ、ソシテ自給肥料研究ノ入費ト云ツテ、今年ノ縣會ノ豫算ニ採ツタダケナラバ、其ノ課長曰ク、アナタ方中央ニ居ル方ガ農林省ヲ鞭撻シテ、全國ノ獎勵シテ呉レナケレバ困ルノデスカ、斯ウ地方ノ實際ノ肥料課長ガ言ツテ居ルノデスカ、サウスルト農林省ガ全國ニ對シテ自給肥料ノ獎勵ヲシテ居ルコト何トカ云フノハ嘘ノ事實ト云フヤウニ、私共ハ取ル外ナクナツテ來ル、ダカラ理想論デナクテ、具體的ノ項目ナリ、金額ナリ方法ナリヲ擧ゲテ御答辯下サツテ、今マデノ繰返し言フセヌヤウニ一ツ御願ヒシタイト思ヒマス、農政局長、總務局長、農林局長等、銘々ノ立場カラ一ツ御答辯願ヒタイモノデス

燐鐵石ヲ得タイト云フノデ、食糧輸入
 ノ懇請ト併セマシテ、今之ヲ懇請シテ
 居ルノデアリマス、斯ウ云フ狀態ニナ
 ツテ居ル、我々ハ向フ側ニ要請シマス
 場合ニハ、常ニ食糧ト燐鐵石ヲ合言葉
 ノヤウニ致シテ要請シテ居ルノデアリ
 マス、是ハ聯合軍制ノ同情アル協力ヲ
 俟ツ以外ニ途ハナイノデアリマシテ、
 折角努力ヲ致シテ居ルヤウナ情勢デア
 リマス、以上ハ大體デアリマスガ、御
 報告申上ゲマス
 ○加藤知(委員) 今令總務局長カラ
 續、御答辭ガアリマシタガ、私ハ多年燐
 炭肥料ノコトヲ喧マシク申上ゲマシ
 カラ受ケタノデアリマス、併シ幸ヒニ
 モ昨年ハ漸クニシテ局長通牒ヲ出シテ
 貰ヒ、又本年ハ次官通牒ヲ出シテ貰ツ
 タノデアリマスガ、シレガ爲ニ餘程地
 方ニ於キマシテモ燐炭ト云フモノヲ無
 視スル譯ニ行カヌト云フ程度マ技師
 ノ頭モ變ツテ來タ、ダガヤハリマダ本
 氣ニ燐炭ヲ獎勵スルト云フ考ヘヲ持ツ
 テ居ル技師連ハ非常ニ少イ、是ハ事實
 デアリマス、ソコデ私ハ前千石農林大
 臣ニ對シ、本當ニアナタガ増産ヲ考ヘ
 ルナラバ、此ノ燐炭獎勵ニ力ヲオ入レ
 ナサイト申シタノデアリマス、併シツ
 イ千石前農相ハ在任儘カニシテ退官セ
 ラレタノデ我等ノ希望ハ達セラレナカ
 ヲツタ、併シ今度ノ松村農相モ千石氏ト
 同様農科通ノ大臣デアルカラ、定メシ私
 ハ此ノ大臣ニ依ツテ我々ノ希望ノ達シ
 得ラル、モノト一縷ノ望ミヲ持ツテ居
 ルノデアリマス、併シナガラ先刻モ申
 シマシタ通り、大臣ハ兎ニ角、其ノ下
 ニ居ツレル局長課長以下ノ方々ガ、本
 當ニヤル積リデナケレバ到底駄目ナノ
 デス、デアリマスカラ、私ハ其ノコト

ヲ繰返シテシツコト申上グルノデアリ
マスガ、ドウゾ燐炭肥料ノ獎勵ニ付テ
ハ、之ニ關スル適當ノ施策ヲ講ゼラレ
タイ、所ガ總務局長ニハ先刻委員長ノ
質問ニ對シ自給肥料ニ付テ色々手當云
云ノ御答ヘガアリマシタガ、其ノ御答
ヘノ中ニハ、燐炭肥料ニ付テノ特別ノ
御答ヘガナイ、併シ局長通譯ヲ出サレ、
又次官通譯ヲモ出サレタ以上ハ、定メ
シ燐炭獎勵ニ關スル費用ヲモ御計上
ニナツテ居ルコトと思フ、ソコデ私ハ
此ノ際特ニ申上ゲタイノハ、此ノ燐炭
肥料獎勵ニ付テハ諸願委員會ニモ之ヲ
諸願シ、又建議委員會ヘモ建議シ、諸
願委員會モ採擇ニナリ、建議委員會ニ
於テモ通過シテ居リマスカラ、農林當
局トシテハ、之ヲ下ニ置カレル管ガナ
イ、下ニ置カレナケレバ、是ガ獎勵ニ
關スル費用ハ勿論計上サレテ然ルベキ
ダと思フ、ドウゾ位ノ費用ガ計上サレテ
居リマスカ、此處デ一ツ伺ヒタイ、若
シ此處實際ノ費用ガドレ位アルカ分
ラナイナラバ分ラナイデモ宜シイガ、
計上シテアルカナイカ、斯ウ云フコト
ヲハツキリト御伺ヒシタイノデアリマ
ス

○補見政府委員 只今御話ノ燐炭肥料
ニドレダケノ獎勵金ガ上ゲラレテ居ル
カドウカト云フコトデアリマスカ、私
承知致シテ居リマセス、當該ノ農政局
ノ方ヲ調ベマシテ御答ヘ致シマス
○加藤知事委員 ドウモ只今ノ御答辯
ハ甚ダ不満足デアリマスカ、マア一例ヲ
以テ申上ゲテ置キマスカ、實ハ私ハ此
ノ間前田文部大臣ニ對シテ、本會議ニ
於テモ少シ料理ノ御話ヲシタイ位ニ
考ヘテ居リマスカ、イマ一應私ハ
此ノ委員會ノ席上デ御參考ノ爲ニ御話
申上ゲマスカ、兎角中央ニ於テモ地方

ニ於テモ、農家種農家ト云フモノヲ
尊重スルヤウデアツテ、實ハ尊重ヲ致
シテ居ラヌト云フ事實ガ澤山アリマ
ス、是ガ私ハ今日増産ト云フコトヲ喧
シク言ツテモ増産ノ出來ナイ最大原因
デアルト思ヒマス、此ノ點ニ付テ詳シ
ク申上ゲタイケレドモ是ハ後ニ譲リマ
ス、讓リマスガ我々共良イコトダト
考ヘテ申上ゲテモ、本省ハ勿論地方廳
ニ於テモ直チニソレヲ實行スルノ勇氣
ガナイ、從來ノ慣習ニ囚ハレテ、サウ
シテソレヲ固ク固陋ノ愚守スル愚イ
癖ガ中央ノ役所デモ地方ノ役所デモ
アルデアリマス、一々指摘シテハ申上
ゲマセヌケレドモ、私ハ今ノ前田文部
大臣ニ關シテ一ツノ其ノ事例トシテ申
上ゲテ置キタイ、實ハ燐炭肥料ヲ元ノ
農相山崎達之輔氏ニ進言シタコトガ
リマス、アナタガ本當ニ増産ヲヤラウ
ト云フ御考ヘガアルナラバ、堆肥、既
肥ト相俟ツテ燐炭肥料ヲ獎勵サレタ
イ、燐炭肥料ハ百利アツテ一害ナシト
云フコトヲ私ハ斷言シマス、斯ウ言ツ
テ私ハ進言シタノデアリマス、所ガ其
時山崎元農相ハ加藤君、ソレ程良イモ
ノナラバ先ツ以テ自分ノ縣デヤラスガ
宜シイ、良イト云フ成績ガ擧ガレバ直
グニ人ガ皆眞似ヲシテヤルヤウニナルカ
ラ……請フ所ヨリ始めヨデ自分ノ縣ヨ
リヤツタラドウカ、斯ウ云フ話デアリ
マス、私ハ左様デアリマスカ、無論致
シマセウ、致シマセウガ、先ツ以テ一
ツ大臣カラ此ノ點ニ付テ十分御獎勵ヲ
願ヒタイト申シ、縣ニ歸ツテ燐炭肥料
ノ話ヲシタ所、中央カラ何トモ言ツテ
來ナイカラ獎勵メラレナイト言フ、實ニ
ドウモ奇怪千萬ノ話デアリマシタガ、
仕方ガナイ、ソコデ私ハ、大臣ノ送リ
レル度毎ニ燐炭肥料ヲ進言シ、又政

局長ノ送リ度毎ニモ進言シテ居タノデ
アリマス、所ガ前田サンガ我ガ縣ヘ知
事トシテ赴任サレルト云フコトヲ聞キ
マシタカラ、今晚赴任サレルト云フ其
ノ日午後一時半カラ三十分間ノ約東
デ、日本俱樂部會見シ、燐炭肥料ニ
ハ窒素、磷、加里ノ三要素ヲ含シ
テ居ル以外ニ澤山ノ炭素ヲ含有シ、堆
肥、既肥ト相俟ツテ農家ニ之ヲ施用セ
シムレバ、我ガ縣ノ如キ冷害、旱害ニ苦
シム處デハ、大イニ其ノ被害ヲ輕減
スルコトニナル、燐炭肥料ハ旱害、冷
害ニ對スル力ヲ稍初メ其ノ他ノ農作物
ニ與ヘマスカラ、是非我ガ縣ノ農家ニ
之ヲ使ハセルヤウニセラレタイ、天候
任セニヤツテ居ツテ、今年ハドウモ冷
害ノ爲ニ縮尻シタ、旱害ノ爲ニ出來ナ
カッタト云フコトデハ、到底此ノ食糧
難ヲ救済スルコトハ出來ナイ、故ニ此
ノ度アナタハ我ガ縣ヘ知事トシテ御赴
任ナサルトコトデアアルカラ何ヲ指イテ
モ一ツ此ノ燐炭肥料ヲ御獎勵シテ下サ
イ、實ハ斯ウ云フ譯ダト云フ山崎時
農相ヘノ話ヲシ、又我ガ縣ニ於ケル
縣廳ノ役人連、技師連ヲ考ヘ方々モ話
シテ、アナタ一ツ大英斷ヲ以テヤツテ
下サイ、新潟縣ハ天下ノ穀倉ダト言ハ
レデ居ル、其ノ穀倉ニ於テ年々大切ナ
米作ガ巧行カナイト云フコトデハ、
洵ニ申譯ノナイ話、ドウゾ一ツオヤリ
下サイ、ト云ツテ三十分間ニ亘ツテ、
私ハ燐炭肥料ノ獎勵ヲ御願ヒラシタノ
デアリマス、ニモ拘ラズ、在任二年ニ
亘ツテ一言モ、燐炭ノ字モ言ハレ
ナイ、私ハ此ノ時一回ダケデハアリマ
セス、我ガ縣ニ歸ツテ二回モ三回モ前
田知事ニ話ヲシテ居ル、ニモ拘ラズ到
頭燐炭ノ獎勵ハセラレナカッタノデア
リマス、故ニ速記録ノ寫シヲ持ツテ居

リマスガ、前田文部大臣ハ私ノ熱ガ足
リナイ爲ニ恐縮シタト云フ御答辯デア
ルカラ、之レ以上追究スル譯ニモ參リ
マセヌガ、若シ本當ニ前田時ノ知事ニ
シテ食糧増産ニ一片ノ誠意ヲ有セラル
ルナラバ、加藤君、君ハ斯ウ云フ話デ
アツタケレドモ、色々研究シテ見ルト、
斯ウ云フコトヲ、縣ノ技師ハ言ツテ居
ル、或ハ縣ノ係官ハ言ツテ居ルカラ、
燐炭ニ付テハ今少シ研究ノ餘地ガア
ルデハナイカ、我々ノ立場トシテ之ヲ
獎勵スルニハドウモウツアヤフヤノ
モノデハ獎勵ハ出來ナイト云フ、肚
ヲ割ツテノ話ヲサレルナラバ、私ハ之
ヲ諒トスルガ、何ニモ話ヲシナイ、到
頭燐炭ノ字ヲ言ハズニ引揚ゲテシ
マツタノデアリマス、而モ一面ニ於テ
ハドウ云フコトヲサレタカト申スト、
五百萬石ノ標榜シテ大イニ増産獎勵ヲ
サレタガ、五百萬石ノ標榜シタトテ、肥
料ヲヤラナイデ獎勵ト云フコトハ餘リ
ニモ愚ノ良イ話デ、木ニ鐵ツテ魚ヲ求
メルヨリモ尙ホ難イ話デアリマス、果
シテ我ガ新潟縣ノ昨年ノ米ノ生産ハ、五
百萬石ハ倍ヲ指イテ、四百八萬石ノ平
年作ヲ割ツテ三百萬石ニ轉落シタノ
デアリマス、恐ラク本年ハ三百萬石ヲ
割ツテ居ルデアリマセウ、私ノ進言ヲ
容レテソレデモ尙且左様ノ結果ヲ生
ジタト云フコトデアアルナラバ、私ハ全
部其ノ責任ヲ負ハネバナラスト思ヒマ
スガ、私共ノ進言ハ更ニ聽カズ、肥料
モ與ヘズニ、五百萬石ノ増收ヲ標榜
シテ農民ニ之ヲ強ヒヤウト云フノダ
カラ、無責任ナリ方ト云ハネバナリ
マセス、私ハ曾テ荒木大蔵ガ文部大臣
ヲヤラレタ際、私ト會見ノ時間ヲ約束
シテ居リナガラ、ソレニ背イテ到頭私
ニ無駄ナ足ヲ運バセタコトガアル、私

ハ直チニ公開狀ヲヤツテ菊タモ文部大
臣トモアラウ者ガ時間ヲ守ラヌヤウナ
コトデドウシテ國民ニ本當ノ教育ガ出
來マスカ、直チニ文相ノ職ヲ辭サレタ
ラドウデアアルカト迫シタノデアアル、其
ノ時ニ荒木文部大臣ハ、直チニ電話デ
以テ謝罪セラレタ、ソレカラ其ノ後加
藤一君ガ私ニ對シ、君ハ荒木大將ヲ
非常ニイデメテ居ルサウダガ、エライ
困ツテ居ル、勸解シテヤツテハドウデ
アルト言ヒマスカラ、ソレハトシデモ
ナイ話ダ、其ノ話ハ荒木文相ガ謝マラ
レタカラ、僕ハモウソレデ宜シイ積リ
デ居タ、併シソレ程困ツテ居ラル、ナ
ラバ僕ノ方カラ進ンデ今一途能ク話ヲ
シヨウ……ソレカラ私ハ荒木文部大臣
ニ會ヒマシテ、色々申シタ、僕ハ大臣
ヲヤツタコトハナイガ、アナタハ陸軍
大臣ヲヤリ、又文部大臣ヲヤツテ、二
回モ大臣ニナツテ居ラル、ガ、僕ニ言
ハセルト、アナタハ大臣學ヲ知ラナイ、
我輩ハ大臣ハヤラナイケレドモ、大臣
學ガライハ知ツテ居ル、御必要トアラ
バ、大臣學ノ講義ヲシマセウト云ツタ
コトガアル、今ノ前田文部大臣ハ、
僕ニ言ハセルト大臣學トコロノ話デハ
ナイ、新潟縣民ハドウ云フコトヲ言ツ
テ居ルカト申スト、五百萬石ノ標榜シ
テ居ルカト申スト、五百萬石ノ標榜シ
テ非常ノ苛酷ヲ供出サシテ居ルト云ツ
テ、全く怨嘆ノ聲ガ縣内ニ滿ツテ居ル、
ア、言フ人ガ文部大臣ニナツテ、ソレ
デドウシテ國ヲ治メルコトガ出來ル
カ、教育ノ振興ガ出來ルカト、ソコマ
デ言ツテ居ルノデアリマス、私モアナ
タ大臣ヲ辭メナイト云フ言ヒタイ位ニ考
ヘテ居ル一人デアリマスカ、マサカド
ウモ本會議ノ席上デ以テソレマデ追詰
メルコトモドウカト考ヘマシタカラ、
遠慮ハ致シテ居ツタ、兎角ドウモ中央

ノ者ハ地方ニ責任ヲナスリ付ケ、地方ノ者ハ中央ノ方カラドト言ツテ責任ヲレヲシヤウトスル愚イ難ガアル、愚ニ言ハセルト、今日ノ多クノ役人ハ、アナタ方ガサウダト云フ意味デハアリマセヌガ、兎角ドウモ責任ヲシタガアル、本氣デヤラウト云フ心持ガナイ、僕ハソレヲ残念ニ思フ、日本ノ今日ノ六百萬町歩ノ耕地三百三十萬町歩ノ水田、之ヲ我輩ノ進言ヲ容レテ本當ニヤツテ御覽ナサイ、食糧難ト云フ心配ハ斷ジテアリマセヌ、又國民カ本當ニヤル積リナラバ、必ズ明年ナリ明後年ナリニハ、食糧ノ充實ヲ期スルコトガ出來ルト思フ、ソレガ今食糧難ニ陥リ大問題ヲ起シテ居ルト云フコトハ、要スルニ農民全體ニ一生懸命ニヤ、ルト云フ心持ガ足リナイカラデアル、現ニ東京都下北多摩郡小平村ノ關根總八君ノ如キハ昨昭和十九年ノ大旱害ニ際シ外ノ農民ハ夜安眠ヲ食フツテ居ル時ニ、同君獨リハ毎夜午前一時頃カラ朝ノ四、五時頃マデ一週間モ眠イテ澤山ナラシメテ河川水ヲ與ヘタ、ソレガ爲ニ此ノ附近一帶ノ陸作ハ皆枯死ノ状態ニ陥ツタニモ拘ラズ、關根氏ノ陸稻ハ全然旱害ニ罹ラズ反當四石五斗カラノ收穫ガアツタ、是ハ努力ノ結果デアリマス、品種其ノモノニ當リ得タ關係モアリマセウガ、人ノシナイ努力ヲスル所ニ、増産ノ事實ガ露シタ譯デアリマス、上ノ好ム所下ニ是ヨリ甚ダシキハナシデ、本省ニ居ラレル所ノ方々ガ本氣デ御覽勵サナラバ、必ズ農民ハ之ニ踰イテ來マス、所ガ甚ダ失禮ノ事ヲ申上ゲマスガ、兎角中央ノ方ニ熱意ガ足リナイ、イヤ中央バカリデハナイ、地方ニ於テモ其ノ通りデ、是ハ前田サンバカリデナイ、私ハ甚ダ之ヲ残念ニ思フテ

居リマス、徒ラニ形式ニ提ハレ、固陋ノ觀念下ニ舊態依然タル獎勵ノヤリ方デアルカラ、増産トゴロカ、減産又減産トナルノデアリマス、御覽ナサイ、其報イガ今願ハレテ來テ居ルデアリマス、恐ラク現狀ノ慘デ推移スルコトニナルナラバ、明年ノ三、四月頃ニナレバ米ハ一粒モナイト云フヤウナコトニ相成リマセウ、其ノ時ニドウ致シマスカ、併シ此處マデ日本ノ食糧事情ヲ追跡メタコトハ、食糧ノ本山デアル本省ノ初メ、我々食糧ニ關係ヲシテ居ル者ノ大責任デアルト思ヒマス、戰爭ニ敗ケタ其止ニ、更ニ食糧デ敗ケタト云ツテハ、洵ニ中譯ノナイコトダト申ウネバナリマセヌ、残念ナガラ敗戦後日本ハ食糧ニ於テモ獨立ノ出來ナイ洵ニ情ケナイ状態ニナツテ居リマス、此ノ我が國現狀ヲ打開シテ食糧ニ何等ノ不安ノナイ食糧新日本ヲ建設スルニハ、官民一體トナリ一大自覺ノ下ニ食糧ノ大増産ヲ奮勵努力ヲ要スルコト存ジマス、エライ横道ヘ這入リマシタカ、何ト云ツテモ陸稻ノ増産デハ陸稻ノ實ハ對ニ増リマセヌカラ、ドウカ一ツ材料其ノモノニ付テハ今一段下ヲ組織ヘ徹底サセル方法ヲ考ヘテ戴キタイ、之ヲ私ハ切ニ政府當局ニ御覽申上ゲマス、而シテ今一ツ私ガ非政府當局ニ聽イテ戴カナレバナラヌコトハ、アノ親戚デアリマス、横濱ノ材料カナイトカ堆肥ノ資料ガナイナドト仰シヤルケレドモ、私ガズツト譯ベテ戴キタ所デハ、アノ親戚ヲドント、其ノ儘田圃ニ撒リ込シテ居ル、甚ダシキ堆肥ノ中ニ積込マシテ居ル、御承知ノヤウニ親戚ト云フモノハ今年ヤツテ再來年ニナラナレバ效果ガ現ハレマセヌ、ソレマデノ間ハ却テ土地ガ冷エマス、土

地ガ冷テハ稻ヤ其ノ他ノ作物ハ皆ク發育スル管ハナイ、ソレヲ皆ヤツテ居ル、長イ間農會ハ何ヲヤツテ居ツタカ、縣廳ハ何ヲヤツテ居ツタカ、本省ハ何ヲヤツテ居ツタカ、私ハ實際ヲ見マシテ驚イタ、アノ親戚ヲ、燃料ガナイ、燃料ガナイト云ツテ居ナガラ、アタラ、親戚ヲ燃料ニセズ、田圃ヘ其儘撒リ込シテ居ル、之ヲ一切燒ジテ燃料トナサシメ、操作其ノ宜シキヲ得レバ朝夕ノ御飯ヲ炊イタ其ノ上ニ、立派な煙炭肥料ガ出來テ、二重ノ働キヲサセルコトガ出來ルノデアリマス、燃料不足、肥料不足ノ今日、ア、云フ無駄ナヤリ方ヲサシテ傍觀シテ居ルト云フコトハナイ筈ダ、ナゼ之ヲ燃料ニサセヌ、煙炭ニサセ一石二鳥ノ働キヲサセナイノカ、サウ云フ獎勵ノ徹底シテ居ラス、私ハ最近ニ於テ或ル温泉ニ行ツテ暫カ保養ヲシテ居ツタノデアルガ、此ノ温泉ハ二時間以上モ湯中ヘ入ツテ居ナケレバ效能ガナイト云フノデ、大勢ノ者ガ長時間入ツテ居ル、其處私ガ其湯治容ニ對シ色々ト此ノ温泉上ノ諸君ス、之ヲ周圍ニ居ル者カ一人トシテ無駄ニ觀カウツシナイ、皆私ノ周圍ニ集マツテ來テ、眼ヲ丸クシテ聽イデ居ル、女ガ浴衣連中ニ至ルマデガ聽イデ居ル、ソレカラ考ヘルト如何ニ良イ方法ガアリマシタモ、ソレガ實ニ農家下ヲ組織ノ地位農家トナルハ、一帯大切ナ農家ノ人々ニ徹底シテ居ラナイノデアリマス、農家ニ場ハ如何ニ良イ試驗成績ヲ得テ居テモ、ソレガ徹底シテ居ラナイ、天下ノ名人タル老農家ハ實業家ノ手許ニ如何ニ良イ農法カアリ増産法ガアツテモ、ソレガ一般農家ヘハ徹底シテ居ラナイ、ソレヲ一ツ徹底シシムル方法ヲ考ヘタラドウカト云フ

コトヲ、私ハ昨今痛切ニ感シテ居ルノデアリマス、此處ガ一番大事ナ所デス、上デ幾ラ騒イデモ駄目デアリマス、「吹ク時ハ上懸ガシキ風ナルモ吹カヌ時ニハイヅチ行カラン」デ、下部組織ニ居ル農民ハ何モ分ラズニ暮シテ、一向誰ガ分ラヌコトニナツテシマ、ドウカ一ツ實地ニ之ヲ徹底サセルヤウニ、ドウシタナラバト云フコトヲ御必ヘ下サイ、私ニ案ガアリマス、是ハ時間サヘアレバ後述ベキタイト思ヒマスガ、私ハ此ノ希望ヲ述ベマシテ、自分ノ質問ハ一應打切りタイト存ジマス

○川崎委員長 當局ノ御意見ガアリマスカ

○楠見政府委員 只今加藤委員カラ續ク御述ベニナリマシタ煙炭ノ問題ニ付キマシタハ、私トシテハ十分御趣旨ヲ聽ク生産當局ニモ傳ヘマシテ出來ルダケ御趣旨ニ副フヤウニ善處致シタイト思ヒマス

○安部子委員 一寸一言、先般自給肥料ニ對シマシテ、政府委員カラ御述ベニナリマシタガ、今マデ自給肥料ガ政府ノ御計畫通り増産カ出來ナイト云フコトニ對シマシテ、政府委員ノ御述ベニナツタ通り努力ノ問題等ガアルト思ヒマスガ、努力ノ問題ハ段々ニ解決スルト思フノデスガ、私ハハハハ先般申上ゲタヤウニ、資源ノ問題ハ非常ニ深刻ナ問題ダト思フノデアリマス、資源ノ培養スル生産計畫ト云フモノヲ立テナレバナラヌト思フノデアリマス、ソレガナレバ幾ノ獎勵致シマシテモ、非常ニ多額ノ獎勵金ヲ計上サレテ獎勵ニナツテ居ルノデアリマスガ、ソレニ對シマス當局ノ御苦心ノ點ハ多トシテ居リマスルケレドモ、其ノ御

苦心ニ副フダケノ成績ガ暴ラヌト云フコトハ、ドウシテモソレニ即應スル所ノ資源ガナイカラダト私ハ思ツテ居リマス、資源ヲ培養スルト云フ立物デ生産計畫ヲ立テ行カレバナラヌト思フノデゴザイマス、今マデノヤリ方ハ已ムヲ得ナカツタカモ知レマセヌガ、モウ食糧一増張リゴザイイマシテ、自給肥料ノ増産トカ飼料ノ問題トカ云フモノハ却却サレテ居ツタ、飼料ト肥料ト食糧ト云フモノハ、三ツ相關聯シテ居ルモノデアリマスカラ、一ツニ穴ガ開ケバ次ノ方ニ影響スルノハ當然デアリマス、ドウシテ此ノ點ニ對シテ、今後ノ生産計畫ニ對シテハ地方ノ培養ト云フコトヲ根幹トシテ生産計畫ガ立ツヤウニ御指導ヲ戴キタイ、之ヲ切望シテ居ルヤウナ次第デアリマス

○川崎委員長 他ニ更ニ重要ナ問題ガ幾ツモアリマスカラ、此ノ際私カラ一言添ヘテ肥料問題ノ質問ハ此ノ邊打切りタイト思ヒマス、今加藤君及ビ安部子君ノ熱心ナ御希望等ガゴザイマシタ、又總務局長ノ御答辯ヲ伺ヒマシタモ、政府ノ意ノアル所、立場ハ能ク分リマシタ、外カラ見テ居ルト違ウテ、局ニ當ラレテ苦心慘憺タルコト、ソレカラ農商省、今日名前ガ變リマシテ農林省ニナツテカラモ、多大ノ入費ヲ自給肥料ノ爲ニ使ウテ居ルコト等ノ内輪ノ話ヲ承リマシテ、御立場ハ洵ニ諒ト致シテ居リマス、併シ私共農民ノ實情ヲ見、其ノ感情ヲ代表スル議員ト致シマシテハ、何トナク物足りヌモノガアルノデ、之ヲ此ノ際申上ゲテ、更ニ一層ノ御指導ヲ願ヒタイト思フノデゴザイマス、大金ヲ掛ケルコトト苦心慘憺タルコトハ洵ニ御同情申上ゲ感謝致ス所デアリマスルケレドモ、其ノ多ク

ハ痴人夢ヲ説クト言ツテハ失禮デゴザ
イマスガ、ドウモ牡丹餅ヲ賣ニ描クヤ
ウナ問題ガ多イノデヤナカハ、ソレハ
一々事例ヲ持ツテ居リマスケレドモ、
詳シク述べルコトハ遠慮致シマシテ、
簡單ニ分ル御話ノミヲ申上ゲレバ、ア
ナタ方ノ御計畫ハ表ノ話デアツテ、裏
カラ見ルトサツバリナツテ居フナイ、
ドナタモ否ミ難イ實例ヲ茲ニ一ツニツ
述ベテ見マセウ、磷酸肥料ガ足リナイ
カラ鶏ヲ殖シテ鳥糞ヲ採ル、洵ニ結構
ナ話ダシ、鶏デナクテモ、南洋ニ方々島
糞ノ島ガ澤山アル、ソレヲ持ツテ來テ
モ宜イデアリマセウ、併シナガラ鶏ガ
ソナニアナタ方ノ御努力、獎勵金デ
殖エテ居ルナラバ、今日鶏ノ一羽ガ百圓
以上ノ値打スルコトハナイノデヤナ
カ、是ハアナタ方ハ御存ジダラウト思
フ、左様ナ途方モナイ事實ヲ現ハシテ
置イテ、大金ヲ掛ケテ鶏ヲ殖ヤスコト
ニ努力シテ居ルノダト言ツテモ、何處ノ
努力シタノカ少シモ分ラナイ、現在ノ
實情ハ如何ナル雄辯ヲ以テモ辯明出來
ナイコトデアリマス、又鑛鑛石ヲ是
レ是レ輸入スル、ソレモ洵ニ結構ダカラ、
是非ヤツテ裁カケレバナリマセウガ、
只今ハ何百萬ト云フ兵隊ガ外地ニ居リ
マシテ、ソレガ武装ヲ解除セラレ、食
物モナクナリ、軍票ヲ使フコトヲモ禁
ジラレテ、唯一意故國ニ歸ルコトダケ
ヲ望ンデ居ルノデアリマスケレドモ、
ソレヲ送り還ス船便サヘ都合ガ付カ
ナイ、聯合軍ニ米糧バツタノヤウニナ
テ頼ンデモ都合ガ付カナクテ、三年モ
経タナクテハ歸レナイト云フ話デア
ル、ソコデ昨日ハ在外同胞及ヒ復員兵
士ヲ早く送り還スコトニ付テ衆議院テ
決議案ガ通過シテ居ル、ソコニ持ツテ
來テ外國ニスツカリ成リ切ツテシマツ

タ所ノ南洋ナリ、佛印ナリノ方カラ機
鑛石ヲ大量ニ運ブ船ノ手筈ガ付キマス
カ、ヲカシイコトヲ言フナト我々實際
ヲ知ツテ居ル者ハ考ヘル、ソレデスカ
ラ理想ト實際トモウ少シ合フヤウニ御
奮發ヲ願ヒタイコトト、殊ニ肥料ニ付
テ申シマスレバ、最近二、三年間ニ
ノ位ノ金ヲドウ云フヤウナ費目ニ使ツ
テ、其ノ成績ハ、堆肥ハドノ位出來テ
反當リドノ位ノ増産ニナツテ居ルカ、
ソレカラ鳥糞ナリ、牛、馬、豚等ノ踏
肥ハドノ位増産ニナツテ、ソレニ金ハ
ドノ位投ジテ居ルカ、緑肥、厩肥ニ付
テハドウ云フ方法デドウ云フ費目ニ
ノ位金ヲ掛ケテドウナツテ居ルカ、即
席デ御答辯ハムヅカシイコトデアリマ
セウガ、色々ノ機關、設備ヲ持ツテイ
ラツシヤルコトデゴザイマスカラ、此
ノ委員會モ近ク切上ゲルコトデアリマ
セウガ、切上ラナイ前ニ一ツ「ガリ」版
デモ何デモ宜シイノデスカラ、御出シ
下サルヤウニ希望シマス——肥料問題
ハ此ノ位打切リマシテ、次ハ肥料問
題ノ質問ニ移リマス、先日質問ノ終リ
ノ方ガ殘ツテ居「マス——五十嵐君
振興策ト云フヤウナ點ニ付テ御尋ネ
致シタイと思ヒマス、我が國ノ肥料業
ハコ、數年來、年々減産ノ一途ヲ辿ツ
テ參ツタノデアリマスルガ、殊ニ近頃
ニ於キマシテハ、激減ニ次グ激減ヲ
以テスルト云フヤウナ實情ニナツテ居
リマスルガ、之ヲ減産ノ食ヒ止メ、更
ニ増産ノ方向ニ向ケルト云フヤウナコ
トハ、私ノ考ヘデハ是ハ尋常ノ様ナ手
段デハ到底出來ナイ、斯ウ思フノデア
リマス、ソコデ本當ニ之ヲヤルトルス
ナラバ、政府ニ於キマシテモ大キナ決
意ト思ヒ切ツタ手ヲ打タナケレバ、到

底滿ハ出來ナイト、斯ウ私ハ見透シ
付ケテ居ルノデアリマス、併シナガラ
終戦後ノ状況カラ致シマスレバ、是ハ
ドウシテモ、ドンナ困難ガアツテモ、
滿ト云フモノハ生産ヲシナケレバナ
ラ、生絲ハ作ラナケレバナラヌト云フ
情勢ニナツテ居ルノデアリマスルカ
ラ、一ツ大英斷ヲ以テ思ヒ切ツタ手ヲ
打ツテ裁キタイノデアリマス、ソコデ
滿ヲ作ル上ニ於キマシテ最モ大キナ問
題トナルハドウ云フ點カト言ヒマス
ハ、是ハ色々アリマセウガ、先ヅ食糧
トノ關係ノ問題、肥料ノ問題、ソレカ
ラ價格ノ問題デアラウト思フノデアリ
マス、本日ハ價格問題ニ付テ御尋ネ
致シタイと思フノデアリマスルガ、政
府ニ於キマシテハ、先般來相當思ヒ切
ツタ滿ノ價格ヲ改訂シテ値上ゲテ致サ
レタノデアリマス、併シナガラ最近ノ
情勢ハ、他ノ一般農作物トノ價格ノ均
衡ヲ甚ダシク失ツテ居ルト云フコトデ
アリマス、即チ普通農作物ハ價格格ナ
ラズトモ、一反歩ノ收入ト云フモノガ
千圓、千五百圓、更ニ多キハ二千圓ヲ
突破致シテ居ルト云フヤウナ實情デア
リマス、然ルニ滿ハ先ヅ大體三百圓乃
至四百圓シカ反當收入ハナイノデアリ
マス、而モ一般ノ農作物ト云フモノ
ハ、食糧ト云フ大キナ魅力ガアルノニ
反シマシテ、滿ト云フモノハサウ云ツ
タ點ガ全ク異ツテ居ルノデアリマシ
テ、單ニ金錢收入ト云フコト以外ニナ
イ、而モ其ノ收入ニ於キマシテハ、一
方ハ千五百圓、二千圓ト云フ多額ノ收
入ニ對シマシテ、僅ニ三、四百圓程度
ニ止マツテシマフ、斯ウ云フヤウナ惡
イ條件ノ下ニ於テハ、幾ラ滿ト云フモ
ノハ食糧デアルト云フコトヲ強ク説イ
テモ、是ハ到底無理ナ話デアリマシ

テ、滿ガ出來ナイト、私ハ遺憾ナガラ
サウ云フ風ナ悲觀ノ見方ヲ致サザル
ヲ得ナイノデアリマス、ソコデ斯ウ云
フヤウナ實情ヲ十分一ツ御考慮願
シテ、思ヒ切ツテ大幅な値上ラシテ、サ
ウシテ他ノ一般農作物トノ價格ノ均衡
ヲ稍々保テ得ル程度ニマデ御引上ゲテ
願ヒタイと思フノデアリマスルガ、此
ノ點ニ對シマシテ、其ノ御用意ガオア
リニナルカドウカ、之ヲ先ヅ御伺ヒ致
シタイノデアリマス
○山添政府委員 滿ノ價格ニ付キマシ
テハ、米ノ價格モ上リマスシ、其ノ他
色々一般ノ趨勢ヲ見マシテモ、ドンド
ン上ツテ行クヤウナ情勢デアリマスノ
デ、明年度ノ滿價ニ付キマシテハ、適
當ナ引上ゲ致シタイト云フ積リテ研究
ヲ致シテ居リマス
○五十嵐委員 次ハソレニ關聯ヲ致シ
マシテ生絲ノ生産費ノ問題デアリマス
ルガ、是ハ昭和十八年ニ生絲十貫目ノ
生産費ガ百五十八圓デアリマシタモノ
ガ、二十年度ニ於キマシテハ、色々政
府ノ御心配ニ依リマシテ三百八十二圓
ト、實ニ大幅ナ引上ラ見タノデアリマ
シテ、此ノ點ハ洵ニ結構デアリマスル
ガ、最近ノ實情ハ是レ亦實ニ容易ナラ
ヌコトニ相成ツタノデアリマシテ、具
體ノ一例ヲ申上ケマス、昭和十八
年ノ生絲費百五十八圓ノ中ニハ燃料費
シテ計算サレタモノガ三十一圓九十
八錢デアリマス、即チ昭和十八年、二
年前ニ於キマシテハ、生産費ノ中ニ占メ
ル燃料費ハ約二割デアリマス、大體燃
料費ハ生絲生産費ノ二割乃至三割程度
ヲ從來占メテ參ツタノデアリマス、然
ルニ本年度ノ實情ハドウ云フコトニナ
ツテ居ルカト云フト、是ハ十分御承知
ガ、此ノ點ニ對スル御考ヘヲ承リタイ

生産費ニ對シマシテ、現ニ製絲業者ガ
支拂ツテ居リマスル所ノ燃料費ハ、群
馬、長野邊リノアノ山間地帯ニ於テス
ラ、二百四十圓見當リ支拂ツテ居ル實
情デアリマス、恐ラク他ノ地區ニ於キ
マシテハ、ヨリ巨額ニ相成ルト思フノ
デアリマス、即チ二百四十、五十圓ト云
フモノガ燃料費ノ爲ニ費サレテ居ルト
云フ譯デアリマス、之ヲ割合ニ致シマ
スト、驚クベキコトニハ、實ニ六割五
分乃至七割ト云フ數字ニ上ルノデアリ
マス、殘タ三割乃至三割五分デハ到
底生産ハ窮屈デヤツテ行ケツコナ
殊ニ賠償等ノ暴騰ニ依リマシテ、生絲
ノ生産費ハ非常ニ窮屈ニナツタ——窮
屈ト云フヨリモ殆ド二進モ三進モ行カ
ヌト云フノガ現状デアラウト思フノデ
アリマス、其ノ結果ハドウ云フコトニ
ナルカト申シマスルト、何處マデガ本
當ノ話デアルカハ分リマセウガ、現在
生絲ノ價格ガ二千三百八十二圓ト云フ
コトニナツテ居ルノニ、只今申シマシ
タヤウニ、生産費ノ非常ニ苦シイト云
フ實情モ反映シテ居ルト思フノデス
ガ、往々ニシテ生絲ノ潮流レト云フコ
トヲ耳ニ致スノデアリマス、而モ二千
三百八十二圓ノ生絲ガ七、八千圓 最
近ニ於テハ一萬圓ヲ以テ取引ヲ致サレ
テ居ルト云フ話マデ聞イテ居ル、是モ
全然アイ事實デハナカラウト思フノデ
アリマス、斯ウ云フコトヲ色々考ヘマ
シタ場合ニ、此ノ生絲生産費ト云フモ
ノハ、十分御考ヘニナツテハ居ルコ
トト思ヒマスガ、思ヒ切ツテ實情ニ即
シタ引上ラ願ハナケレバ、ヤハリ横流シ
其ノ他忌ハシイコトガ生ジテ參リ、生
絲生産計畫ノ上ニモ、色々面白クナイ
結果ヲ招カスルト思フノデアリマス
ガ、此ノ點ニ對スル御考ヘヲ承リタイ

ノデアリマス

○山添政府委員 生産費ガドノ上ツテ行クト云フ狀況ハ、確カニ御話ノヤウナ點モアラウカト存ジマス、明年度ノ生絲ノ生産費ヲ決メマスルコトニ付キマシテハ、今マデデスト六月ノ分ヲ一月ニ決メルコトニシテ居リマス、是ハ其ノ直前ニナツテ其ノ時ノ物價ノ情勢ヲ反映シテ決メルト云フ方法ヲ執リマシテ、支障ノナイヤウニ致シテ行キタイ積リデアリマス

○五十嵐委員 サウスルト十分此ノ點ニ付テモ御考ヘニナツテ居ル、斯ウ云フコトデスネ——ソレカラ是ハ大變肝腎ナコトニ感ジテ居ルノデアリマスガ、繭ノ價格ヲ決定スルニハ、生産計費ヲ立テテ業者ニ繭、生絲、種ト云フヤウナモノノ生産ヲ制當サスル、是ガ從來非常ニ時期ガ過レテ居ルノデアリマス、蓋シ家ト云フモノハ既ニ一月、二月ノ農閑期ニチヤント蓋シ計畫ヲ各、立テルノデアリマス、所ガ政府ノ從來ノ決定ニ依リマス、三月、四月ニ價格ヲ決メたり、或ハ生産計畫ト云フモノヲ制當サスルト云フコトデ、時期ガ過レマシテ、價格ヲ上ゲテモ何シテモ間ニ合ハナイ、増産ヲサセヨウト云フ爲ニ價格ヲ上ゲル、蓋シ意欲ヲ大ニ昂揚シテト云フヤウナ親切ナ氣持デヤリマシテモ、時期ヲ失ツテ居ルガ爲ニ非常ニ其ノ效果ガ減殺サレト云フノガ今マデノ事例デアリマス、ソコデ生産計畫、價格ノ決定ト云フヤウナコトハ、少クトモ之ヲ年内ニ御決メニナツテ發表シテ行クト云フ方法ヲ執ツテ戴カナイト、實際問題トシテ困ルノデアリマス、是非サウ云フコトニ御願ヒシタイト思フノデアリマス、政府ノ御計畫ハ如何デスカ、此ノ點ヲ一ツ伺ヒタイ

イ

○山添政府委員 年内ハ困難デアリマスガ、一月中ニヤリタイ積リデアリマス

○五十嵐委員 近ク日本蠶絲統制株式會社ハ解散ヲサレルコトニナツタノデアリマスガ、日本蠶絲統制株式會社ノ解散ニ當リマシテ、同社ノ持つテ居ル積立金ヲ如何ニ處分スルカト云フ點ニ付テ御尋ネラシタイト思フノデアリマス、統制會社ハ昨年度ノ積立金ガ多分九千六百萬圓カト承知ヲ致シテ居ルノデアリマス、本年度ノ積立金ハ蠶絲類ノ價格ノ改定ニ依リマシテ、恐ラク相當巨額ナ額ニ達スルと思フノデアリマス、ソコデ此ノ改正法ニ依リマス、其ノ積立金ト云フモノハ蠶絲業者ニ引渡シサスルト云フコトニ相成ツテ居リマス、是ハ洵ニ當然ダト思フノデアリマス、ケレドモ、私ハサウ云、巨額ナ金ヲ次ノ蠶絲業者ニ全部引渡ス必要ハナイト思フ、ソコデ現ニ蠶絲沈滞致シテ居リ、而モ減産ノ經路ヲ辿ツテ居ル蠶絲業者振興サセル方面ニ、金ヲ有效ニ一ツ御使ヒニナツタナラバドウカ、サウ云フ一定ノ金額ハ積立金トシテ必要デセウガ、ソレ以上相當ノ額ハ積立スル必要ガナイ、斯ウ思フノデアリマス、ソレハ各府縣ニ金ヲヤツテ、地方ノ特殊事情ヲ十分活カスコトモ一ツノ方法デアリマセウシ、方法ニ付テハ色々アラウト思ヒマス、要スルニ蠶絲業者振興ヲ立テテ、振興ノ爲メ、再建ノ爲メ、十分一ツ御使ヒニナツテ戴キタイト思フノデアリマス、此ノ點ニ對スル政府ノ御所見ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○山添政府委員 繭絲價格安定資金ハ、將來要ルカドウカト云フコトハ先ヅ考ヘテ見ナケレバナラヌ問題デアリマス、御承知ノヤウニ生絲ノ生産モ非常ニ減ツテ居ル、幾分出シタ所デ「アメリカ」ノ需要ニ應ヘルマデニモ行カスト云フ程度デアリマス、其ノ意味ニ於キマシテ、生絲價格乃至繭ノ價格ヲ支ヘル爲メ安定資金ト云フモノハ、當分必要ガナイモノト思ヒマス、ケレドモ、問題ハ爲替ノ決マル時ニアルノデアリマシテ、當分ノ間ハ國家ガ買上ゲテ國家ガ出スノデアリマス、價格問題ハゴザイマセ、併シ爲替ガ何時決マルカ知リマセケレドモ、將來決マルカト云フ時ニ巧行ケルカ、或ハ適ニナルカ、ソコニヤハリ「チャンス」ガゴザイマス、相當ノ金ヲ取ツテ置ク必要ガアラウト考ヘテ居リマス、モウ一ツノ問題ハ御承知ノヤウニ、積立金ニ付テハ免稅ニナツテ居リマス關係デ、隨テ其ノ使ヒ方モ法律デキツチリ決メラレテ居ルノデアリマス、隨テ之ヲ他ノ方面ニ處分シテシマフト云フコトハ困難デゴザイマス、其ノ儘次ノ蠶絲業者ニ、同一ノ繭絲價格安定管理ヲスル、斯ウ云フコトニナルノデアリマス、併シ一面此ノ蓋施施設ニ相當力ヲ入レテ、政府ノミナラズ斯ウ云フ會デモヤツテ戴クコトガ必要ト考ヘテ居リマス、サウ云フコトハ又出來ルデアラウト云フ見込ヲ持つテ居ル譯デアリマス、此ノ問題ハ此ノ程度ノ御答ヘニ致シタイト思ヒマス

○五十嵐委員 サウスルトモウ一點伺ヒマスガ、其ノ積立金ハ他ニ使フコトガ全然出來ナイト云フ話ナデスカ

○山添政府委員 サウ云フ風ニ法制上決マツテ居リ又課稅ヲ免除シテ居ルト云フ關係上、サウ云フ趣旨ニナツテ居ル、斯ウ云フ譯デアリマス

○五十嵐委員 最後ニ一點御尋ネシタイノデスカ、統制會社ガ解散ニナル、サウシテ次ニ蠶絲業者ト云フモノヲ只今設立ガ進メラレテ居ル、ソコデ來ルベキ年度ノ蠶絲類ノ生産額當ハ、ドウ云フ風ナ方法デアリマス、繭ノ生産ノ蠶ノ生産、生絲ノ生産並ニ蠶種ノ生産ノ制當ヲナサル方法ヲ一ツ御尋ネ致シタイ

○山添政府委員 第一ノ繭デアリマスガ、是ハ食糧ノ生産額當ニ準ジテ、同一ノ方法デ今後モヤツテ行キタイ、斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマス、隨テ政府カラ府縣府縣カラ生産團體——ト、斯ウ云フ風ニ參リマス、ソレカラ種ノ問題デアリマスガ、是ハ今マデ統制法ニ基キマシテ生産額當ヲ政府ガ執ツテ居リマシタノデアリマスガ、其ノ法律モ廢止ニナリ、今後ノ事情ト致シマシテハ、寧ロドンナ品種ヲ蓋シ方デ希望スルカ、又ドンナ製造家ノ造ツタモノヲ希望スルカ、サウ云フ蓋シ方デ方ガ宜シト考ヘテ居ルノデアリマス、其ノ結果トシテ所謂今マデノヤウナ制當ハ之ヲ廢止シタ方ガ宜シイ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス、ソコデ斯ウ云フ問題ハ今度出來マス蠶絲業者ニ於テ自治のニ取扱フ譯デアリマスガ、私ノ宜カラウト思ツテ居ル考ヘ方ハ、蓋シトノ間ニ豫約制度ヲ執ツタ方ガ宜イノデアリカ、今マデノヤウナ無駄ナ蓋種ヲ造ルト云フコトデアリマシテハ、折角ノ國ノ生産力ヲ無駄ニスルト云フコトデアリマス、其ノ邊ハサウ云フヤウナ所デ、豫約制度

ト云フヤウナコトデ、蠶絲業者ニ於テ自治の統制ヲナスコトガ望マシイト考ヘテ居リマス、生絲ニ付キマシテハ、今マデ制當ヲ致シテ居リマシタガ、是モ廢止ニナリマス、特ニ今マデハ制限的意味ニ於ケル生産額當ト云フヤウナ觀念セアリマシタガ、是ハ事情ハ全然今後ハ適デアリマシテ、サウ云フモノハ廢止スル、併シ色々ナ事情カラ致シマシテ、ソコニ仕事量ノ制當ト云フモノハアルコトガ望マシイト考ヘテ居リマス

隨テ私共ノ腹案ト致シマシテハ、昭和十七年度即チ蠶絲製造會社設立前ノ仕事量ヲ基準ニ致シマシテ、サウシテ製絲業者ニ對シテ所謂繭地盤ノ制當ト申シマス、サウ云フコトニ依ツテ一面蠶絲業者ニ對スル仕事制當ノ公正ヲ期シマス、同時ニ蠶絲ノ増産、品種ノ改良ト居フヤウナコトニモ製絲業者ト蠶絲業者ト協力シテヤツテ行ケルヤウナ考ヘ方ノ方ガ宜イデヤナイカ、斯様ニ考ヘテ居リマス、ソレデ其ノ基準ハ先程申シマシタヤウニ、昭和十七年度ノ實際ヲ基準ト致シマスガ、ソレデケデ宜シイカドウカ、之ニ適當ナ調整ヲ加ヘタモノヲ以テ基準トスルカドウカト云フコトハ、目下研究中デアリマシテ、是ハ業者ノ方ノ意見モ參酌シテ最後ニ決メタイ積リデアリマシテ、此ノコトモ亦設立サレントスル蠶絲業者ノ自治の統制ニ依ル次第デアリマス

○五十嵐委員 實ハ私ノ言葉ガ一寸足ラナカッタト思ヒマス、私ノ伺ヒタイト思ツタ點ハ、從來蠶絲類ノ生産額當ト云フモノハ、政府並ニ統制會社ガ行ツテ居ツタ、然ルニ統制會社ガ解散

ニナツタ、ソコで今後ノ必要ナル統制
ト云フモノガ蠶絲業會ノ自治ノ統制
ニ任セラレト云フ建前ニナリマスル
ト、刺當ト云フモノモ、隨テ生産ノ基
本計畫ト云フモノモ、政府ガ御立デ
ナルコトハ、是ハ無論デアリマスガ、
個々ノ業者ヘノ刺當ト云フモノハ當然
サウ云フコトニナリマスルト、蠶絲業
會ノ手ニ依ツテ行ハシムル方ガ適當デ
アラウ、斯ウツテ私ノ考ヘデアリマス、
其ノ點ヲ簡單デ結構デスカラ一ツ伺ヒ
タイ

○山添政府委員 繭ノ生産計畫ニ付キ
マシテハ、是ハ食糧ト綜合ノ方ガ宜
イト考ヘテ居リマスノデ、結局食糧ニ
準ジテ取扱フシテ行キタイ、併シ種ト
カ生絲トカ言フモノニ付キマシテハ、
御説ノ通りニ蠶絲業會ノ自治統制ニ委
ネルノデアリマス

○五十嵐委員 能ク了解シマシタ、
之ヲ以テ私ノ質問ハ終リマス
○川崎委員 ソレデハ午後マデ休憩
ヲ致シマスガ、其ノ前ニ一寸總務局長
ニ御断リシテ置キタイ、機織石ニ關シ
テハ私ノ方ニ尙ホ意見モアリマス、細
カイコトハ省略シマスガ、アナタノ御
説明ノ御立場ハ之ヲ了承致シマシタ、
ソレカラ自給肥料問題ニ付テノ委員長
ノ要求ニ付テハ、エライ細目ニ互ルモ
ノデナクテモ、大體ノコトヲ御示シ下
サル御意思ガアリマセウカ、其ノコ
トヲ確カメマシテ、只今ヨリ休憩致シ
タイト思ヒマス

○加藤(知)委員 午後ニハ是非大臣ニ
御出席願ヒタイト思ヒマスカラ、委員
長ニ此ノ點御断ヒ致シテ置キマス
○川崎委員長 今日午後ニハ出席サレ
ルヤウニ交渉致シマス、是ニテ休憩致

シマス、午後ハ一時半ヨリ開キマス
午後一時五十分休憩

午後一時五十分開議
○仲西委員長代理 是ヨリ會議ヲ開キ
マス、山田君

○山田(六)委員 蠶絲業法改正法律案
ニ付キマシテ二、三御断ヒ致シマス、
蠶絲統制會社ヲ廢止スルカ、或ハ蠶
絲製造會社ヲ解散シテ蠶絲業會ヲ作
ルト云フコトデスガ、是等ハ何レモ聯合
國軍司令部ヨリノ命令ニ依ツテ、斯ウ
云フ體系ニナツタト云フコトデスガ、
ドウ云フ意味ニ於テ、是ノ解散ヲ命令
シタカト云フコトニ付テ、是マデノ官
僚統制ハ宜シクナイ、自主ノニヤレ、
民主主義ニヤレト云フヤウナ意味ニ於
テ解散トカ廢止ト云フコトニ相成ツタ
ノデアラウト思フノデアリマスガ、今
度ノ蠶絲業法改正法律案ヲ見ルト、三
ツノ法律ヲ廢止サレテ、ソレニ代フル
ニ今回蠶絲業法ナルモノガ出タヤウデ
アリマスガ、内容ハ依然トシテ同ジデ
變ル所ガナイ、種ニ付テモ、繭ニ付テ
モ、生絲ニ付テモ、悉ク統制ヲヤツテ
行カウト云フヤウナ方針ノ下ニ出來テ
居ルヤウデアリマス、サウスルト、今
日マデノ官僚統制ト何等選別所ガナイ
ヤウニ考ヘルノデアリマスガ、今回ノ
改正ニ依ツテ或ハ會社ノ解散ニ依ツテ
機構ガ以前ト斯ウ云フ工合ニ變ツタ
ノデ、斯ウ云フ風ナソコニ雖然タル區別
ガアル管デアリマスガ、其ノ點ニ對シ
テノ御所見ヲ御伺ヒシタイ

(仲西委員長代理退席、委員長著
席)
○山添政府委員 「マッカーサー」司令
部カラ指示ガゴザイマシタノハ、日本
蠶絲統制株式會社及日本蠶絲製造株
式會社並ニ共榮蠶絲組合ヲ解散セヨ、

新シク「パブリック・エージェンシー」ノ
設立計畫ヲ立テテ司令部ノ同意ヲ得
ヨ、斯ウ云フコトデアリマシタ、此ノ
三ツノ會社若シハ團體ニ對シテ解散
ヲ命令シテ來マシタ理由ニ付キマシテ
ハ、獨占ノ排除ト云フコトガ主ナルモ
ノデアリマス、即チ日本蠶絲統制株式
會社ニ於キマシテハ、繭、種、生絲ニ
付テ一手取扱フ致シテ居リマス、又製
造會社ニ於キマシテハ、大部分ノ生絲
ノ製造ヲ統合致シテ居リマス、斯クノ
如キ事柄ガ經濟ノ民主主義ノ根ニ沿ッ
テ居ナイ、斯ウ云フ理由デアルト考ヘ
マス、此ノ指令ノ出マス時ニ、一寸來
イト云フコトデ、私ハ「クレイマー」大
佐ニ會ヒニ聞キマシタ、其ノ理由如何、
斯ウ云フ旨問ヲ致シマシタ所、結局總
テ「一遍」クリーニング・アップ」シテ
呉レ、一遍掃除シテ新シク出直シテ吳
レ、斯ウ云フ指示デアリマシタ、サウ
云フ線ニ基キテ居ルト思ヒマス、ソレ
カラ所謂「パブリック・エージェンシー」
ヲ作ル案ヲ業者ノ方々ト相談シテ作リ
マシテ、相談ニ參ツタ、其ノ際此ノ新
シイ團體ヲ作ルノニ付キマシテ、徹底
シテ民主化シ政府ガ干渉シナイノデ、
サウ云フ方向ニ於ケル意見ノ交換ヲ致
シタ次第デアリマス、サウ云フ解釋ニ
基キマシテ、此ノ改正法律案ヲ提案シ
タヤウナ次第デアリマスルガ、ソレデ
ハ實質上元ノ統制ト今回ノ此ノ改正法
律案ニ依ル統制方法ト何處ガ違フカ、
今マデハ蠶絲統制法ニ基キ官ニ依ル
國家ノ權力ヲ背景ト致シマシタ統制ヲ
ヤツテ居ツタノデアリマスガ、今度ノ
蠶絲業會ニ於キマシテハ、蠶絲業會ニ
對スル國家ノ強イ監督權ト云フモノヲ
外シテアリマスト共ニ、仕事ノ運営即
チ蠶種ニ關スル自治統制ノ如キモノヲ

如何ニスルカ、又蠶絲業者ニ對スル仕
事並ノ刺當ヲ如何ニスルカ、斯ウ云フ
ヤウナ點ハ何レモ擧ゲテ蠶絲業會ノ自
治統制ニ任セルノデアリマシテ、蠶絲
業會自體ノ運営並ニ其ノ行フ仕事ニ付
テノ運営方法ト云フモノガ、民主主義
ノ基本方向ニ沿ツテ居ル、斯ウ云フ譯
デゴザイマス

○山田(六)委員 サウ致シマスルト今
回蠶絲業法ニ於テ是マデ政府ノ嚴重
ナル統制監督ノ下ニヤツテ居ツタモノ
ガ、當業者ノ自由意思或ハ民主主義ニ
依ツテヤツテ行クト云フヤウナコトニ
變ラナケレバナラヌ管デアリマスガ、
其ノ點ニ對シテ現在ノ法律ニ依ツテ、
ヤハリ依然トシテ生絲ノ生産、加工輸
出或ハ繭ノ値段、總テニ對シテ統制ヲ
致スト云フヤウナコトニナツテ居ルノ
デアリマスガ、其ノ點ハ殆ド變リガナ
イト云フ風ニ考ヘラレルノデアリマス、
殊ニ其ノ中デ私共ハ斯ウ思ツテ居ル
ノデス、今日ノ如ク蠶絲ノ生産ガ非
常ニ減少ヲ致シタノハ、極メテ強度
ナル統制ノ結果デアアル、此ノ統制ト云
フノハ、一面ニ於テ國家ノ要請ニ應ジ
テヤラナケレバナラヌト云フコトデア
ツタノデアリマセウガ、其ノヤルト云
フコトハ、同時ニ生産ノ非常ニ阻碍ス
ル、生産ノ増加ニ對シテ大變大キナ
「ブレーキ」ヲ掛ケタ形ニナツテ來テ居
ルト云フコトハ、是ハ爭フベカラザル
事實ガト思フノデアリマス、一方ニ
生産ノ必要ガアリ、一方ニ生産ノ阻碍
スル政策ヲ執ルト云フコトハ、是ハ兩
立シナイ、デアリマスカラ、今日マデ
ノ繭ノ生産ノ減少狀態ヲ見ルト、統制
ガ強化シ始マツテカラ、繭ノ生産ガ
ダグンノ減ツテシマツタト云フノハ、其
ノ他ニ色々ナ原因ガアリマスルケレド

モ、蠶絲統制ト云フモノガ強化サレタ
ノヲ擔トシテ、漸次生産ガ減少致シタ
ト云フコトハ、爭フベカラザル事實
デアリマス、今回ノ食糧輸入ニ對シ
テ、其ノ代替物ニ生絲ガナルト云フヤ
ウナコトニナツテ參リマシテ、生絲ノ
重要性ガソレニ加ハタ譯デアリマス
ルガ、此ノ加ハタ際ニ、ドレデケノ
品物ヲ「アメリカ」ガ必要トスルカ、或
ハ其ノ他ノ外國ガ必要トスルカ、國內
ニ於テモ纖維饑饉ノ今日ノ狀態デアリ
マスルカラ、國內ノ需要モ相當多イデ
アリマセウ、併シソレ等ニ對シテ、ド
レデケノ量ガ必要デアアルカト云フコト
ニ付テノ數量ヲ御聽キスルト同時ニ、
或ル程度ノ數量ヲ增加スルト云フコト
ニナレバ、已ムヲ得ザルモノハ統制ヲ
致スケレドモ、其ノ他ノモノニ對シテ
ハ此ノ際開放ヲスル、斯ウ云フコトニ
致シタナラバ繭ノ生産ハ漸次増加ヲス
ルノデハナイカト考ヘラレルノデアリ
マスガ、其ノ點ニ對シテ政府ノ御所見
ヲ御伺ヒ致シタイノデアリマス

○山添政府委員 統制ヲドウシテモ必
要トスル面ハ、輸出生絲ノ確保ト云フ
點デアリマス、生絲ヲ出シテ食糧ヲ入
レル、其ノ爲ニハ只今完全ニ生絲ヲ自
由ニ致シマスレバ、恐クシク現在ノ纖維
不足ノ狀況カラ言ヘバ、皆是ハ國內デ
使ツテシマフト考ヘテ居リマス、隨テ
輸出生絲ノ確保ト云フ目的ノ爲ニ必要
ナル統制ヲヤツテ行カナケレバナラヌ
ト考ヘテ居ル譯デアリマス、然ラバ海
外デドレデケノ需要ガアルカト云フ點
ニナリマスルト、是ハ確實ナコトハ數
年來生絲ノ輸出ガ止マツテ居ツタ狀況
ニ於キマシテハ、推定致スコトガ困難
デアリマス、併シ色々聽イテ居リマス
中ニ、從來殆ド「アメリカ」デハ靴下ニ

モ、蠶絲統制ト云フモノガ強化サレタ
ノヲ擔トシテ、漸次生産ガ減少致シタ
ト云フコトハ、爭フベカラザル事實
デアリマス、今回ノ食糧輸入ニ對シ
テ、其ノ代替物ニ生絲ガナルト云フヤ
ウナコトニナツテ參リマシテ、生絲ノ
重要性ガソレニ加ハタ譯デアリマス
ルガ、此ノ加ハタ際ニ、ドレデケノ
品物ヲ「アメリカ」ガ必要トスルカ、或
ハ其ノ他ノ外國ガ必要トスルカ、國內
ニ於テモ纖維饑饉ノ今日ノ狀態デアリ
マスルカラ、國內ノ需要モ相當多イデ
アリマセウ、併シソレ等ニ對シテ、ド
レデケノ量ガ必要デアアルカト云フコト
ニ付テノ數量ヲ御聽キスルト同時ニ、
或ル程度ノ數量ヲ增加スルト云フコト
ニナレバ、已ムヲ得ザルモノハ統制ヲ
致スケレドモ、其ノ他ノモノニ對シテ
ハ此ノ際開放ヲスル、斯ウ云フコトニ
致シタナラバ繭ノ生産ハ漸次増加ヲス
ルノデハナイカト考ヘラレルノデアリ
マスガ、其ノ點ニ對シテ政府ノ御所見
ヲ御伺ヒ致シタイノデアリマス

○山添政府委員 統制ヲドウシテモ必
要トスル面ハ、輸出生絲ノ確保ト云フ
點デアリマス、生絲ヲ出シテ食糧ヲ入
レル、其ノ爲ニハ只今完全ニ生絲ヲ自
由ニ致シマスレバ、恐クシク現在ノ纖維
不足ノ狀況カラ言ヘバ、皆是ハ國內デ
使ツテシマフト考ヘテ居リマス、隨テ
輸出生絲ノ確保ト云フ目的ノ爲ニ必要
ナル統制ヲヤツテ行カナケレバナラヌ
ト考ヘテ居ル譯デアリマス、然ラバ海
外デドレデケノ需要ガアルカト云フ點
ニナリマスルト、是ハ確實ナコトハ數
年來生絲ノ輸出ガ止マツテ居ツタ狀況
ニ於キマシテハ、推定致スコトガ困難
デアリマス、併シ色々聽イテ居リマス
中ニ、從來殆ド「アメリカ」デハ靴下ニ

○山添政府委員 統制ヲドウシテモ必
要トスル面ハ、輸出生絲ノ確保ト云フ
點デアリマス、生絲ヲ出シテ食糧ヲ入
レル、其ノ爲ニハ只今完全ニ生絲ヲ自
由ニ致シマスレバ、恐クシク現在ノ纖維
不足ノ狀況カラ言ヘバ、皆是ハ國內デ
使ツテシマフト考ヘテ居リマス、隨テ
輸出生絲ノ確保ト云フ目的ノ爲ニ必要
ナル統制ヲヤツテ行カナケレバナラヌ
ト考ヘテ居ル譯デアリマス、然ラバ海
外デドレデケノ需要ガアルカト云フ點
ニナリマスルト、是ハ確實ナコトハ數
年來生絲ノ輸出ガ止マツテ居ツタ狀況
ニ於キマシテハ、推定致スコトガ困難
デアリマス、併シ色々聽イテ居リマス
中ニ、從來殆ド「アメリカ」デハ靴下ニ

○山添政府委員 統制ヲドウシテモ必
要トスル面ハ、輸出生絲ノ確保ト云フ
點デアリマス、生絲ヲ出シテ食糧ヲ入
レル、其ノ爲ニハ只今完全ニ生絲ヲ自
由ニ致シマスレバ、恐クシク現在ノ纖維
不足ノ狀況カラ言ヘバ、皆是ハ國內デ
使ツテシマフト考ヘテ居リマス、隨テ
輸出生絲ノ確保ト云フ目的ノ爲ニ必要
ナル統制ヲヤツテ行カナケレバナラヌ
ト考ヘテ居ル譯デアリマス、然ラバ海
外デドレデケノ需要ガアルカト云フ點
ニナリマスルト、是ハ確實ナコトハ數
年來生絲ノ輸出ガ止マツテ居ツタ狀況
ニ於キマシテハ、推定致スコトガ困難
デアリマス、併シ色々聽イテ居リマス
中ニ、從來殆ド「アメリカ」デハ靴下ニ

○山添政府委員 統制ヲドウシテモ必
要トスル面ハ、輸出生絲ノ確保ト云フ
點デアリマス、生絲ヲ出シテ食糧ヲ入
レル、其ノ爲ニハ只今完全ニ生絲ヲ自
由ニ致シマスレバ、恐クシク現在ノ纖維
不足ノ狀況カラ言ヘバ、皆是ハ國內デ
使ツテシマフト考ヘテ居リマス、隨テ
輸出生絲ノ確保ト云フ目的ノ爲ニ必要
ナル統制ヲヤツテ行カナケレバナラヌ
ト考ヘテ居ル譯デアリマス、然ラバ海
外デドレデケノ需要ガアルカト云フ點
ニナリマスルト、是ハ確實ナコトハ數
年來生絲ノ輸出ガ止マツテ居ツタ狀況
ニ於キマシテハ、推定致スコトガ困難
デアリマス、併シ色々聽イテ居リマス
中ニ、從來殆ド「アメリカ」デハ靴下ニ

○山添政府委員 統制ヲドウシテモ必
要トスル面ハ、輸出生絲ノ確保ト云フ
點デアリマス、生絲ヲ出シテ食糧ヲ入
レル、其ノ爲ニハ只今完全ニ生絲ヲ自
由ニ致シマスレバ、恐クシク現在ノ纖維
不足ノ狀況カラ言ヘバ、皆是ハ國內デ
使ツテシマフト考ヘテ居リマス、隨テ
輸出生絲ノ確保ト云フ目的ノ爲ニ必要
ナル統制ヲヤツテ行カナケレバナラヌ
ト考ヘテ居ル譯デアリマス、然ラバ海
外デドレデケノ需要ガアルカト云フ點
ニナリマスルト、是ハ確實ナコトハ數
年來生絲ノ輸出ガ止マツテ居ツタ狀況
ニ於キマシテハ、推定致スコトガ困難
デアリマス、併シ色々聽イテ居リマス
中ニ、從來殆ド「アメリカ」デハ靴下ニ

○山添政府委員 統制ヲドウシテモ必
要トスル面ハ、輸出生絲ノ確保ト云フ
點デアリマス、生絲ヲ出シテ食糧ヲ入
レル、其ノ爲ニハ只今完全ニ生絲ヲ自
由ニ致シマスレバ、恐クシク現在ノ纖維
不足ノ狀況カラ言ヘバ、皆是ハ國內デ
使ツテシマフト考ヘテ居リマス、隨テ
輸出生絲ノ確保ト云フ目的ノ爲ニ必要
ナル統制ヲヤツテ行カナケレバナラヌ
ト考ヘテ居ル譯デアリマス、然ラバ海
外デドレデケノ需要ガアルカト云フ點
ニナリマスルト、是ハ確實ナコトハ數
年來生絲ノ輸出ガ止マツテ居ツタ狀況
ニ於キマシテハ、推定致スコトガ困難
デアリマス、併シ色々聽イテ居リマス
中ニ、從來殆ド「アメリカ」デハ靴下ニ

○山添政府委員 統制ヲドウシテモ必
要トスル面ハ、輸出生絲ノ確保ト云フ
點デアリマス、生絲ヲ出シテ食糧ヲ入
レル、其ノ爲ニハ只今完全ニ生絲ヲ自
由ニ致シマスレバ、恐クシク現在ノ纖維
不足ノ狀況カラ言ヘバ、皆是ハ國內デ
使ツテシマフト考ヘテ居リマス、隨テ
輸出生絲ノ確保ト云フ目的ノ爲ニ必要
ナル統制ヲヤツテ行カナケレバナラヌ
ト考ヘテ居ル譯デアリマス、然ラバ海
外デドレデケノ需要ガアルカト云フ點
ニナリマスルト、是ハ確實ナコトハ數
年來生絲ノ輸出ガ止マツテ居ツタ狀況
ニ於キマシテハ、推定致スコトガ困難
デアリマス、併シ色々聽イテ居リマス
中ニ、從來殆ド「アメリカ」デハ靴下ニ

使ハレテ居リマシタガ、寧ろ今後ハ下
着其ノ他ノ方面ニ餘計使ハレルノデハ
ナイカ、斯ウ云フ見込ヲヤウデアリマ
ス、又斯ウ付テモ相當程度依然トシ
テ使ハレルデラウ、斯ウ云フ見込ヲ持
ツテ居リマス、現ニ昨日「ダウテイ」
氏ガ講演ノ檢査所ヲ觀察ニ參ツタサウ
デアリマス、其ノ時ニモ靴下用ノ十四
中ガ入用ダト云フ御話ヲサレテ居ッ
サウデアリマス、數量のニハハツキリ
分リマセヌガ、色々綜合シテ見マス
ルノニ、「アメリカ」デモ二十萬俵程度
ノモノハ必要ダ、斯ウ云フ風ニ觀測サ
レルノデアリマス、唯遺憾ナガラ我國
ノ供給力、生産ガソレニ件ハナイガ實
情デアリマス、來年幾ノ備ガ作レルカ、
是ハ機業ノ狀況等ニ依ツテ相當影響サ
レルト考ヘマスガ、先ヅ生絲ニ致シマ
シテ十八、九萬俵乃至二十一、二萬俵
ト云フ所デアラウト考ヘテ居リマス、
其ノ中輸出スル計畫ノモノハ十五萬俵
乃至十六萬俵ノ範圍デアリマシテ、下
級品ノ殆ドウ國內ニ廻ス、斯ウ云フ積
リヲ致シテ居ルノデアリマシテ、世界
的需要ト云フモノヲ考ヘレバ、相當
量ノ増産ノ圖ツテ行カケレバナラ
スト思フテ居ル次第デアリキス、併シ
食糧事情ト云フヤウナ點カラ、蠶絲ノ
増産ニ相當制約ガアル、斯ウ云フ事情
ハ又山田委員ガ能ク御承知ノ點デアリ
マス、色々困難ナ事情ニ付キマシテ
モ、適切ナ対策ヲ立テテ極力増産ニ邁
進シタイト考ヘテ居リマス

フノデアリマス、ソコデ蠶絲統制株式
會社ヲ廢止ヲ致シマシテ、蠶絲業會ヲ
作ルト云フコトデアリマスガ、蠶絲業
會ナルモノハ第二ノ蠶絲統制株式會社
デアツテハナラヌト考ヘルノデアリマ
ス、サウシテ蠶絲業會ヲ作りマス理由
ハ、兎ニ角輸出生絲ヲ一掃メニシテ出
スト云フノ自由ニ開放シテ置イタノ
デハ蠶マラス、國內ノ消費サレシマ
ツテ、輸出ノ方ニ差向ケルコトガ出來
ナイト云フコトニナル處ガアルカラ、
之ヲ統制シナケレバナラス、斯ウ云フ
コトダト思フノデアリマス、サウ致シ
マスレバ、此ノ蠶絲業會ト云フノハ、
蠶絲業生産品ヲ統制セズニ、輸出ニ關
スル生絲ヲ取扱フ會社ニ致シテ、
國內ニ使フ生絲或ハ副産物、玉繭、附
繭等ニ對シテハ、全部蠶絲業會ノ自由ニ
シ、或ハ蠶絲業會ノ自由ニ之ヲ賣ルト云
フコトニ致シマシタナラバ、生産上ニ
非常ニ影響致シマセウシ、又生産者ノ
氣持モ變フコト思フコトハ、他ノ農産
物ハ何レモ是マデハ公定價格ヲ賣ツテ
居ツタノデアリマスガ、公定價格以
外ノ物モ相當アツタ、或ハ現在ノ蔬菜
ノ如キ、非常ニ高價ノ物モアリマスノ
ニ、サウ云フ方面ニ對シテ蠶絲業ハ全ク
何モノモナイ、悉ク上繭ハ上繭トシ、附
繭ハ附繭トシ、玉繭ハ玉繭トシテ、殆ド
今日マデハ統制致シテ之ヲ買上ゲテ居
ツタノデアリマスルカラ、ソコニ蠶絲
業會ノ育意欲ガ非常ニ失ハレタト云フ
コトハ、爭アベカラザル事實デアリマ
スカラ、此ノ際輸出生絲ヲ取廻ルガ
爲ニ、統制ノ必要ガアルト致シマシタ
ナラバ、今回ノ蠶絲業會ト云フモノ
ハ、輸出生絲ノミヲ取扱フ團體トスル
コトニ致シタナラバ、生産ノ上ニ及ボ

ス影響ハ非常ニ多カラウト思フノデア
リマス、ソレカラ生絲ノ價格デアリマ
スガ、此ノ價格ハ今日ノ如キ生絲ノ價
格デアツタノデハ、高イ安イト云フ間
題ニアラズシテ、價格ト云フモノニ對
シテノ農家ノ一種ノ趣味ト云ヒマス
カ、面白味ガナクツテシマツタト云
フヤウナコトガ、蠶絲業會今日ニ至
シテ最大原因デアラウト思フノデア
リマス、デアリマスカラ輸出ニ對シテ
ハ統制ノ必要ガアルガ、其ノ他ノモノ
ニ對シテハ此ノ際開放ヲ致スト云フヤ
ウナコトガ行ハレマシタナラバ、此ノ
生産ノ上ニ於テモ非常ニ獎勵ニナラウ
ト思ヒマスルシ、殊ニ農家ガ今日非常
ニ困ツテ居ル衣料等ニ付テモ、附繭其
ノ他ノモノノ自家消費ヲ自由ナラシ
メ、或ハ其ノ時ノ價格ニ依ツテ販賣ノ
方モ自由ナラシメルト云フヤウナコト
ニナリマシタナラバ、是ハ生産ノ上ニ
大影響ヲ及ボスコトニナラウト思ヒマ
スルガ、其ノ邊ニ對スル御當局ノ御意
見ヲ御伺ヒ致シタイノデアリマス

○山添政府委員 統制ヲ致シマスノハ
輸出生絲ヲ中心ニシテ、輸出生絲ノ確
保ニ關係アル必要ナル範圍ニ止メタラ
ドウカ、斯ウ云フ御意見デゴザイマ
ス、大體サウ云フ風ニ考ヘテ居リマシ
テ、不必要ナ統制ヲヤツテ行ク積リデ
ハゴザイマセヌ、農家ノ自家用消費ニ
付キマシテモ、之ヲ相當程度ニ認メテ
行クコトガ蠶絲ノ繼續スル所以デア
ルト考ヘマシテ、本年度カラ實ハ相當程
度自家用ノ範圍ヲ引上ゲテ居リマシ
テ、一戸ニ付テ四貫目マデ之ヲ認メテ
居ルヤウナ事情デゴザイマス、尙ホ副
蠶絲ニ付テ自由ニシタラドウカト云フ
御話デゴザイマスガ、一般ノ蠶絲資源
ガ非常ニ少イ關係上、蠶絲關係ノ統制

ハ依然續ケラレルモノデアリマス、隨
テ其ノ全體ノ蠶絲統制ガ續ク限リニ於
テハ、蠶絲ノ方モヤハリ歩調ヲ合セ
タ統制ガ必要ダト思フテ居リマス、是
ハ一般ノ蠶絲統制ガ續ク間ハサウ云フ
風ニ致シテ行ク外方法ハアルマイト考
ヘテ居リマス、價格等ニ付キマシテハ、
昨年御價ノ相當引上ゲマシタガ、現在
ノ主要食糧價格トハ明カニ不均衡ヲ來
シテ居ルト思ヒマスノデ、明年度ノ繭
價ニ付キマシテハ、適正ナ價格ニ之ヲ
引上ゲタイト考ヘテ居リマス

○山田(八)委員 尙ホ此ノ際價格問題
ニ付テ御意見ヲ御聽キ致シタイノデア
リマスルガ、此ノ價格ヲ一月中ニ決定
致サウト云フコトヲ先刻五十嵐君ノ質
問ニ對シテ御答辯ガアツタノデアリマ
ス、私ノ考ヘト致シマスレバ、現在ニ
於ケル物價ノ動キト云フモノハ、非常
ニ早イノデアリマスルカラ、一月ニ決
定ヲ致シテ七月ニ受渡シスル前ノ價格
ヲ決メルト云フコトハ、極メテ至難ダ
ト思ヒマス、僅カ其ノ間六箇月デア
リマスガ、此ノ六箇月ガ常ノ時代ノ何
箇年ニ相當スルコトハ、過去ノ經濟事
情ガ明カニ示シテ居ルノデアリマスカ
ラ、ドウシテモ繭ノ値段ヲ決定スルニ
ハ、少クモ早場ノ繭ガ五月下旬ニナル
ト出ル所モアリマスカラ、先ヅ四月或
ハ五月ニ近ク其ノ決定ヲ致スナラバ、
其ノ時ノ經濟事情ト繭ノ價格ガ稍々近
ヅクノデハナイカト考ヘルノデアリマ
ス、又今回ノ政府ノ施設ノ要綱ノ中ニ
ハ、繭ノ價格ハ生産原價ニ依ツテ決定
スルト云フヤウナコトニナツテ居ルヤ
ウデアリマスガ、此ノ生産原價ト云フ
モノノ計算ガ、今日ノ所デハ非常ニム
ヅカシイト思フノデアリマス、色々ナ
机上デ作ル所ノ計畫ト、實際ニ民間デ

行ハレル價格トノ間ニハ、餘リニモ差
ガ多過ギル今日デアリマスカラ、現在
勢銀ニ致シマシテモ、其ノ他ノ物價ニ
致シマシテモ、其ノ間ニ非常ナル差ガ
アル、斯ウ云フ時代ニ、ヤハリ生産原
價ト稱シテ大體決定サレケアル所ノ價
格ヲ標準トシテ見ルト云フコトニナリ
マスレバ、繭ノ値段ハ到底ソレニ副フ
コトハ出來ナイ、デアリマスカラ、是
ハ全經濟事情ヲ斟酌致シマシテ、生産
原價以外ニ經濟事情ヲ取入レテ、適正
ナル價格ヲ決定スル必要ガアル、而モ
其ノ價格ハ繭ノ生産時期ニ接近スレバ
スル程、其ノ時ノ實情ニ近イ價格ヲ決
定スルコトガ出來ヤウカト考ヘラレル
ノデアリマスガ、其ノ點ニ付テ御所
見ヲ伺ヒマス

○山添政府委員 繭價ヲ決定致シマス
ルノニ、生産費ガ根據ニナルコトハ當然
デアリマスガ、其ノ他ニ一般ノ經濟事
情、物價ノ趨勢等ヲ勘案シテ決定ヲ致
スノデアリマス、御指摘ニナリマシタ
ヤウニ、現在ノ生産費ナルモノハ頗ル
擱ニタイ、サウ云フコトハ事實デゴ
ザイマス、相當推定モ入リマスシ、又
他ノモノトノ均衡ヲモ説ニ合スト云フ
問題モアリ、又物價ハドウセ上ル趨
勢ニゴザイマスカラ、サウ云フコトモ
考慮ニ入レテ決定ヲ致シタイト云フ考
ヘデアリマシテ、山田委員ノ御述ベニ
ナリマシタ所ト、大體同様ニ考ヘテ居
リマス、唯接近シテ五月頃ニ決メタラ
ドウカト云フ點ニ付キマシテハ、成ル
ベク蠶絲ノ計畫等ニ著手ヲ致シマスニ
月頃ニ、サウ云フコトニ著手ヲ致スト
思ヒマスガ、早イ目ニ決メテ、サウシテ
是ダケノ値段ヲ明示シテ蠶絲ニ携ハツ
テ賣ヒタイト云フ、斯ウ云フ意味合カ
ラ、前頃ニ決メタ方ガ宜シイト云フヤ

ウニ、此ノ點ハ考ヘテ居リマス

モノガ統制サレタガ爲ニ、共同飼育組

ヲ受取ルト云フヤウナコトガ出來得ル

ナイヤウデアリマス、隨テ蠶絲當局ト

ハ御指摘ニナリマシタヤウニ、金ノ拂

○山田(六)委員 其ノ點ガ意見ガ違フ

合ト云フヤウナ所デ作ツテ居ルカラ、

ヤ否ヤ、サウ云フコトガ出來得ルトス

致シマシテハ、生絲ヲ出シテ食糧ヲ入

ヒガ遅クナル、是ガ蠶蠶家ニ取ツテ甚

ノデアリマスアレドモ、政府ガ決定サ

責任者ガナイ、何者ガ作ツタト云フコ

レバ、蠶蠶家モ滿ノ受渡シテ済マシテ、

ヲ獲ルヨリモ、生絲ニシテ出シタ方ガ

マスアレドモ、出來ルガケサウ云フコ

デ蠶蠶ニ飛付クト云フヤウナ値段ヲ決

居ツテ、ドウモ不安デ構ラヌ、デア

斯ウ云フヤウナ議論ガ非常ニ多カ

リマスカラ、サウ云フ爲ニ必要ナル食

シテモ指導ハ致シマスガ、同時ニ業者

メ得ルナラバ宜シイガ、如何ニ經營事

ツテ立派ナ種ヲ供給スルト云フヤウ

ハ叫バレルノデアリマスアレドモ、

出來ルガケサウ云フコトガ實現シマス

ヤウニ、私トシテハ努力ヲシタイト考

情ヲ斟酌スルト云ヒマシテモ、蠶蠶家

ナ、昔ノ種屋ノヤウナモノニ復活シテ

ハハ獨リサウ云フ會合ノ時ノミナラ

ヘテ居リマス

ニナツテ行クベキデアリ、又ナツテ行

ノ満足スルヤウナ値段ヲ政府ガ取極メ

實ツタナラバ、非常ニ安心シテ蠶ガ飼

ハ叫バレルノデアリマスアレドモ、

次ニ品種ニ付キマシテ強健ニシテ且

ス、唯切歩檢定トカサウ云フコトハ宜

ルト云フコトハ、不可能デラウト思フ

ヘルデヤナイカト云フヤウナ議論ガ多

コトニアラズシテ、檢定ニ依ツテ取引

日標トシテ、今ノヤウナ品種ニ變ヘテ

キ、益々蠶ノ品質モ良クスルト云フ爲

シノデアリマス、成ベク遅イ方ガ宜

カツタノデアリマス、ソレカラ蠶ノ檢

ハ今回ノ規則ノ第十五條ノ規定ニアル如

テ、戰時中ハ何デモ質ヨリ量ト云フコ

ト云フ狀況デアリマスノデ、サウ云

ルノデアリマス、尙ホ先達テ東北六縣

中ニモ、而モ五千圓マデノ罰金ヲ取ル

直チニ金ヲ決済シテ欲シイト云フヤ

今マデハ充ガハレテ居ルト云フ恰好

アルト考ヘテ居リマス、五千圓ト云フ

日ニハ福島ニ於テ蠶蠶業者ノ大會ト云

依ルニラズンバ取引ヲシテハナラヌ

ウナ業者ニ對シテハ、其ノ意ニ任シテ

ニナルノデアリマス、其ノ點ハ希望通

リナル譯デアリマス

激減、今日尙ホ引拔イテ居ルヤウナ狀

云フヤウニ、禁止令ガアルヤウデア

スルノ方針トシテ、今ノ如ク事情ノ下

テ誰ガ作ツタカ分ラヌヤウナモノヲ、

フ制度ガ良イトハ思ハナイ、ヤハリ檢

蠶家ノ忌憚ナキ希望ヲ聽イタノデアリ

リマスガ、是ナドモ今日マデノ檢定ノ

直チニ金ヲ決済シテ欲シイト云フヤ

今マデハ充ガハレテ居ルト云フ恰好

アルト考ヘテ居リマス、五千圓ト云フ

マス、其ノ時分ニ最モ多ク議論サレタ

成績ト云フモノヲドレダケ信用シテ宜

ヤル、所謂希望檢定ト云フカ、隨意檢

定ト云フヤウナコトニ致シマシタナラ

バ、蠶蠶家ガ非常ニ満足致スダラウト

サンカラモ御話ガアツタラウト思フノ

或ハ之ヲ二分三分シテ、色々ナ方法

定ト云フヤウナコトニ致シマシタナラ

バ、蠶蠶家ガ非常ニ満足致スダラウト

思ヒマスガ、此ノ點ニ對シテモ御意

デアリマスアレドモ、今日ノ所食糧ガ

分ニ、却テ供給ヲシタ蠶ガドウモ思ハ

見ヲ御覽キ致シタイト思ヒマス、其ノ

他色々ノ要求ガアリマシタガ、漸次ソ

レハ御話申上ゲルコトト致シマシテ今

斯ウ窮迫シテ參リマスノデハ、蠶蠶ハ到

底出來ナイ、人ヲ頼ムニモ食糧ノ與ヘ

ズシテ勞銀ダケ拂ツト云フノデハ、來

テ餓クト云フ人ハ居ナイ、而モソレニ

與ヘル食糧ガナイト云フヤウナコトヲ

盛ニ言ツテ居ラレマス、ソレカラ蠶

ノ品種ノ改良ヲシナケレバ困ル、現在

ノ所デハ或ル時代ニハ絲量本位ノ蠶絲

ガ非常ニ多ク出マシテ、其ノ蠶絲ノ性

質ガ非常ニ弱イ、其ノ弱イ蠶ヲヤツテ

始終蠶蠶ヲスル、ダカラ非常ニ危險性

ヲ伴フカラ、其ノ危險性ヲ多ク價格ノ

中ニ見積ツテ貰ハナケレバ困ル、デア

リマスカラ今後ハドウシテモ強健性ノ

モノヲ技術ガ立派デアツタナラバ、絲

量ヲ第二ニシテ強健性ノモノヲ選ンデ

欲シイト云フコト、而モ其ノ種ヲ作ル

ナコトニシテ、蠶ヲ渡シタラ直チニ金

ガ、地方ニ依ツテ必ズシモ徹底シテ居

考ヘテ居ラナイノデアリマス、唯缺點

第六類第三號 農桑圖法中改正法律案外一件委員會議錄 第四四 昭和二十年十二月十二日

四五

四五

四五

四五

質トノ關係モアレバ、煮繭手が若シ誤
ツテ煮繭が早過ギタ或ハ煮過ギタト云
フノデモ、絲量ニ大影響ヲ及ボシマ
又繭絲ヲスル工女ニ於テモ、年中中間
ノ繭絲ヲ取ル工女モアリ、或ハ糸目ヲ
多ク取ル工女モアリ、絲目ヲ切ラス工
女モアリマスカラ、工女ニ依リマシテ
非常ニ差額ガアルノデアリマス、是ハ
ドウシテモ上ト下トデハ一匁半位ノ差
額ガ出ルノデアリマスカラ、非常ニ其
ノ點モ違フノデアリマス、サウ云フ作
業ノ中ノ色々細カナ注意ノ爲ニ絲量
ニ、甚シキニ至ツテハ一匁モ一割五分
モ違ヒガ出ルト云フコトハ、製絲ヲ少
シオヤリニナツテ見タ方ハ、ドナタモ
能ク分ツテ居ルノデアリマスカラ、サ
ウ云フヤウナ難カシイ仕事デアリマシ
テ、申テ檢定ニハ嚴正ナ絲目ニ出スト
云フコトハ、斷定ノ出來ナイコトデア
リマス、然ラバ他ニ良イ方法ガアルカ
ト云ヘバ、私共ハヤハリ檢定シテ見
ルヨリ外ニ方法ナシト考ヘテ居ルノデ
アリマス、殊ニ檢定ニ使ツテ居ル工女
ノ如キ者ハ、優良工女ヲ使ツテ居ラ
ナイ、優良工女ハ他ノ製絲工場ニ行ツ
タ中以下ノ工女ガ集マツテ居ルノガ實
デアリマス、其ノ人々ノ手ニ依ツテ檢
定サレテ、此ノ何億ト云フ繭ノ價格ガ
決定スルノデアリマスカラ、中々危險
ナル仕事デアリマス、アリマスカラ、檢
定ノ方ガ稍々正確デアリマスカラ、其
ノ方ニ依リコトハ結構デアリマスカ
檢定ニ依ラズ、寧ロ切歩檢定若クハ肉
眼檢定ニ依ツテ買フコトニ決メ、サウ
シテ代金ノ決済ガ出來レバ、養蠶農家
ガ非常ニ満足スルデアラウト思フノデ
アリマス、此ノ現ニ行ハレテ居ル所ノ
切歩檢定ノヤウナ檢定デハ駄目デス、

ヤハリ操絲檢定ト同ジデ相當ノ手数ヲ
掛ケテ切歩檢定ヲスルコトニナリマス
カラ、相當ノ時間ヲ要スルト云フコト
ハ同ジデアリマス、是ハ極メテ簡單ナ
操作デ出來ル、切歩檢定若シハ肉眼
檢定ガ此ノ中ニ加ハレバ、或ハ現在
ツテ居ル所ノ檢定ニ依ツテ取引ヲ致
ス、或ハ今ノヤウハ簡易取引ヲ以テ其
ノ時々ノ取引ヲ決済シテシマフコト云
フ取引ノ雙方ヨリ得ル希望檢定ト云フモ
ニシタナラバ、非常ニ差額ガ満足
スル方面ノ人ガ多クアラウト思フノデ
アリマス、デアリマスカラ、是ハ双方ノ
方法ニ依ツテ繭ノ價格ヲ決定スルト云
フヤウナコトニスルコトガ出來タナラ
バ、生産ノ上ニ及ボス影響ハ極メテ大
キイト思ヒマスカラ、其ノ點ニ付テ
更ニ御再考ヲ御願ヒ致シタイト思フ
デアリマス

○山添政府委員 當分ノ間生絲繭モ
國家貿易ニナツテ居リマス間ハ公定價
格デアル、サウシマス、是ハ目下品
質ニ依ツテキチノ決メテ行クト云
フ譯デアツテ、ドウシテモ其ノ意味カ
ラモ品質ノ改良ノミナラズ、檢定ガヤ
ハリ必要デアルト考ヘテ居ルノデアリ
マス、併シ金拂ヒヲ早クスルト云フコ
トハ、勿論必要ナコトデアリ、先程申
シマシタヤウニ、今後ハ取引ノ形態ガ
變ツテ來ル譯デアリマスカラ、自ラサ
ウ云フ風ニ進メテ行カナケレバナラ
ズモノト考ヘテ居ル譯デアリマス

○山田(八)委員 農産物ノ價格政策ト
云フコトニ付テ、餘程新シク考ヘテ戴
カナケレバナラヌト思フコトハ、價格
ヲ公定シテ、其ノ價格デ取引セシメ
ト云フコトガ、満足ニ出來得レバソレ
デ宜シイノデアリマスカラ、今日米ノ價

格等ニ於テ、
民間ノ取引ノ價格ト云フヤウナモノ
ヲ見ルノデアリマス、現在ノ民間ノ取
引ハ如何ニ安クテモ四半價ガ四百圓、
五百圓、高イモノハ三千圓四千圓ト云
フヤウナ取引ヲシテ居ルコトハ、是ハ
公定ノ價格デアリマス、ソレデ繭ニ對
シマシタヤウハ、實ニ於テ繭ノ生絲、
或ハ繭繭、サウ云フ繭繭生絲ノ價格
ガ、非常ニ差額ガ出ルマシタナラバ、
云フモノニ差額ガ出來マシタナラバ、
ハ繭繭ナリト稱シ、或ハ本繭ナリト稱
シテ、殆ど生産ノ何割カハ繭繭ニ行ツ
テシマツタト云フヤウナ事實ヲ生ジ
テ、目的ノ數量ヲ集メルコトガ出來
ナイト云フヤウナ結果ニナリハシナイカ
ト云フコトハ非常ニ心配スルノデアリ
マス、私共ハ繭ノ價格ニ對シマシテモ、
或ハ檢定ノ方法ニ對シマシテモ、出來
得ルだけ營業者ノ生産意欲ヲ阻害シ
イ範圍ニ於テ決メナケレバ、コナラ
計費ガ實際ニ副ハナイ、是ハ過去ノ戰
時中ノ總テノ生産ニ對シテ苦イ經驗ヲ
嘗メテ居ルノデアリマスカラ、ソレ
ト同一ナル結果ヲ來スノデハナイカ
ト云フコトハ、非常ニ心配スルノデアリ
マス、其ノ點ニ對シマシテ、尙ホ御再
考ヲ御願ヒ致シタイト思フノデアリ
マス

サレテ居ナイノデアリマス、或ハ特殊
ノ一部地方デハ、サウ云フコトガ行ハ
レテ居ルカモ知レマセスケレドモ、殆
ド行ハレテ居ナイ、デアリマスカラ、
今日桑園ノ廢廢ガ非常ニ甚ダシイ、ソ
レニハ肥料ノ缺乏ガ大ナル原因ヲ成シ
テ居リマスカラ、是等ニ對シテハ、
是非何トカ實現シテ欲シイト思フノデ
アリマスカラ、是等ニ對シマシテ正確
ニ繭ダケデモ養蠶農家ニ還元シテヤル
云フヤウナ方法ヲ實行スル御意思ガア
リマセメデセウカ、ソレヲ伺ヒタイ

○山添政府委員 繭ノ問題ヲ御話ニナ
リマシタガ、繭ニ付キマシテハ、先月
來統制方法ヲ變ヘマシテ、今マデノヤ
ウナキツイ意味ノ統制ハ廢止シマシ
テ、地方官官必要ト認メル時ニ統制
ヲスルト云フ趣旨ニ致シタノデアリ
マス、御話ノヤウニ、或ル程度之ヲ養蠶
家ニ還元致シタイト思ツテ居リマス、
唯一方大豆ガ種レマセヌカラ、此ノ蛋
白質トシテ繭ノ相當多クノモノヲ醬油
ノ方ニ向ケル計費ヲ致シテ居リマス、
養蠶ノ方ニモ或ル程度繭ヲ還元致シ
イ積リデアリマス

○川崎委員長 此ノ際一寸申上ゲマ
ス、商工大臣ガ此ノ委員會ノ要求ニ應
ジテ此處ニ御見エニナリマシタガ、時
間ヲ急グサウデアリマスカラ、商工大
臣ニ質問ノ川侯君ノ質疑ヲ此ノ際許可
致シマス——川侯君

○川侯委員 本委員會デ、午前中肥料
ノ問題ニ付テ論議サレマシタ、硫安ノ
生産高ニ付テ及ビ其ノ生産ニ對スル商
工當局ノ意向ヲ十分檢討スル必要ガ
アリマスカラ、商工大臣ニ以下ノ點ニ
付テ御答辯ヲ願ヒタイト思ヒマス、最
近ノ硫安ノ生産状況ヲ見マスカラ、商
工省ノ大體ノ見積リト、農林省ノ期待

トニ大キナ開キガアルヤウニ思ハレル
ノデアリマス、ソコデ此ノ隘路ヲ兩者
ノ方面ニ於テ打開シナケレバナラヌト
思ヒマス、斯カル點カヲ御尋。致
シマスガ、又硫安ノ増産ニ付キマシテ、
硫安ノ相當ノ値上リガ豫想アレノデ
アリマスカラ、此ノ値上リ等モ將來ノ農
業經營ノ上ニ於テ、非常ニ影響スル所
ガ大キイノデアリマシテ、硫安ノ値上
リ等ノ點ニ付キマシテモ、マダ御尋ネ
致サナケレバナラヌト思フノデアリ
マス

第一ニ御尋ネ致シマス、ハ、硫安ノ
來年度ノ生産高ニ付テ商工當局ト農林
當局トノ間ニ意見ノ食ヒ違ヒガアルカ
ナイカト云フ點デアリマス

○小笠原國務大臣 來年度ニ於キマシ
テハ、商工當局トシテハ六十萬「ト
ン」ヲ見込シテ居ルノデアリマス、併
シ其ノ他ニ海軍ノ燃料廠及ビ帝燃其
ノ他民間ノ人ノ關係ノ設備トカ「メタ
ノール」關係ノ設備等ノ轉換等モ考ヘ
テ居リマス、是モ早ク行ケバ若干
加ハルカモ分リマセヌガ、是等ノ轉換
ハ大體昭和二十二年、二十五萬「ト
ン」二十三年度百十五萬「トン」ト云
フコトニ豫定シテ居リマスカラ、二十二
年度ニナリマス、此ノ二十五萬「トン」
ニ、ソレカラ元ノ設備ニ依リ分カ六十
五萬「トン」ト云フコトニナツタ參リマ
ス、二十三年度ニナレバ、百十五萬「ト
ン」ニ五十萬「トン」ヲ加ヘタ百六十五
萬「トン」ト云フ計畫ニナツテ居リマ
ス、但シ川侯君御承知ノ如キ最近ノ石
炭事情デアリマスカラ、是ハ石炭ガ得ラ
レルモノトシテ、計算デアリマスカ
ラ、今ノ狀況ヲ以テスレバ少シ減産ニ
ナリハセヌカト心配シテ、目下農林當
局トモ打合セテ、場合ニ依ツナハ、ア

ノ邊ノ勞力も出シテ賣ツテ、ソレヲ石炭増産ニ使ヒタイ、斯ウ云フヤウニ考ヘテ居ル次第デゴザイマス

○川俣委員 農林省ハ來年ノ増産ノ上ニ少クとも百萬「トン」乃至百二十萬「トン」ヲ要スルヲ御考ヘニナツテ居ルヤウニ聞及シテ居リマスガ、此ノ點ニ付テ農林當局ヨリ御答辯ハアリマセヌカ

○川崎委員長 農林省ノ方ハ居ラレマセヌ

○小笠原國務大臣 一寸川俣君ニ申上ゲテ置キマスガ、或ハ石灰窒素ノ分モ含メテ、窒素系肥料トシテ農林省デハ考ヘテ居ルカトモ存ジマス、隨テ窒素系肥料ニ付テ石灰窒素モ合セマス、是ハ大體年間昭和二十一年度、約十萬「トン」二十二年度二十五萬「トン」位ナ増産ヲ考ヘテ居ル次第デアリマス、或ハ此ノ石灰窒素ノ分ガ硫安ニ換算サレテ硫安幾「トン」、ヨク農林省デハ成分デ換算シタモノガ出テ居リマスカラ、ソコニ數字ノ差ガアルノデハナイカト考ヘマス

○川俣委員 農林當局ノ方ノ御意見ハ別ノ機會ニ御尋ネスルトシテ、ソコデ今大臣ガ大體御述ベニナリマシタヤウニ、六十九萬「トン」ヲ目標ニシテ居ラレヤウデアリマスガ、今大臣ノ仰セノヤウニ、最近ハ石炭事情ガ非常ニ惡化シテ居リマス、石炭事情ニ付テハ後程申上ゲマスガ、私最近ノ硫安工場ノ狀態ヲ調べ見マスノニ、大體六十萬「トン」乃至七十萬「トン」ト致シマスレバ、電解工場ニ於ケル硫安ガ三十五萬「トン」乃至十五萬「トン」ト見テ居ルノデアリマス、アトハ石炭ヲ直接利用致シマシタ硫安工場ト見ナケレバナリマセヌ、而モ電解工場ニ於ケル硫安ニ

致シマシテモ、「トン」當リ四千五百「キログラム」要スル内ノ千五百「キログラム」ハ、ヤハリ石炭ニ依存致シテ居ルモノガ相當多イト見ナケレバナリマセヌ、是ハ「ボーラー」炭ヲ要シマス、「ボーラー」炭ハ原炭ヲ要シマセヌケレドモ、「ボーラー」炭トシテ相當ノ量ヲ要求シテ居ルノデアリマス、一方今最も活動的ニナツテ居リマス石炭ヲ要スル硫安工場ハ、是ハ目下ノ所一番働キ宜イ所ノ硫安工場デアリマスガ、此ノ硫安工場ノ「トン」當リノ原料炭ハ「トン」乃至「トン」六分掛ルノデハナイカト思ハレル、サウシテ又「ボーラー」炭ハ二「トン」ヲ要スルドラウ、或ハ發電用ニ更ニ「トン」ヲ要スルドラウ、合計發電ハ「ボーラー」炭トシマシテ四「トン」ハ要スルドラウト想像サレマス、是ハ大體ノ所デアリマスガ、現ニ使用シテ居リマス原料炭ニ致シマシテモ、「トン」乃至「トン」七分位ハ要スルヤウデアリマス、勿論原料炭デモ、以前ノヤウナ優秀ナ原料炭デアリマスレバ、一「トン」四分程度デ間ニ合フノデアリマスガ、最近ノ原料炭デハ、ドウシテモ「トン」七分ヲ要スルノデハナイカト思ハレルノデアリマス、更ニ「コークス」硫安鑛石等ヲ考ヘテ參リマスト、石灰ノ相當ノ値上リヲシ「コークス」モ相當ノ値上リヲ見込シテ居リマスシ又「コークス」ノ値上リヲ見込シテ參リマスト、相當ナ硫安ノ購買ヲ見ナケレバ、硫安ノ生産ハ不可能デハナイカト云フノガ、大體硫安生産業者ノ意向ノヤウデアリマス、此ノ結果、相當ノ値上リヲ商工省デハ期待致シテ、其ノ値上リヲ見込シテ六十萬「トン」ト云フモノヲ見込シテ居ラレマスカ、或ハ現在ノ價格デ六十九萬「トン」出ルト云フ風ニ

御考ヘニナツテ居リマスカ、價格ノ點カラダケデモ御答辯ヲ願ヒタイ

○小笠原國務大臣 川俣君モ御承知ノ如クニ、石炭消費者價格二十圓十三錢デアツタモノガ、今回八十五圓ニ大幅引上ニナリマシタ、隨ヒマシテ是等ノ値上リハ、當然硫安ノ生産費ニ多大ノ影響ヲ及ボス譯合デゴザイマシテ、此ノ増産ニ付テモ、ソレ等ヲ見込シテ居リマス、尙ホ獨リ是ハ石灰炭バカリデナク、電力ニ付テモ大體動力モ五割引上ゲルト云フコトニシテ居リマスノデ、ソレ等ノ點モ併セテ考ヘテ居ルノデアリマシテ、川俣君ノ仰セラレタ値上リヲ考ヘテ居ルカ、織込シテアルカト云フコトニ付テハ、全ク左様ニ考ヘテ居ル次第デゴザイマスカラ、商工當局トシテハ農林省トモ能ク打合せヲシテ、價格問題等ヲ御決メテ願ヒタイ、斯様ニ考ヘテ居ル次第デゴザイマス

○川俣委員 大體硫安「トン」當リノ豫定サレテ居ル價格ハ「トン」程度デゴザイマスカ、其ノ點承リタイ

○小笠原國務大臣 一寸此處デ數字ヲハツキリ存ジマセヌシ、御答辯スル資料ヲ持セテ居リマセヌ

○川俣委員 ソレデハ「トン」程度ノ値上リヲ豫想サレテ居リマスカ、農林當局カラ御答へ願ヒマス

○川崎委員長 居リマセヌ

○川俣委員 ソレデハ續イテ商工大臣ニ御尋ネ致シマスガ、大體六十萬「トン」乃至七十萬「トン」ト申シマシテモ、硫安工場ハ今日マデ相當ニ修繕後ヲセテ參ツテ居リマスノデ、修繕ニ要スル鐵鋼材等ノ修理必需物資ガ相當窮乏トシテ居ルノデアリマスガ、之ニ對シマシテ、商工當局ハ所謂海軍關係ノ現物資材ヲ手當テ救スコトニ依ツテ、此

ノ修理ガ可能デアリ、更ニ増産ノ爲ノ修理モソレニ依ツテ可能デアルト云フ風ニ御考ヘニナツテ居ルヤウデアリマスガ、現實ニ是ガ現物化サレテ工場ニ行渡ル時期ハ相當ニ遅レルノデハナイカト云フ風ニ我々ハ見ルノデアリマス、此ノ點ニ付テ商工當局ノ御見解ヲ伺ヒタイと思ヒマス

○小笠原國務大臣 此ノ硫安設備ノ復舊及ビ轉換ニ要スル資材ニ付キマシテハ、是ハ優先的ニ之ヲ割當テ、斯ウ云フ方法ヲ執ツテ居リマシテ、先頭軍保有ノ資材ヲ申受ケマシタ内、既ニ一萬數千「トン」ヲ是等ノ方ヘ割當テテ居リマス、今後ノ分トシテハ硫安ト石灰窒素兩方合セテ二箇年間約八萬「トン」位ノ鋼材ヲ見込シテ居ルノデアリマスガ、是ハ可能デアリ、同時ニ優先的ニ差上ゲテ肥料増産ニ資シタイト、斯様ニ考ヘテ居リマス

○川俣委員 私共モ割當テラレタト云フコトハ新聞及ビ商工當局ノ度々ノ御聲明デ聞イテ居リマスガ、現物ガ工場ニ到着スルノハ何時頃ノ見込ミデアルカト云フ點ヲ御尋ネ致シマス

○小笠原國務大臣 實ハ私率直ニ申シマスガ、細カイコトハ存ジマセヌ、存ジマセヌガ、既ニ割當テシテ居ルノハ、軍ノ分ハ實物ヲ賣ツテアルノデ、實物ガ行ツテ居ルカラ、ソレハ「居」コトト考ヘテ居リマス、軍以外ノ分ハ、是ハ一應ノ計畫デ割當テテゴザイマスカラ、優先的ニ割當テルト云フコトニナルノデスガ、軍ノ保有物資ヲ賣ツタモノハ實物ヲ賣ツタノデ、モウ屈イテ居ルコトト信ジテ居リマス

○川俣委員 大臣ハ多分サウ云フ御答辯ニナルドラウ、小サイ點デ大臣ヲ責メル意思ハアリマセヌガ、現物ト云フ

コトヲ特ニ申上ゲマシタノハ、是ハ商工當局トシテ現物ガアルモノ、現物ヲ御渡シニナツタ、斯ウ云フ風ニ御考ヘニナツテ居ルケレドモ、是ハ現物デハナイ管デアリマス、現物ト机上トハ合ツテ居ナイコトデ、度々業者ガ行キマシテモ、此處ニ是ダケアルンダト云フ商工省ノ御指示ノ通りノ現物ガナイ譯デアリマス、現物ガ渡サレタト申シマスケレドモ、現物ガナイ場合ガ往々起ツテ來テ居リマス、ソコデ現狀ハ、割當テラレタノト現物ト合ハナイノデアリマス、海軍關係ニ致シマシテモ、陸軍關係ニ致シマシテモ、商工省ノ手許ニアリマスル數量ト現物トガ、非常ナ開キヲ示シテ居ルノガ現狀デアリマス、隨テ現物ヲ渡サレタト云フコトガ、今日ニ於テハ前ノヤウナ割當デハナイカラ、現物ダカラト斯ウ一應ハ御説明ニナリ得ルト思ヒマスケレドモ、其ノ割當テ現物ガ合ハナイ現狀ニ於テ、現物ハ何時渡サレタト云フ點ヲ御尋ネシテ居リマス

○小笠原國務大臣 川俣君能ク實情ヲ御存ジノヤウデアリマス、私ヨリ御存ジデアリマス、私ハ歸リマシテ能ク省內ノ關係者ニ傳ヘテ見マシテ、若シサウ云フ風ナコトガアリマスレバ善處サセ、直チニ實行ノ出來ルヤウニ取計ラヒマス

○川俣委員 大臣ノ御話、洵ニ私モ了承致シマシタ、早速御取計ヒ置キヲ願ヒマス、更ニ進テ御尋ネ致シタイノハ、今日ノヤウナ石炭事情ガ續イテ參リマスルト、石炭ノ減少致シマスル傾向ト云フモノハ、是ハ大臣モ十分御存ジノ通り、大體難題ニナル傾向ヲ持ツテ參リノデアリマス、數量ガ増シテ參リマスト、之ヲ選別致シマシテ、原

料ニテ選別致シマシテ、原

料炭及び一般炭ト云フ風ニ、規格ヲ段段ト嚴格ニ査定出來ルノデアリマスガ、減少シテ參リマスルト、規格ヲ嚴格ニスルコトニ依ツテ、更ニ減産スル虞レヲ生ジマスノデ、此ノ査定ニ於テ比較的「ルーズ」ニナリ易イハ必然ノコトデアリマス、ソコデ確定工場ニ於ケルヤウナ原料炭ト云フモノハ、是ハ今マデ「トシ」五分、或ハ「トシ」六分ト云フ大體ノ見込ミヲ以テ配給サレマシテモ、却テニナツテ參リマスレバ、御承知ノ如ク「トシ」八、或ハ「トシ」近クナル、或ハ優秀炭デアリマスレバ道ニ「トシ」四、「トシ」三ト下ルノデアリマスケレドモ、現在確定ニ割當テラレマスル狀態カラ見マシテ、原料炭ト名前付ケラレマシテモ、相當價ノ低下サレタモノガ配給サレルノデアリマス、隨テ要求量ト云フモノハ更ニ増大スル傾向ニアリマス、ソコデ何ト致シマシテモ是ハ石炭ノ異常ナル増産ガ必要ニナツテ來ルノデアリマスガ、此ノ異常ナル増産ニ付キマシテ、最も必要モノハ、勿論努力デアリマス、私ハ石炭ニ付テ餘リ此處デ議論スル積リデヤアリマセヌ、簡單ニ中上ゲマスガ、其ノ中デ最も必要トサレルノハ、恐ラタ先山デアラウ、採炭夫デアラウト云フコトハ言フマデモアリマセヌ、ソコデ採炭夫ト云フ者ハ、相當ノ勞働力ヲ要スルノデアリマスカラ、兎ニ角眼ノ前ニ於テハ、是ハドウシテモ農料カラ援助ヲ仰ガナケレバナラスト思フ、特ニ東北ノ農村ニ於キマシテハ、是カラハ愈々雪ノ爲ニ農業ト隔絶サレマシテ、比較的農閑期ト相成ルノデアリマス、ソコデ此ノ農閑期ニ於ケル農民、之ヲ勤勞致シマシテ、北海道方面

ノ増産ヲ圖ルト云フコトガ、最も手近ナ方法デナケレバナラスト、是ハ常識的ニモ考ヘラレマス、所ガ今日マデノヤウニ、微用或ハ縣ノ命令等ニ依ツテ募集シ、或ハ甘言ヲ以テ募集致シマシテモ、中々優良ナル所ノ採炭夫ハ得ラレナイノデアリマス、東北方面ニ於ケル所ノ農民ハ、曾テハ炭坑ニ一年二年、或ハ東北ノ山地地帯デアリマスカラ、坑内生活ニハ比較的慣レテ居ル人々モアリマス、採炭ニハ慣レテ居ラナクテモ、金山採掘ニハ相當ノ経験ヲ持ツテ居ル者モ少クナイノデアリマス、唯現狀ハ金山或ハ炭坑ニ於ケル狀態ガ、農民ノ生活ト非常ヲ違ヒガアル爲ニ、中其ノ方面ニ努力ガ移動出來ナイ所ニ缺點ガアリマス、ソコデ農民ニ此ノ石炭事情ヲ理解サシテ、炭坑ニ二月月カラ三月マデ勤勞スルト云フコトガ好マシイノデアリマス、此ノ好マシイ狀態ヲ如何ニシテ作り出スカト云フコトガ問題デラウト思ヒマス、ソコデ問題ニナツテ居リマスル農業團體等ノ利用致シマシテ、團體體格ガ主體ニナリ、農業團體ガ團體トシテ北海道方面ニ行ク、サウシテ努力ヲ奉仕シタ場合ニ、ソレデケノ肥料ヲ特配スルト云フヤウナコトガ考ヘラレナイカドウカ、此ノ點ニ付テ御尋ね致シマス

○小笠原國務大臣 洵ニ御尤モナ御意見デアリマスガ、唯サウ云フ農村ノ勞務者ガ農業團體等ノ斡旋ニ依リマシテ、農閑期中行ツテ働イテ貰フコトハ最も願ハシイコトデゴザイマスガ、唯働イテ出サレタ炭ノ金額ニ相當スル肥料ヲ出シ得ルカドウカ、是ハ一寸一應應々相談シテ見ナケレバナラスト存ジマス、唯其ノ内ノ何割カラ肥料トシテノ硫酸其ノ他ノ工場ニ向ケル、サウ云フコトハ私ノ方デモ考ヘテ居ルノデスガ、其ノ金額ヲト云フ御話デアリマスト、是ハ他ノ一般ノ石炭ノ配分計費ニモ關係ノアルコトデゴザイマスカラ、一寸即答ヲ致シ兼ねル次第デアリマス

○川俣委員 是ハ大臣モ大體御存ジノ通り、例ヘバ百人出タラ、其ノ百人ノ人ガ幾ツテ出タカト云フコトハ勿論計算出來マセヌ、又百人ノ人ガ皆採炭夫ニナル場合モアリ、唯夫ニナル場合合、後山ニナル場合、先山ニナル場合モアリマス、勿論先出アレバ何「トシ」掘ツタカハ、請負契約デアリマスカラ明瞭デアリマス、難夫デアリマスレバ何「トシ」掘ツタカ不明デアリマシテ、隨テ私共モ決シテ行ツタ者ガ掘ツタダケノモノト云フヤウナ數字ニ因ハレコトハ致シマセヌ、併シ百人應接致シマシタナラバ、一體ノ位ノ程度カト云フコトハ、大體常識判斷出來マス、其ノ中ノノ位カ特ニ硫酸工場ナリ石灰工場ニ廻シテ、ドノ程度ノモノヲ増産スルカト云フコト、私ハサウ云フ數量ハ論ジテ居リマセヌ、大體期待ニ反シナイヤウニヤル、金デヤルヨリモ——私ハ金デ募集シタ者ハ中々成績ガ惡シト云フ風ニ考ヘマス、隨テ物デナケレバ働カヌト云フ意味デヤアリマセヌガ、優秀ナル先山ノ送りタイト云フ所カラ、ソレニハ金デナシニ、私ハ金ハ要ラヌケレドモ行ツテ掘ツテヤラウカ、斯ウ云フ所ニ大キナ期待ヲ掛ケテ居リマスノデ、此ノ點ガ解決サレマシタナラバ、農林當局ト打合サレマスト同時ニ、自主的ナ農業團體ト折衝サレマスナラバ、東北方面ニ於キマシテ、一萬五千方二萬ノ勤勞員ハ決シテ不可能デヤナイ、私モ率先シテ後山位

ハ勤メ得ルト考ヘマス、此ノ點ニ付テモウ一度明快ナ御答辯ヲ願ヒマス

○小笠原國務大臣 特ニ北海道ノ勞務ガ非常ニ不足シテ居リマスル關係上、今東北方面カラ一萬五千乃至二萬ノ勞務者ヲ得ラレルコトハ、洵ニ結構ナコトデアリマス、隨ヒマシテ肥料ノ問題ニ付キマシテモ、是ハ十分考ヘマセウ、御期待ニ副フヤウニ致シマス、實ハ川俣君御承知デアリマセウガ、先般鶴見ノ日本鋼管ガ火ガ消ルカモ知レナイ、火ガ消エテハ困ルカラ、自分ノ方カラ二百人ノ人ヲ出サウツ言ツテ出シタ、是ハ今山ニ貯炭ニナツテ居ル分カラ出シテ居ルノデアリマスガ、ソレヲ持ツテ來レバ鐵鋼ノ火ヲ消サズニ濟ムト云フナラ、ソシテ君等カ出テ行ツテヤルト云フナラヤラセヨウト云フノデ、今發ツテ行ツテ働イテ居リマス、ソレデ今私共ノ方モ考ヘテ居リマスカラ、川俣君ノ仰セノヤウニ、農村ノ方カラ行ツテ、其ノ石炭ハ肥料ノ方ニ、硫酸ノ方ニ使ヒタイノダト云フコトニナレバ、是ハ日本ノ食糧問題ヲ解決ノ點カラ考ヘテ、硫酸ノ製造ニハ最も重カク、サウ云フコトニ取計ラフコトニ致シマス

○川俣委員 私ハモウ一ツ附加ヘテ商工大臣ニ御願ヒシテ見タイノデスガ、是ハ商工省ノ方々ニ先山ニナツテ呉レト云フコトハ、中々困難デアルト思ヒマスケレドモ、難夫等ノコトデアリマシレバ、一箇月又二箇月御勤メニナツテモ決シテ困難デハナイ、ト同時ニ、農林省ノ方々モ、是ハ一體官吏ガ地下勞働ヲ體驗シテ見ルト云フバカリデハナク、今日マデ石炭ニ勞働者ヲ移行出來ナカッタノハ、明治初年以來因人ヲ使ヒ、或ハ上野ノ山ニ居ル浮浪者ヲ集メテ來テ炭礦ヘ送り込ムト云ツタヤウナ所ニ、勞務者ノ賃リ下ゲ、炭礦カラ他ニ轉業スルコトヲ以テ足ヲ洗フ、ソレヲ以テ出世ナリトスルヤウナ、炭礦坑夫ヲ辭メルコトガ人間ダト云フ風ニ考ヘラレテ來タ所ニ、勞務者ノ給源ガ潤滑シタ原因ガアルノデアリマス、官尊民卑ノ風ハ好マシイコトデアリマス、致シマシテモ、マダ存在スルノデアリマス、隨テ役所ノ人々ガ先ツ後山位ハ勤メルト云フノデ、農工省ノ人々ガ何割カ、農林省ノ役人モ何割カガ先ニ立ッテ入ルト云フコトデアリマスレバ、一萬五千方二萬ト申上ゲタ東北ノ農民ガ、更ニ二萬五千ナリ三萬ニナリ得ルト想像スルノデアリマス、此ノ點ニ付テモ、モウ少し一段ノ御努力ヲ願ハナケレバナラスト思フノデスガ、此ノ點ニ對スル御答辯ヲ承リタイ

○小笠原國務大臣 先般モ日本鋼管ノ鐵鋼ノ者ガ向フヘ行キマシタ場合モ、又九州ノ日本製鐵ノ者ガ向フヘ參リマシタ場合モ、何レモ長距離ニ商工省ガ加ハツテ居リマス、團長ニハ優秀ナ事務官ガ自ら率先シテ之ニ參加シテ是等ヲ率イテ行ツテ居ルト云フ工合デゴザイマス、隨ヒマシテ今川俣君ガ仰セラレタ精神ハ、尙ホ廣シ移スコトニ致シタイト考ヘテ居リマス

○川俣委員 農林省モ單ニ農民ノ増産意欲ヲ獎勵スルバカリデハナク、率先シテ石炭増産ニ身ヲ以テ挺身スルコトガ必要ダト考ヘマス、ソレデドナタカ農林省ニ於ケレタモ、此ノ點ニ付テ御答辯ヲ願ヒタイ

○並川政府委員 私ハ其ノ方ノ直接ノ關係ノ者デハゴザイマセヌガ、先般來熱心ニ御話シノ點ニ付キマシテハ、私

達モ同ジヤウナ考ヘテ持ツテ居リマ
ス、出來ルダケ御協力スルヤウニ致シ
タイト考ヘマス

○北(勝)委員 只今石炭採掘ニ農夫ヲ
使ツテ肥料ノ増産ヲ圖ル、斯ウ云フヤ
ウナ御説デアリマスガ、實ハ昨年ソレ
ヲヤラレタ、所ガ私ハ北海道デスガ、
北海道ノ農家ハ冬暇ダラウカシト云フ
ノデヤラレタノデスガ、實ニ迷惑シ
タ、是ガ爲ニ増産ニナルモノガ増産ニ
ナラナカッタ、是ハ餘リ氣ヲ付ケテ實
ハナケレバナラス、本當ニ暇ノアル人
ナラ宜イガ、如何ニ多デモ、農家ト云
フモノハソレ、一年ノ年中行事ヲ決
メテ仕事ヲシテ居ル、俄モ編メナカッ
タ、何モ出來ルカシタト云フヤウナコ
トニナツテ來マシテ、殊ニ家畜ヲ飼フ
モノナドハ大迷惑デシタ、サウ云フコ
トハ一ツ思ヒヲ致シテ實ハヌト、今ノ
御話デハ大變ニ都合ガ好サウダケレ
ドモ、實ニ増産ニ非常ニ困リ問題デア
リマス、私ハ一方ニ都市ニ働カザル失
業者ガ山居ル、ソレヲ活用スルコト
ヲセズニ、一方ニ生懸命働イテ増産ヲ
ヤツテ居ルモノヲ持ツテ行クト云フコ
トヲ當リ前ノコトニ考ヘラレタヲ飛
デモノイコトダ、農村ノ實情ニ合ハナ
イト云フコトヲ申上ゲテ御考慮ヲ願
テ置キマス

○小笠原國務大臣 北君ノ仰セラレ
ルハ御尤モ思ハマス、唯前年ニ
於キマシツハ御承知ノ如キ御用テ行キ
マシタカラ、サウ云フコトガアツタカ
モ知レマセヌ、今川侯君ガ仰セラレタ
ノハ、農産團體等ニ於テ自發的ニ手ノ
空イテ居ル者ガ行クト仰セラレタカ
ラ、全面的ニ私ハ賛成シタノデアツ
テ、今日私共ハ御用等ニ依ツテ農村ノ
方カラ人ヲ探ラウトハ考ヘテ居リマセ

ス、現ニ農村ハ北君仰セラレタ通り、
昔ノ農村ハ或ハ冬暇ダツタカモ知レ
ヌ、併シ今日ノ農村ハ一年中忙シイト
云フコトハ、私モ百姓ノ子デアリマス
カラ、能ク存ジテ居リマス、私ノ川侯
君ニ賛成シマシタ意味ハ、手ノ空イテ
居ル人ガ冬ノ間進んで行ツテ實ヲト
フコトデアルカラ、是程望ミシイコト
ハナイト云フコトデアリマスカラ、能
ク其ノ點ハ御諒解ヲ願ヒタイ

○川侯委員 今ノ點デ私モ一言申上
ゲナケレバナラス、私モ御用デアリイ
カ、唯人間ガ行ツタダケデハ石炭ノ成
績ガ暴ラヌト云フコトハ十分考ヘテ申
上ゲタ、尙ホ復員等ニ於キマシテ農村
ノ努力ガ相當餘裕ト云フ程デハナ
イニ致シマシテモ、可ナリ緩和サレテ
來テ居ル、其ノ點ニ付十分私共ハ確
信ヲ持ツテ居リマシタノデ、數字ヲ舉
ゲテ一萬五千ナリ二萬ト申上ゲマシ
タガ、私ハ北君ヨリ東北ノコトニ付テハ
百姓ノコトニ付テモツト深ク接近シテ
居ル積リデアリマス、ソレハ議論ニナ
リマスカラ申上ゲマセヌ

モウ一點御尋ね致シタイノハ、政府
ハ盛ニ硫安ノ増産ヲ一方考ヘテ居リ
ナガラ、聯合軍ノ指令ニ基クテ稱シマ
シテ、硫安設備ヲ硫安工場カラ撈取
ルヤウナ方法ニモ見エル譯デアリマ
ス、是ハ現情ニ於キマシテハ一貫作
業ヲシテ居ルコトニ依ツテ漸ク硫安ノ製
造ガ成立ツテ居ルノデアリマスカラ、
是カラ硫安工場ヲ撈取リマス、或
ハ減産ヲ命ジマス、硫安ニ直接ノ影
響スル點ガ多大デアラウト思フノデス
ガ、此ノ點ニ對スル御見解ヲ承リタイ
○小笠原國務大臣 「ボーレー」大使ガ
發表サレマシタ賠償ニ關スル中間ノ御

意見デアリマス、アレニ付キマシテ
ハ、實ハ私共モアノ細カイ具體的內容
ハドウナツテ居ルカト云フコトデ色々
向フ方ニヨチナリ事情ヲ詳シク話
シタイト考ヘテ居リ、又諒解ヲ求メナ
ケレバイカヌト考ヘテ居ルノデアリマ
ス、唯硫安設備ヲ其ノ儘スツト持ツテ
行カレルト云フコトニ付キマシテハ、
向フモノ日本ノ最低生活ト云フモノハ保
障スルコト云フコトヲ言ツテ居ラレ、其
ノ最低生活ノ保障ニハ御承知ノヤウナ
日本ノ事情デアリマシテ、土地ハ狭
ナツタ、人ハ殖エタ、又今後モ一層復
員或ハ在外同胞ノ引揚ゲテ殖エテ來
ル、而モ食糧ハ斯ウ云フ事情ノ下ニア
ル、ドウシテモ食糧ニ付テハ増産ヲヤ
ラナケレバナラス、又不足食糧其ノ他
ノモノヲ入レル爲ニモ見返リ物資等ノ
製造ヲシナケレバナリマセヌ、サウ云
フヤウナ各種ノ問題ガアリマスノデ、
能ク先方ノ諒解ヲ得ルヤウ目下各種ノ
資料ニ付テ證明致シテ居リマスガ、私
共ハ向フモノ能ク分ツテ思レルコト思
ヒマス、但シ此ノ問題ハ今、相當「デ
リケート」ナ問題デアリマスカラ、今
日ハソレ以上觸レサセナイデ戴キタイ
ト思ツテ居リマス、何レニシマシテ
モ、日本人ガ豫期セヌ賤シイ賠償ガ參
ツテ居ル譯デ、日本産業ニ與フル打撃
ト云フモノハ少クナイ、隨テ是等ニ付
テ出來ルダケ日本國民生活ノ爲ニ打撃
ヲ少クシテ實ヲヤウニ、全力ヲ盡シテ
居ルコトダケ申上ゲテ御諒解ヲ仰ギ
タイト存ジマス

○川侯委員 私モ色々大臣ノ苦衷ヲ察
シマスノデ是レ以上ハ控ヘマスガ、大
體新聞ヲ通ジテ商工當局ノ意向ヲ見
テ居リマス、一率ニ三割ノ減ズルヤウ
ニモ見受ケルノデアリマス、ソレハ總

體トシテ三割カ或ハ二割五分カ、私ハ
「パーセンテージ」ハ存ジマセヌガ、例
ヘ六日本ノ生産現狀カラ二割五分減
得ルト致シマシテモ、硫安工場ト密接
ナ所カラ一様ニ減ズルコトハ影響スル
所ガ大キイノデヤナイカ、サウ云フコ
トヲ大體申上ゲテ置キマス
(川)崎委員長退席 北委員長代理著
席
私モ是レ以上ハ餘リ申上ゲマセヌ、
諒承致シマスガ、特ニ硫安ニ付テハ深
イ關心ヲ持ツテ居ラレルト思ヒマス
カラ、一貫作業ヲナスニハ硫安ノ現狀ノ
生産維持ハ困難デアルト云フ點ヲ申上
ゲマシテ、私ノ商工大臣ニ對スル質問
ハ終リタイト思ヒマス
○北委員長代理 宇田君
○宇田委員 私ハ商工大臣ニ電力問題
ニ付テ御尋ねシタイノデアリマス、治
水等ニ伴フ諸施設ノ中ニ、發電計畫ヲ
織込ムベキモノト考ヘテ居リマスガ、
其ノ點ニ關シテ大臣ノ御見解ヲ伺ヒ
タイト思ヒマス
○小笠原國務大臣 一寸御尋ねノ意味
ガハツキリ致シマセヌデシタガ、治水、
利水等ノ問題ト共ニ發電計畫ヲ決メル
ベキモノデアルト思フガドウカト云フ
御趣意デアリマス

○小笠原國務大臣 左様ナラバ私共同
様ニ考ヘテ居リマス、昨今御承知ノ如
ク「ダム」ノ建設ト云フコトガ力強く唱
ヘラレテ居ル、又私共實行ニ移サ
ナケレバナラスト考ヘテ居リマス、併
シ此ノ「ダム」ノ建設ニハ治山、治水ノ
問題、利水ノ問題、就中農業用水トシ
テ使ヒ得ルコト云フヤウナコト十分ニ
考ヘテヤラナケレバナラス、斯様ニ考
ヘテ居リマスノデ、マダドウ云フ組織

デ參ルカ分リマセヌガ、中央ニ一ツノ
「ダム」臨時建設本部ト云フヤウナモノ
ヲ作リマシテ、ソコデ例ヘバ利水ノ關
係ニ付テハ農林省、或ハ治山、治水ノ
關係ニ付テハ内務省、或ハ財政的ノ見
地モアリマセヌカラ大藏省、又技術的
ノ點ハ商工省ニ電力廳ガアリマスカラ其
ノ者ガ加ハル、或ハ土木ノ關係、或ハ
輸送ノ關係等運輸省ノ者モ入ルト云
フヤウナ工合ニ、各方面ノ人ヲ網羅シマ
シテ、「ダム」ノ建設等ニ付テ十分ナ
コトヲヤリタイ、特ニ先刻一寸問題ニ
ナリマシタヤウニ、石炭ノ非常ニ不足
スル場合デアリ、又今後石炭ノ掘盡ス
ト云フノニハ相當年月ガ掛ルカモ知レ
マセヌガ、何レニシテモ日本ノ産業ガ
段々復興シテ參リマスレバ、其ノ多ク
ヲヤハリ電力ニ依ル方ガ日本ノ實情ニ
合フヤウニ思ヒマスノデ、其ノヤウニ
今根本的ノ問題ヲ決メタイ、コンナ風
ニ考ヘテ居ル次第デアリマス
○宇田委員 發電所ノ開發等ニ付キマ
シテハ、御承知ノヤウニ日本發電電
管轄シテ居ルノデアリマスガ、一、二
萬「キロ」程度ノ發電所ニ付キマシテ
ハ、寧ろ地方ノ實情ニ即シテ民間ニ開
發ヲ許スノガ適當デアリカト思ヒマス
ガ、此ノ點ニ付テ如何デアリマスカ
○小笠原國務大臣 アレハ御承知ノヤ
ウナ所謂統制バヤリ時代デアツタカラ
ア、云フコトニナツタノデセウ、アノ
當時デモ反對論ノアツタコトハ御承知
ノ通りデアリマス、併シ現在ノ如ク機
構ガ定マツテ來マス、サウ云フ風ニ
小サイモノヲ許スノガ宜イノカドウカ
ト云フ問題ハ、相當考ヘテ見ナケレバ
ナラヌノデヤナイカト思ヒマス、但シ
御意見ノ次第ハ能ク分リマスノデ、能
ク考ヘテ見タ上デ善處サスヤウニ致シ

タイト存ジテ居リマス

○宇田委員 特ニ辭達ノ土地デスト、工場立地條件等ガ從來ノ資本主義的ナ考ヘカテ制出スト適當デナイ關係デ、開發スベキ所ノ水力ハ澤山アリナガラ、發電所ノ設置ガ遅レル、或ハ計畫ガ途中デ葬リ去ラレルト云フコトガアリマスガ、將來ノ立地計畫、或ハ國土計畫等カラ見マシテ、必ズシモ僻遠ノ土地ガソレニ適セナイト云フコトデモナイデセウカラ、サウ云フ意味カラ言フト、寧ロ地方ノ實力ニ依ツテ解決シタ方カ宜イ、一例ヲ申上ゲルト、農業會等ノ最近ノ預金ダケヲ見マシテモ、僻遠ノ地デモ一億ヤソコヲ金ヲ持テツ居ル、サウスルト一萬「キロ」ヤ二萬「キロ」ノ開發ニハ少シモ事ヲ缺カナ

イ、サウ云フ點カラ見マシテモ、寧ロ地方ノ實力ニ依ル方カ宜イノデヤナイカト考ヘラレル點モアリマスノデ、御意見ヲ「タイト」思ヒマス

○小笠原國務大臣 仰セノ點ハ御尤モニ存ジマスノデ、能ク一ツ考ヘマシテ、現在ノ法規ノ上デドウナツテ居ルカ、若シ又サウ云フヤウニ直スコトノ方カ宜イト云フ結論ニ達シマスレバ、左様ナ風ニ持ツテ參リタイト考ヘテ居リマス

○宇田委員 發電計畫等ニ付キマシテハ其ノ位ニ止マテ、或ハ電力ノ配電機構ニ付テ御意見ヲ伺ヒタイ、地方農村ノ電化、其ノ特色ノ電力ヲ中心トスル工業化ガ盛ニ唱ヘラレテ居リマスガ、現在ノ配電會社ノ機構ト云フモノハ、地方ノ行政機構ト必ズシモ一致シナイ點ガアリマス、特ニ僻遠ノ縣ニナリマス、段々ト小サイ支店程度ノモノデ配電行政ヲヤルト云フコトニナツテ居リマス、隨テ農村ノ電化トカ、終

後特ニ動力關係ガ重要ニナツテ來ルニ從ツテ、人的機構ニ於テモ、非常ニ貧弱ニナツテ居ル所ガ多イ、サウ云フ點カラ考ヘマシテ、配電行政ハドウシテモ今後直サナケレバナラス點ガ多イト考ヘマスガ、之ニ付テノ商工大臣ノ御意見ヲ伺ヒマス

○小笠原國務大臣 少シ専門的ナコトニ直ルヤウデスカラ、電力局長等ヲシテ答辯セシムル方ガ、アナタノ御氣持ニ副フデヤナイカト思ヒマスガ、若シサウデゴザイマスレバ、私ハ是レ以上ノ質問ガナケレバ、其ノ程度ニ止メテ置イテ戴イテ、電力局長ヲ此處ニ出シテ御答辯サセルコトニ願ヒタイト思ヒマス

○宇田委員 ソレデ宜シウゴザイマス

○北委員長代理 加藤君

○加藤(知)委員 仰セノ點ハ對シテ二、三御質問申上ゲテ置キタイト思ヒマス、先ツ第一ニ御尋シ致シタイコトハ、生絲ノ輸出ニ付テデアリマス、大東亞戰爭中ハ内地ダケデアリマスカラ、其ノ品質モ軍需品ヲ除クノ外、繭デサヘアレバ宜イ、生絲ニサヘナレバ宜イト云フコトデアリマシタガ、敗戦後ノ今日ニハ海外輸出、就中賠償物資、外米輸入ノ代價物資ト云フヤウナコトニナツテ居リマス、是マデトハ邁ツテ、品質本位デ繭絲業ノ改善發達ヲ圖リナケレバナラナイノデアリマス、ソレニハ「蠶蠶」家ト製絲家ヲ直結シ、製絲家ト米國企業家ヲ直結シメテ、一貫致シテ施設ヲ設シテ、米國機業家ノ希望ニ應ズルヤウニシナケレバナラナイト考ヘルノデアリマス、ソレニハ生絲ノ生産マデハ農林省デヤル、生絲ノ輸出ハ商工省デヤルト云フヤウデハ、一貫致シテ施設トハ言ハレナイト

思フノデアリマス、隨テ繭絲ノ改善ハ出來ナイト思ヒマス、縱シ出來マシテモ、米國ノ流行ニ副ウテドンノ生絲ノ改良ヲヤツテ行クト云フコトガ、頗ル困難ノ點ニナルコトハ言フマデモアリマセス、之ニ對スル所ノ商工大臣ノ御所見ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○小笠原國務大臣 御述ベニナツタコトハ、大體私共同感デアリマスガ、值シ生絲ノ輸出マデノ製造、輸出全部ヲ一貫シテヤレト云フコトニ對シマシテハ、輸出ナラバ是ハ聯合軍司令部ノ命令デス、一元のニヤレト云フコトハ、是ハ命令デアリマシテ、商工省ガ今度外局トシテ貿易廳ヲ置イテ之ヲヤルコトニナツテ居ルノデ、此ノ命令ガ變ルマデハ、今如何ニ仰セラレテモヤリヤウガナイノデアリマス

○加藤(知)委員 其ノ一元のト云フコトハドウ云フ意味カ一寸分リ難ンマデスガ、私共ノ一元のト云フコトハ、詰リ繭カラ生絲、生絲カラ輸出ト一貫致シタ施設ガ即チ一元のデハナイカ、斯ウ思フノデアリマス、ソコデ「マツカイサー」軍司令部カラノ一元のト云フ意味ハドウ云フ意味デアルカ、今一應御説明シタイ

○小笠原國務大臣 ソレハ輸出輸入ト云フモノハ一箇所デ全部ヤレ、是ガ一元のト云フ意味デアリマス、隨ヒマシテ、例ヘバ繭絲デアルトカ、繭デアルトカ、生絲デアルトカ云フモノヲ、農林省デヤレテモ、之ヲ輸出スル生絲ニ付テハ、輸出輸入ト云フモノハ一元のニヤレト云フコトデアツテ、隨テ米ノ輸入モ、或ハ棉ノ輸入モ、見返り物資ノ輸出モ是ハ貿易廳ガ日本ノ全部ノ貿易ヲヤル、是ガ一元のノ意味デアルノデアリマス、隨ヒマシテ今アナタガ

言ハレルヤウニ、農林省ト商工省ニアリ行政ヲ一貫シテヤレト申シマシテモ、ソレハヤレナイト云フノデアリマス

○加藤(知)委員 一元のノ意味ハ分リマシタガ、御承知ノヤウニ、モウ殆ド昔カラト言ヒタイ位古イ歴史ガアツテ、農林省、農商省ト云フヤウニ色々時代ガ變ツテ來テ居リマスガ、ソレデモドウデラカト言フト、絶エズ農林省ト商工省ト分レマス生絲ノ輸出ハ商工省ニ入ツテ居ル、今私ガ申上ゲタヤウナコトハ、繭絲業者間ノ問題ニナツテ居ルノデス、恐ラク「マツカイサー」軍司令部モ此ノ生絲ノ問題ニ付キマシテハ、私ノ今以上ゲマシタ繭カラ生絲、生絲カラ輸出ト云フヤウニ一貫シナケレバ、米國繭業者ノ好ミニ應ジタ生絲ハ作ラレナイモノデアルト云フコトヲ、政府當局ガ能ク御説明ニナツタラ、能ク分ルト思ヒマス、「マツカイサー」軍司令部ニ分ラナイコトハ、ナイト思フト、向フカラノ命令ダカラハ是ハ仕方ナイト仰シヤレ、バソレマデデアリマデスガ、ソコガ政府當局ノ努力サルベキ所デハナイカト、私ハ思フノデアリマデスガ、其ノ點ニ付キマシテ「マツカイサー」司令部ニ對シテ如何ヤウニ御交渉ナサレマシタカ、其ノ點ヲ伺ツテ見タイノデアリマス

○小笠原國務大臣 仰セノ點ハ對シテ二、三御質問申上ゲテ置キタイト思ヒマス、先ツ第一ニ御尋シ致シタイコトハ、生絲ノ輸出ニ付テデアリマス、大東亞戰爭中ハ内地ダケデアリマスカラ、其ノ品質モ軍需品ヲ除クノ外、繭デサヘアレバ宜イ、生絲ニサヘナレバ宜イト云フコトデアリマシタガ、敗戦後ノ今日ニハ海外輸出、就中賠償物資、外米輸入ノ代價物資ト云フヤウナコトニナツテ居リマス、是マデトハ邁ツテ、品質本位デ繭絲業ノ改善發達ヲ圖リナケレバナラナイノデアリマス、ソレニハ「蠶蠶」家ト製絲家ヲ直結シ、製絲家ト米國企業家ヲ直結シメテ、一貫致シテ施設ヲ設シテ、米國機業家ノ希望ニ應ズルヤウニシナケレバナラナイト考ヘルノデアリマス、ソレニハ生絲ノ生産マデハ農林省デヤル、生絲ノ輸出ハ商工省デヤルト云フヤウデハ、一貫致シテ施設トハ言ハレナイト

思フノデアリマス、隨テ繭絲ノ改善ハ出來ナイト思ヒマス、縱シ出來マシテモ、米國ノ流行ニ副ウテドンノ生絲ノ改良ヲヤツテ行クト云フコトガ、頗ル困難ノ點ニナルコトハ言フマデモアリマセス、之ニ對スル所ノ商工大臣ノ御所見ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○小笠原國務大臣 御述ベニナツタコトハ、大體私共同感デアリマスガ、值シ生絲ノ輸出マデノ製造、輸出全部ヲ一貫シテヤレト云フコトニ對シマシテハ、輸出ナラバ是ハ聯合軍司令部ノ命令デス、一元のニヤレト云フコトハ、是ハ命令デアリマシテ、商工省ガ今度外局トシテ貿易廳ヲ置イテ之ヲヤルコトニナツテ居ルノデ、此ノ命令ガ變ルマデハ、今如何ニ仰セラレテモヤリヤウガナイノデアリマス

○加藤(知)委員 其ノ一元のト云フコトハドウ云フ意味カ一寸分リ難ンマデスガ、私共ノ一元のト云フコトハ、詰リ繭カラ生絲、生絲カラ輸出ト一貫致シタ施設ガ即チ一元のデハナイカ、斯ウ思フノデアリマス、ソコデ「マツカイサー」軍司令部カラノ一元のト云フ意味ハドウ云フ意味デアルカ、今一應御説明シタイ

○小笠原國務大臣 ソレハ輸出輸入ト云フモノハ一箇所デ全部ヤレ、是ガ一元のト云フ意味デアリマス、隨ヒマシテ、例ヘバ繭絲デアルトカ、繭デアルトカ、生絲デアルトカ云フモノヲ、農林省デヤレテモ、之ヲ輸出スル生絲ニ付テハ、輸出輸入ト云フモノハ一元のニヤレト云フコトデアツテ、隨テ米ノ輸入モ、或ハ棉ノ輸入モ、見返り物資ノ輸出モ是ハ貿易廳ガ日本ノ全部ノ貿易ヲヤル、是ガ一元のノ意味デアルノデアリマス、隨ヒマシテ今アナタガ

言ハレルヤウニ、農林省ト商工省ニアリ行政ヲ一貫シテヤレト申シマシテモ、ソレハヤレナイト云フノデアリマス

○加藤(知)委員 一元のノ意味ハ分リマシタガ、御承知ノヤウニ、モウ殆ド昔カラト言ヒタイ位古イ歴史ガアツテ、農林省、農商省ト云フヤウニ色々時代ガ變ツテ來テ居リマスガ、ソレデモドウデラカト言フト、絶エズ農林省ト商工省ト分レマス生絲ノ輸出ハ商工省ニ入ツテ居ル、今私ガ申上ゲタヤウナコトハ、繭絲業者間ノ問題ニナツテ居ルノデス、恐ラク「マツカイサー」軍司令部モ此ノ生絲ノ問題ニ付キマシテハ、私ノ今以上ゲマシタ繭カラ生絲、生絲カラ輸出ト云フヤウニ一貫シナケレバ、米國繭業者ノ好ミニ應ジタ生絲ハ作ラレナイモノデアルト云フコトヲ、政府當局ガ能ク御説明ニナツタラ、能ク分ルト思ヒマス、「マツカイサー」軍司令部ニ分ラナイコトハ、ナイト思フト、向フカラノ命令ダカラハ是ハ仕方ナイト仰シヤレ、バソレマデデアリマデスガ、ソコガ政府當局ノ努力サルベキ所デハナイカト、私ハ思フノデアリマデスガ、其ノ點ニ付キマシテ「マツカイサー」司令部ニ對シテ如何ヤウニ御交渉ナサレマシタカ、其ノ點ヲ伺ツテ見タイノデアリマス

○小笠原國務大臣 仰セノ點ハ對シテ二、三御質問申上ゲテ置キタイト思ヒマス、先ツ第一ニ御尋シ致シタイコトハ、生絲ノ輸出ニ付テデアリマス、大東亞戰爭中ハ内地ダケデアリマスカラ、其ノ品質モ軍需品ヲ除クノ外、繭デサヘアレバ宜イ、生絲ニサヘナレバ宜イト云フコトデアリマシタガ、敗戦後ノ今日ニハ海外輸出、就中賠償物資、外米輸入ノ代價物資ト云フヤウナコトニナツテ居リマス、是マデトハ邁ツテ、品質本位デ繭絲業ノ改善發達ヲ圖リナケレバナラナイノデアリマス、ソレニハ「蠶蠶」家ト製絲家ヲ直結シ、製絲家ト米國企業家ヲ直結シメテ、一貫致シテ施設ヲ設シテ、米國機業家ノ希望ニ應ズルヤウニシナケレバナラナイト考ヘルノデアリマス、ソレニハ生絲ノ生産マデハ農林省デヤル、生絲ノ輸出ハ商工省デヤルト云フヤウデハ、一貫致シテ施設トハ言ハレナイト

思フノデアリマス、隨テ繭絲ノ改善ハ出來ナイト思ヒマス、縱シ出來マシテモ、米國ノ流行ニ副ウテドンノ生絲ノ改良ヲヤツテ行クト云フコトガ、頗ル困難ノ點ニナルコトハ言フマデモアリマセス、之ニ對スル所ノ商工大臣ノ御所見ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○加藤(知)委員 生絲ノ問題ハ此ノ程度ニシテ置キマシテ、今一ツ御尋申上ゲタイト思ヒマスコトハ、全國ノ都市ガ空襲ノ爲ニドノ位焼カレテ居ルカ、實際ノ數字ハ私分リマセヌガ、新聞紙ノ記載スル所ニ依リマス、百十何都市ガ焼カレテ居ルト云フコトニ相成ツテ居リマス、ソコデ其ノ都市ノ人ハ今此ノ嚴寒ノ候ニ向ハント致シテ居ル今日、住ムニ家ノナイヤウナ状態デアリマシテ、偶々建マシテモ見ルカゲモナイ洵ニ小サナ所ノ入り込ニ堪ヘナイ、ソコデ此ノ都市ノ焼ケ出サレタ商工業者ト云フモノヲ、一體ドウ云フ風ニヤラレル御考ヘデアルカ、斯ウ云フコトデアリマス、ソコデ大部分ノ今日マデ商工業ニ從事シテ居ッタ人ハ悉クヤハリ商工業ニ從事サセロウト云フ御考ヘデアルカ、ソレトモ其ノ中ノ何割ト云フモノハ之ヲ農林省ニ轉業セシメルトカ、其ノ他ノ業ニ轉業セシメルト云フ御考ヘカドウカト云フコトヲ御伺ヒタイト思ヒマス

○小笠原國務大臣 其ノコトハ既ニ豫算總會等デ申述ベマシタ、此ノ委員會ハ私ハ蠶絲業法ノ委員會ダト承知シタノデスガ、ソレニ關係アル御答辯ハ致シマスガ、商工業ヲドウスルカト云フヤウナコトハ他ノ機會ニ譲ツテ戴キタイト思ヒマス

○北委員長代理 一寸皆サンニ申上ゲマスガ、會期短キ切迫シテ時間ガ貴重ニナリマシタカラ、本法案ニ關係ノアル質問ダケニ止メテ戴キタイト思ヒマス、ドウゾ御諒承願ヒマス 山田サ

ン引續イテドウゾ……

……

……

○山田(六)委員 今一ツカニ御伺ヒ致シタイと思ヒマス、竊統制株式會社モ最近キ將來ニ輕散ヲ實行スルト云フコトデアリマスガ、同ヒマスレバ五十嵐君ノ質問ニ對シテ、竊統制株式會社ノ赤字問題ニ關シテ、政府ハ是ガ何等カノ處置ヲ付ケテヤル義務ガアルガ如クニ考ヘテ居ル、斯ウ云フ御答辯ガアツタト云フコトデアリマス、サウスルトソレハ政府ガ竊統制株式會社ヲ作ル際ニ、色々查察ヲシテ作ラシ、斡旋ノ勞ヲ取ツタカラト云フコトデアリマスガ、或ハ竊統制株式會社ガ竊統製造會社ニ投資ヲシテ居ル、投資ヲスル際ニハ農林省モ大藏省モ同意ヲシテ投資ヲセシメタルデアリカラ、此ノ製造會社ガ今解散ニ相成ツテ、相當ノ赤字ガアル際ニハ、政府トシテ之ヲ放ツテハ置ケナイ、何等カノ方法ヲシナケレバナラヌ、斯ウ云フ風ノ意味ニ於テノ御考ヘデアリカ、其ノ邊ノ所ヲ御聽キ致シタイと思フデアリマス、ソレカラモウ一ツ、此ノ赤字ガ相當大ナルモノデアルト云フコトヲ聞イテ居ルデアリマス、私ハ能ク分リマセムガ、人ニ依ツテハ一億圓ニモ近イ數字ニナツテ居ルト云フヤウナコトヲ聞イテ居ルデアリマスガ、サウ云フ大變ナ赤字ダト致シマシタナラバ、如何ナル方面カラ之ニ對シテ補填ヲシテヤルト云フ御計費デアリマセウカ、其ノ邊ノ所モ御聽キシタイと思フデアリマス

○山添政府委員 昨日五十嵐委員ノ質問ニ對シテ、政府ト致シマシテモ相當ノ責任ヲ感ジテ居ルト云フ意味ノコトヲ申シマシタノハ、統制會社ガ投資ヲシテ居ルカラト云フ意味デハゴザイマセム、會社設立ノ經緯並ニ官選ヲスルトカ云フ點中ニ於ケル生産計畫ヲ關

行シタ、斯ウ云フ點カラ申シタノデアリマス、ソレカラドレダケ赤字ガアルカト云フコトハ、正確ナコトハ私モ存ジテ居リマセム、併シ一億圓アルデヤナイカ、斯ウ云フコトハ恐ラク所謂共助金ノ問題ヲモ含メテノ意味ト考ヘテ居リマスガ、共助金ノ措置ニ付キマシテハ、是ハ竊ノ產額ガ戰時中非常ニ減リマシタ、隨テ今度ノ竊統等ヲ復元致シマスニ付キマシテモ、元通りノ規模ニハナリ得ヌト云フコトモ已ムヲ得ナイノデアリマシテ、是ハ別ノ意味デアリマシテ、本當ノ意味ノ會社ノ損失ト云フコトデアリマスレバ、ソナニ多額ノモノガアルトハ考ヘテ居リマセム

○山田(六)委員 今度竊統制株式會社ガ解散ヲ清算ヲ致シマス際ニハ、其ノ持つテ居ル資金ノ中ニ絲價決定資金ダケハ今度ノ竊統會社ニ引渡スベシト云フコトガ、竊統會社ノ規定ガアルヤウデアリマス、ソレカラ政府ノ御方針デハ、竊統株式會社ノ株主ニ對シテハ年六朱ニ相當スル配當ヲ附加スルダケデ、ソレ以上ノ金ハ配當ヲシナイ制限配當ヲセシムノダ、斯ウ云フ御方針ダト承ツタノデアリマスレバ、サウスルト絲價決定資金ハ竊統會社ニ引渡ス、一方株主ニ對シテハ六朱ノ配當シカシナイト云フコトニナリマスレバ、其ノ時ニ於テ補償ノ引上トカ、色々ナコトノ爲ニ竊統株式會社ニ殘リ剩餘金ト云フモノハ極メテ大ナルモノデアリ、相當ニ大キナ、絲價決定資金ノ二倍若シタハ三倍ニ近イ剩餘金ガ出ル、斯ウ云フヤウナコトモ巷間傳ヘルノデアリマスガ、果シテサウ云フ清算ノ結果ニナリマシタナラバ、是等ハドウ云フ風ニ、其ノ金ヲ處置サルノ

リマシテ、既ニ約束シタモノハ、是カラ金ヲ出スト云フモノモ含シテ居リマス、併シ許可ヲ得レバ宜イ際デアリマス、現ニ私共モサウ云フ手續ヲドシテ致シテ居ルモノモゴザイマス

○山田(六)委員 ソレカラ今後ノ竊ノ生産ヲ増加スルニハ、今御話申上ゲマシタ如ク、新ナル思ヒ切ツタ手ヲ施サナケレバ、到底生産ヲ維持或ハ増産ト云フコトハ困難デアリマスガ、私ハ此ノ際先刻御話ノ中ニ統制會社ノ剩餘金ト云フモノニ對シテハ、竊統業ノ爲ニ相當使フ計畫デアリ、使フコトモ出來ルト云フヤウナ御意見ノヤウデアリマスガ、是ハ洵ニ喜バシイコトデアリマス、若シサウ云フ金ガ出來得ルトシヤシタナラバ、之ヲ各府縣ノ情勢ニ應ジテ各府縣ニソレノ活動ノ資金トシテ助成ヲ致シ、サウシテ出來ルダケ地方ノ適切ナル御方針ニ依ツテ増産ヲ圖ルト云フヤウナコトヲ御計費トサ

デアリマセウカ、其ノ點ニ付テ御意向ヲ御伺ヒシタイ

○山添政府委員 竊價ヲ改訂致シマシタ所屬益ガ相當ゴザイマスガ、其ノ相當部分ノヤハ竊統價格決定資金ノ中ニ繰入レラレル部分、ソレカラ竊統業ノ改良發達ト申シマスガ、役ニ立ツ仕事ニ使ハレルモノデアラウト考ヘマス、御話ノヤウナ、サウ云フコトヲヤリマシタ後解散ノ結果殘リモノニ付テハ、恐ラク爾カク莫大ナモノデヤナイノデヤナイカト考ヘテ居リマスガ、ソレニ付キマシテハ竊統會社ニ引渡スナリ、或ハ其ノ他ノ大日本竊統業會タリデヤツテ居リマス竊統價格研究ト云フヤウナ資金ニ充テマスナリ、是ハ又關係方面ノ意見ヲ伺ツタリシテ、適當ノ方法ニナラウコトヲ希望シテ居リマス

○山田(六)委員 御答辯ニ依ツテ最初私共ガ考ヘテ居ル方面ニサウ云フ金ガ向ケラレルト云フコトヲ満足スルノデアリマスガ、現在ノ農村ノ狀態カラ言フト、竊ノ生産ノ現在ノ程度ニ止メルト云フコトハ容易ナラヌコトデアルト思フノデアリマスガ、更ニ幾ラデモ、増産ヲシロト云フコトニナリマスレバ、新ナル種々ナル手ヲ打タナケレバ、到底此ノ竊ノ生産ヲ増スト云フコトハ思ヒモ寄ラヌコトデアリ、斯ウ云フ風ニ考ヘルノデアリマス、ソレニハ色々ナ要求モ意見モアルヤウデアリマス、或ハ桑苗ノ無料配付ヲシロトカ、或ハ指導員ノ全額國庫助成ヲシロトカ、色々希望ガアルヤウデアリマスガ、此ノ頃ノ新聞ニ依リマス、聯合軍司令部ニ於テハ、政府ノ凡ニ助成ヲ此ノ際打切ルト云フヤウナ命令ガアツタ、或ハ各町村役場ニ至ルマデモ人

事以外ノモノハ支出シテ相成ヌスト云フ通謀ガ出テ居リマス、斯ウ云フ點カラ見ルト、政府ガ色々產業政策ニ對シテ助成ヲスルコトハ、今後モ繼續シテナシ得ルノデアリマセウカ、或ハ聯合軍ノ命令ニ依ツテ、サウ云フコトハ、ナシニタナルト云フ情勢ニ置カレテアルノデアリマスガ、其ノ點ヲ一寸御伺ヒ致シタイ

○山添政府委員 聯合軍ノ命令ハ、今後サウ云フモノニ付テ新シク承認ヲ得ヨ、斯ウ云フ制度ニナツテ居ルノデアリマシテ、將來ドウ云フ方針ガ執ラレルカ存ジマセムケレドモ、全面的ニ補助金等ヲ否定シタモノデハナイヤウニ私ハ考ヘテ居リマス、唯許可ヲ受ケルト云フコトデアリマスガ、一應「ストツブレ」シテ置カ、斯ウ云フ程度デアリマシテ、許可ノ手續ヲ經テ交付スルト云フコトニナリマス

○山田(六)委員 サウスルト只今ノ間題ハ現在マデニ決マツテ居ルモノハ補助シテモ宜シイ、今後新タニ補助スルト云フ政策ヲ立テ時ニハ諒解ヲ得ル、斯ウ云フコトニ承知シテ宜イノデアリマスガ、現在色々農業、土木方面ニハ、町村農道ノ開設、色々ナ仕掛ケタ仕事ガ相當多イノデアリマスガ、與給サ、中途中デ止メロト云フヤウナコトヲ命令スル時代デアリマスガ、サウ云フ種々ナ助成金モ、デ打切ラレルト云フコトニナレバ、是ハ容易ナラヌ問題ダと思フデアリマスガ、其ノ點ハ今後新タニスルモノハ許可ヲ受ケル、現在マデ民間ニ約束シテアルモノハ、是ハドンドン「ヤツテ」宜シイ、斯ウ云フ風ニ承知シテ宜シイノデアリマスガ

○山添政府委員 昨日五十嵐委員ノ質問ニ對シテ、政府ト致シマシテモ相當ノ責任ヲ感ジテ居ルト云フ意味ノコトヲ申シマシタノハ、統制會社ガ投資ヲシテ居ルカラト云フ意味デハゴザイマセム、會社設立ノ經緯並ニ官選ヲスルトカ云フ點中ニ於ケル生産計畫ヲ關

行シタ、斯ウ云フ點カラ申シタノデアリマス、ソレカラドレダケ赤字ガアルカト云フコトハ、正確ナコトハ私モ存ジテ居リマセム、併シ一億圓アルデヤナイカ、斯ウ云フコトハ恐ラク所謂共助金ノ問題ヲモ含メテノ意味ト考ヘテ居リマスガ、共助金ノ措置ニ付キマシテハ、是ハ竊ノ產額ガ戰時中非常ニ減リマシタ、隨テ今度ノ竊統等ヲ復元致シマスニ付キマシテモ、元通りノ規模ニハナリ得ヌト云フコトモ已ムヲ得ナイノデアリマシテ、是ハ別ノ意味デアリマシテ、本當ノ意味ノ會社ノ損失ト云フコトデアリマスレバ、ソナニ多額ノモノガアルトハ考ヘテ居リマセム

○山田(六)委員 今度竊統制株式會社ガ解散ヲ清算ヲ致シマス際ニハ、其ノ持つテ居ル資金ノ中ニ絲價決定資金ダケハ今度ノ竊統會社ニ引渡スベシト云フコトガ、竊統會社ノ規定ガアルヤウデアリマス、ソレカラ政府ノ御方針デハ、竊統株式會社ノ株主ニ對シテハ年六朱ニ相當スル配當ヲ附加スルダケデ、ソレ以上ノ金ハ配當ヲシナイ制限配當ヲセシムノダ、斯ウ云フ御方針ダト承ツタノデアリマスレバ、サウスルト絲價決定資金ハ竊統會社ニ引渡ス、一方株主ニ對シテハ六朱ノ配當シカシナイト云フコトニナリマスレバ、其ノ時ニ於テ補償ノ引上トカ、色々ナコトノ爲ニ竊統株式會社ニ殘リ剩餘金ト云フモノハ極メテ大ナルモノデアリ、相當ニ大キナ、絲價決定資金ノ二倍若シタハ三倍ニ近イ剩餘金ガ出ル、斯ウ云フヤウナコトモ巷間傳ヘルノデアリマスガ、果シテサウ云フ清算ノ結果ニナリマシタナラバ、是等ハドウ云フ風ニ、其ノ金ヲ處置サルノ

リマシテ、既ニ約束シタモノハ、是カラ金ヲ出スト云フモノモ含シテ居リマス、併シ許可ヲ得レバ宜イ際デアリマス、現ニ私共モサウ云フ手續ヲドシテ致シテ居ルモノモゴザイマス

○山田(六)委員 ソレカラ今後ノ竊ノ生産ヲ増加スルニハ、今御話申上ゲマシタ如ク、新ナル思ヒ切ツタ手ヲ施サナケレバ、到底生産ヲ維持或ハ増産ト云フコトハ困難デアリマスガ、私ハ此ノ際先刻御話ノ中ニ統制會社ノ剩餘金ト云フモノニ對シテハ、竊統業ノ爲ニ相當使フ計畫デアリ、使フコトモ出來ルト云フヤウナ御意見ノヤウデアリマスガ、是ハ洵ニ喜バシイコトデアリマス、若シサウ云フ金ガ出來得ルトシヤシタナラバ、之ヲ各府縣ノ情勢ニ應ジテ各府縣ニソレノ活動ノ資金トシテ助成ヲ致シ、サウシテ出來ルダケ地方ノ適切ナル御方針ニ依ツテ増産ヲ圖ルト云フヤウナコトヲ御計費トサ

○山添政府委員 聯合軍ノ命令ハ、今後サウ云フモノニ付テ新シク承認ヲ得ヨ、斯ウ云フ制度ニナツテ居ルノデアリマシテ、將來ドウ云フ方針ガ執ラレルカ存ジマセムケレドモ、全面的ニ補助金等ヲ否定シタモノデハナイヤウニ私ハ考ヘテ居リマス、唯許可ヲ受ケルト云フコトデアリマスガ、一應「ストツブレ」シテ置カ、斯ウ云フ程度デアリマシテ、許可ノ手續ヲ經テ交付スルト云フコトニナリマス

助成ト云フモノモ、或ル程度地方ニ委
セルト云フヤウナリ方ヲスルコトガ
結構ト考ヘテ居リマス、ソレカラ大
キク建テラレテ居リマスルケレドモ、開
墾計畧ノ中ニハ桑園ヲ作ルト云フ問題
ハ含メテ居リマセウケレドモ、何分廣
イ土地デアリマスカラ、其ノ中、其ノ
周邊ト云フヤウナモノデ、是ハ桑園ニ
スルノガ土地全體ノ利用度カラ見テ宜
カラウト云フ所デハ、桑園ヲ取入レテ
行クヤウニシタイト云フ風ニ、私共ハ
思科リ致シテ居ルノデアリマス

○山田六委員 其ノ問題ハ生産ヲ増
ス上ニ於テ非常ニ重要ナル關係ガアリマ
スルカラ、是非御努力下サイマシテ、
桑園ノ開墾助成ノ對象ト致スコトニ御
願ヒ致シタイノデアリマス、御希望ダ
ケデナク、之ヲ實現スルト云フ御決意
ノ下ニ、御努力ヲ御願ヒ致シタイと思
ヒマス

更ニ農林省ノ問題ニ付テ一、二御聽
キシタイ問題ガアルノデアリマス
ガ……

○北委員長代理 今政府委員ガ此處ニ
インシヤライサウデスカラ、後ノ
機宜ニ御願ヒ致シマス

○山田六委員 尙ホ私ハ大臣ニ對シ
テ御聽キシタイコトガアリマス、ソレ
カラ農林省ノ問題ニ對シテ二三御聽キ
シタイと思ヒマスカラ……

○北委員長代理 ソレハ保留シテ置キ
マス……

○岡田啓委員 今日日本デ打突カツテ
居リマスル一番大事ナ問題ハ食糧問題
ダと思ヒマスガ、此ノ食糧事情ガ極
メテ容易ナラザル狀態ニアリマスルコ
トハ、政府當局モ御認メニナツテ居リ
マセウシ、又「マツカリー」司令部ノ
經濟科學部長「グレーマー」大佐モ、既

ニ百明致シテ居ル所デアリマス、ソコ
デ終戰ニ依ツテ、戰爭ハ濟ンダカラ、
米麥、雜穀ナドノ主要食糧ガ從來以上
ニ殖エテ來ルト云ツタヤウナコトハ、
到底思ハレナイ現狀デアリマス、所デ
然ラバ水産物ハドウデアルカト云フコ
トニナリマスル、其ノ振興方法、ヤ
リ方如何ニ依リマシテハ、私ハ水産ノ
問題ハ、必ズシモ悲觀スベキ問題デハ
ナイ、斯様ニ存ジテ居リマス、殊ニ今
日ノ食糧事情ニ於テマシテハ、政府當
局ハ水産ニ關シテハ、一段ト努力サル
ル必要ガアルノデナイカと思ヒマス、
御承知ノ通り魚ハ海ノ中ニ棲ンデ居リ
マスシ、鹽ハ海ノ中ニ無盡藏ニアリマ
ス、漁村ハ海ニ面シテ居リマス、ソレ
デアリマスルノニ、漁村デハ年中鹽ガ
足リナイト云フコトヲ今言ツテ居リマ
ス、ソレデ時ニ、殊ニ大漁ノ時ニハ魚
ヲ購ラス、國家ハ毎年鹽ヲ海外カラ何
十萬トンノナク輸入シナケレバナラ
ズト云フノガ今ノ實情デアリマスケレ
ドモ、是ハ實際言フト、考ヘ方ニ依ツ
テハ、實ニ妙ナ話デアルト思フノデア
リマス、今後日本ノ水産ハ大キク分ケ
テ考ヘマス、二ツノ役割ガアルと思
フノデアリマス、其ノ一つハ、國民ノ
食糧生産ト云フ面カラノ役割ト、他ノ
モウ一つハ、敗戰後ノ賠償物資ノ關係
ガ此ノ水産製造物ニ依ツテ一ツノ大キ
ナ役割ヲスル、斯様ニ思フノデアリマ
ス、而モ今日日本ノ國ノ領土ハ非常ニ
狭クナツテシマヒマシタ、海毛制限ハ
サレマシタケレドモ、水産活動ノ面ハ
ヤリ方ニ依ツテハ擴張ラレルノデハナ
イカ、斯ノ云ツタ狀態ニアル、而モ食
糧危機ニ直面致シテ居リマス今日、水
産ノ振興的開發ヲ圖リ、漁撈ノ高度化
ヲ圖ツテ、サウシテ實テ日本ノヤウ

ニ、水産ノ世界ノ最高峰ニ置クト云フ
コトハ、政府當局トシテ考ヘナケレバ
ナラヌノデナイカト私ハ思フノデア
リマス、戰後日本ノ水産振興策ヲ大體
ニ總キタイノデスガ、幾ラ待ツテ居ッ
テモオイデニナリマセウ、ソレデ先ツ
大體政府ガ斯ウ云ツタ風地ニ立ツテ御
考ヘニナツテ居リマス所ノ明年年度ノ漁
獲目標何處ニ置イテ居ラレマスカ、
先ツソレヲ御伺ヒ致シテ見タイ

○笹山政府委員 大臣ニ對シマス大キ
ナ問題ニ付キマシテハ措キマシテ、私
カラ來年度ノ水産計畫ニ對スル御答ヘ
ヲ申上ゲマス、實ハ來年度ノ水産計畫
ニ付キマシテハ、増産ノ最モ根幹デア
リマス漁船ノ狀況、ソレカラ燃料、綿
絲、「マニフ」繩等ノ資材等ノ供給カラ
見マス、其ノ點ニ付キマシテハ實ハ
ハツキリシタ見透シガ付イテ居ラナイ
狀況デゴザイマス、併シナガラ私共致シ
マシテハ、食糧事情ノ現在緊迫セル狀
況ニ鑑ミマシテ、出來得ル限り努力ヲ
致シマシテ、目標ト致シマシテハ、大
體前ノ十二億圓程度ノモノヲ來年度
ニ於テ漁獲シタイト云フコトデ、色々
漁船ノ問題、資材ノ問題ニ付テ取扱ッ
テ居ルノデアリマス、尙ホ提議海域ハ、
終戰ノ結果相當制限セラレマシテ、從
來我が國ノ水産ニ相當ノ貢獻ヲ致シテ
居リマシタ北洋或ハ東支那海ノ方面、
其ノ他南方海域ニ於ケル所ノ漁撈ハ、
今ノ所屬屬ニナツテ居ルノデゴザイマ
スガ、是等ノモノガ假令十分行クナイ
ト致シマシテモ、マダノ許サレタ海
域ニ於テマシテ相當ノ漁獲ノ出來ルノ
デハモカイカト云フヤウニ實ハ老ヘテ居
リマス、戰中ハ不幸ニ致シマシテ漁
船ハ微細其ノ他ニ依リマシテ極度ニ逼
迫致シ、又重油等ノ燃料ガ殆ド配給ガ

ナイニ等シカタヤウナ狀況デアリマ
シテ、是等ノ生産手段ハ現在ニ於テキマ
シテハ、相當ノ物資ガ民需ニ轉換サ
レタ結果、相當量ハ確保致シテ居ルノ
デアリマス、是等ノ物資ヲ極力利用シ
マシテ、一日モ早ク水産ガ戰前ノ狀況
ニ回復スルコトヲ目途ト致シマシテ、
各種ノ方針ニ出テ居ルノデゴザイマ
ス、尙ホ燃料ニ付キマシテハ、聯合國ノ
厚意アル援助ニ依リマシテ、蓋當リ十
二月分ト致シマシテ六千五百「トン」ノ供
給ヲ得テ居ルヤウナ次第デゴザイマシ
テ、今後トモ是等水産物ノ増産上最モ
必要ナル所ノ資材等ノ方面ニ付キマシ
テハ、聯合國ノ厚意アル援助ニ依ツテ
解決ヲシテ參リタイと思フノデアリマ
ス

○岡田啓委員 來年度ノ漁獲目標十
二億圓ト承ツタノデアリマス、今御話
ノ通り一戰前ニ於テキマス日本ノ水産
ノ地位ト云フモノハ、少クモ世界
ノ最高峰ヲ行ツテ居ツタノデアリマス
ガ、戰中其ノ生産ガ非常ニ低下シタ、
即チ大東亞戰爭ノ勃發以來魚介類ノ生
產狀況ハ、戰前ノ平均漁獲高十四億圓
ダツタト記憶シテ居リマスガ、ソレニ
對シマシテ、年來低下シテ行キマシテ、
私ノ承知致シテ居ル所ニ依リマシテ、
昭和十八年ニハ約十億圓ノ位獲ツ
テ居ツタガ、十七年ニハ八億數千萬圓、
十八年ニハ十億圓、十九年ニハ
十億數千萬圓、二十年ニハ見込デア
ラウトと思ヒマスガ、下ノ位ニナルカ知
ラウト思ヒマスガ、六億圓位ナハナ
イカト承知致シマスガ、斯ウ云フ風ニ激
減シテ居ルノデアアル、所カ戰爭ハ濟ン
ダ、來年ノ目標ハ十二億圓ト云フノ
デアリマス、而モ此ノ非常ニ減産ヲ致
シテ來マシタ原因ハ、戰中時ニ必要

ナル漁船ガ徵用サレタ、又今ハ勞務ハ
餘ツテ來タデアリマセウガ、戰時中
ハ漁業者即チ勞務要員ト云フモノガ非
常ニ足ラナカツタ、殊ニ資材ガ不足デ
アツタト云フコトガ其ノ原因デアルト
思フ、今御話ニ依リマスト、燃料ハ聯
合軍ニ話シテ、何ボデアリマシタカ一
寸鹽ヲ洩ラシマシタガ、或ル數ヲ確保
シタト云フ風ニ言ツテ居ラレマスガ、
今中シマスル通り、漁船資材、殊ニ
燃料ソレカラ「ロープ」網類、斯ウ云フ
一番必要ナル資材ガ、果シテ下ノ位用意
ガ出來テ居リマスカ、漁船ノ如キハ、
近海ニ自由ニ出漁ヲ許サレテ居リマス
ル百「トン」未満ノ漁船ト云フモノハ、
戰爭中ニ七割モ八割モ破損其ノ他役

ニ立ナクナツテシマツタ云ツタヤウ
ナコトデ、出漁不能ノ狀態ニ置カレテ
居ルノデアリマス、ソコデ私ハ漁船ニ
付キマシテハ、此ノ軍需施設ノ轉換等
ニ依リマシテ、是ガ修理施設ヲ増強ス
ルコトヲ圖ラナケレバナラス、何トシ
テモ木造船ハ建造シナケレバナラス、
同時ニ修理ノ徹底ノニヤラナケレバ
ラスト云フ風ニ思フノデアリマス、明
年度ニ於テキマス漁船ノ建造ノ目標ヲ
御立テニナツテ居リマスルナラバ、是
ハ下ノ位ニナツテ居リマスルカ、又漁獲
目標十二億圓達成ニ必要ナル所ノ
今油ノ數字ヲ私聽議シマシタカラ、燃
油、漁網、「ロープ」等ノ最モ重要ナル
資材ニ對シマシテハ、十分ノ御用意カ
出來テ居ルノカドウカ、其ノ邊ニ付テ
御伺ヒシタイ

○笹山政府委員 只今御話ノアリマシ
タ増産ノ最モ根幹デアアル所ノ漁船ノ問
題、資材ノ問題デゴザイマスガ、漁船
ニ付キマシテハ、現狀ハ大體「トン」數
ニ致シマシテ七十九萬「トン」位デゴザ

イマシテ、其ノ中ノ約三分ノ一ハ補修ヲ要スルヤウナ狀況ニナツテ居リマス、是等ノ修繕ヲ要スル漁船ニ付キマシテハ、私共トシマシテハ、關係方面トモ連絡ヲ取リマシテ、大體三、四月頃マデニ之ヲ完成シタイト思ヒマシテ、資材ノ手當、造船所トノ交渉ニ付キマシテ、ソレハ、御覽旋ヲ申上ゲテ居ル次第デゴザイマス、併シナガラ漁船ハ大體戰前ニ於テキマシテハ百萬「トン」モアリマシタノガ、現在サウ云フ風ニナツテ居リマスルノデ、十二億圓ヲ達成スルニハ、ドウシテモ新シク技ニ三十萬「トン」位ノ船ヲ建造シナケレバナラヌ狀況ニナツテ居ルノデゴザイマス、是等ニ付キマシテハ、吾々ノ考ヘトシマシテハ、大體木造船ガ十二萬一千「トン」、鋼船トシマシテ二十一萬一千「トン」合セテ三十三萬二千「トン」程度ノモノヲ明年一バイニ完成致シタイト云フコトデ、ソレハ、對策ヲ進メテ居ルノデゴザイマス、此ノ新造ニ付キマシテハ、最ニ困難ナル問題ハ鋼材其ノ他ノ資材デゴザイマスガ、此ノコトニ付キマシテハ、先ヅ軍需ヨリ民需ノ方ニ轉換サレタ所ノ資材ヲ相當優先的ニ廻シテ敷クコトト、ソレカラ造船所ニ相當手持資材モアリマスノデ、之ヲ積極的ニ漁船ノ建造ニ活用シテ敷クコト、ソレカラ從來「海軍ノ艦艇デアリマシテ、今回不要ニナリマシタ分、即チ民需用ニ轉換サレタ分デ、現在漁船ニ使ツテモ適當デアルト云フ分ニ付キマシテハ、是ニ相當アルト思ヒマスルノデ、是等ノ漁船ヘノ轉換ニ付キマシテモ、ソレハ、關係方面ト折衝ヲ進メテ居ルノデゴザイマス、此ノ分ニ付キマシテハ、近ク現物ニ付キマシテ、ソレハ、分配ガ開始サレル豫定デアリ

マス、斯ウ云ツタ手段ヲ以チマシテ、運輸方面其ノ他關係方面ニ話合ヲ進メテ居ルノデゴザイマスガ、何ト申シマシテモ、此ノ漁船ノ建造ハ至急ヲ要スル問題デゴザイマス、一方是等ノ漁船ノ建造ニ付キマシテハ、現在船價ガ相當高ク付イテ居リマス、而モ將來漁業ノ經營カラ考ヘマシテ、是等ノ船價デ果シテ合理的ニ行カドウカト云ツタヤウナ、色々經營上ノ問題モアリマスルノデ、是等ノ點ニ付キマシテハ、金融ノ方面、其ノ他場合ニ依リマシテハ國庫ノ助成ニ付キマシテモ考慮セナケレバナラヌカトモ考ヘテ居ルヤウナ次第デゴザイマス

尙ホ油ノ問題デゴザイマスガ、油ハ大體半年ニ於テキマシテハ、重油ニ付キマシテハ三十九萬三千「キロリットル」位消費サレテ居ツタノデゴザイマスガ、昨年から今年ニ掛ケマシテ、殆ド實物ノ配當ハナイト申シテモ宜イ位僅少デゴザイマス、是等ノ燃料ニ付キマシテハ、從來「タール」其ノ他松根油、「カーバイド」等ニ依ツテ補ツテ居ツタノデゴザイマスガ、終戰ノ結果ニ依リマシテ、軍需カラ民需ノ方ニ廻サレタ分カラ漁業用トシテ差當リ輕油四千「キロリットル」ノ配分ヲ受ケマシタ、此ノ分ニ付キマシテハ、既ニ府縣ノ方ニソレハ、配當濟デゴザイマス、尙ホ戰爭中増産ニ努メテ居リマシタ所ノ松根油デゴザイマスガ、是ハ終戰ノ結果不要ニナリマシタノデ、此ノ分ニ付キマシテモ、漁業ニ重點的ニ賣ツト云フ話合ヲ進メテ居リマシテ、是ハ亦關係方面ト話合ガ濟ンデ、大體差當リ製造濟ノモノガ七千「トン」アリマスルノデ、是ハソレハ、大體水産業會ヲ通ジテ漁船ノ方ニ配當スルト云フ手筈ヲ決

メテ居ルノデゴザイマス、今後ノ供給ニ付キマシテハ、先程申上ゲタヤウニ、是等ノ燃料ニ付キマシテハ、日本ノ内地ニ於テ生産サレルモノノガ現在トシマシテモ非常ニ窮乏デアリマス、隨ヒマシテ此ノ中カラ漁船ニ重點的ニ配當テ賣ツト云フコトニシマシテモ、其ノ數額トシマシテハ大シタ期待モ持テナイノデハナイカト云フコトヲ考ヘテ居ルノデアリマシテ、先ヅ大部分ノモノハ勿論輸入ニ待タナケレバナラナイノデゴザイマスガ、我々トシマシテハ、國內ニ於テハ出來ル限りノコトハシナケレバナラヌト云フヤウナ見地カラ、石炭地方デアリマスル所ノ漁業會等ニ對シマシテハ、石炭ノ簡易液化ヲ獎勵シテ、ソレニ依ツテ若干ノ補助ヲ付ケテ參リ、又先程申上ゲタ松根油デ今後生産サレルモノハ、一萬「トン」餘アル見込デゴザイマスカラ、是等ノモノモ漁業ノ方ニ廻スト云フコトデ、當座ノ間ヲ補ツテ行クヨリ外方法ガナイ狀況デアリマスガ、漁業ノ問題ニ付キマシテハ、聯合軍等ニ於テキマシテモ、非常ニ熱心ニ支援シテ呉レテ居リマシテ、先程申上ゲタヤウニ十二月分トシテ相當量ノ油ヲ應援ヲ受ケタヤウナ狀況デ、今後一月、二月ト續キマシテ供給ヲ仰ギ得ルノデハナイカト考ヘテ居ルノデアリマス

尙ホ漁網ノ點デアリマスガ、是ハ平時ハ相當使ツテ居リマシタガ、戰爭中ハ殆ド供給ガナイト云ツテモ宜イ位貧弱ナモノデアリマス、隨テ茲ニ急ニ戰前ノ生産ヤラセルト云フコトニナレバ、從來我慢シテ使ツテ來タ所ノ網類等ハ急速ニ之ヲ新シイモノニ替ヘナケレバナラヌト云フヤウナコトカラ考ヘマスル、ドウシテモ綿絲ガ二萬七

千「トン」、「マニラ」ガ四萬五千「トン」位要ルノデハナイカト云フ風ニ想定サレルノデゴザイマス、其ノ中デ特ニ整當リ緊急ヲ豫想サレル所ノ數額ハ、綿絲ニ付テハ約一萬五千「トン」位、「マニラ」ニ付テハ約二萬「トン」位デアリマスガ、之ニ對スル供給トシテハ、終戰ノ結果軍需カラ民需ニ轉換サレタモノデ綿絲ガ六千餘「トン」デゴザイマス、ソレカラ「マニラ」麻ガ三千五百「トン」位アルノデアリマスガ、是等ノモノニ付テハソレハ、水産業會ノ方デ引取ツテ、ソレハ、商工省ノ方ノ配當ノ下ニ、關係方面ニ製造ヲ命ジテ居ルヤウナ狀況デ、大體順調ニ進ンデ居リマス、今後ノ供給ニ付キマシテハ、先ヅ二十年産ノ内地產ノ麻類ヲ極力漁網ノ方ニ確保シタイト云フコトデ、先般商工省方面トモ話合ヒマシテ、今年出來マシタ所ノ麻類ノ相當部分ヲ漁業ノ方ニ割イテ賣フコトニ話合ヒガ付キマシタ、此ノ分ニ付キマシテハ、引取リ次第生産ニ掛リマシテ、即刻漁網ノ方ニ廻シタイトノ考ヘヲ以テ今進ンデ居ルヤウナ狀況デゴザイマス、斯様ナ事情デゴザイマシテ、今後ノ増産ヲ豫メケレドモ、食糧事情ノ現在ノ狀態ニ鑑ミマシテ、我々トシテハ目標トシテハ出來ルダケ早イ機會ニ於テ戰前ニ歸シタイト云フ積リデ進ンデ居ルノデアリマス、大體漁船數ニ資材ニ付キマシテハ、今申上ゲタヤウナ狀況デアリマス

○北委員長代理 岡田君一ニ寸申上ゲマスガ、先程大臣ガ直ダ見エラレルヤウニ申シマシタガ、向フカラ今直ダ都合ガ付カナイ、併シ必ズ行クト云フコトヲ言ツテ參リマシタカラ、ドウゾ御覽承願ヒマス

○岡田(啓)委員 只今ノ御説明ニ依ツテ漁業用資材、漁船ニ付キマシテモ、或ハ又燃料ニ付キマシテモ、漁網類ニ付キマシテモ、現在凡ユル手ヲ盡シテ確保致シテ居ル、又終戰後或程度ノ軍方面ノ物資ノ確保ヲシタガ、結局現在ノ景デハ足ラナイ、足ラナイノハ輸入ニ俟タナケレバナラヌト云フ説明デアリマシタガ、サウソルト此ノ輸入ニ關シマシテ、現在特ニ聯合軍ノ方ニ要請スルナリ手ヲ打ツテ居ラレマスカドウカ

○笹山政府委員 燃料、綿絲「マニラ」麻等ニ付キマシテハ、ソレハ、終戰連絡事務局ヲ通ジテ、聯合軍ノ方ニ要請致シテ居リマス

○岡田(啓)委員 其ノ不足ノ數字ハドウ位デアリマスカ

○笹山政府委員 是ハ私共先程申上ゲタヤウニ、十二億圓ヲ目標ニ致シテ、色々數額ヲ研究致シテ居リマス、隨ヒマシテ是等ノ燃料、棉花其ノ他ニ付キマシテハ、商工省一般ノモノト一緒ニナツテ、實ハ申請シテ居ルヤウナ狀況デゴザイマス、其ノ數額ニ付キマシテハ、先程申上ゲタヤウニ私共十二億圓ヲ目標ニスル場合ニ必要ナル所ノ數額ヲ目標ニスル、御承知ヲ願ヒマス

○岡田(啓)委員 先刻御話ニナツタ數額ハ所収數額ヲ仰シヤツタノデハナイノデスカ、輸入ヲ要請サレタ數額トハ違フノスデカ

○笹山政府委員 ソレハ標準ニ致シマシテ、輸入ヲ要請致シテ居ル譯デアリマス

○岡田(啓)委員 其ノ點ドウモ分ラヌノデスカ、十二億圓ヲ前提トシテ要請サレテ居ルト云フコトハ分リマスケレドモ……

○補見政府委員 全體ノ問題デアリマスカラ、便宜私カラ御答へ申上デマス、御承知ノヤウニ聯合軍ニ對シマシテ輸入ヲ要請致シテ居リマスノハ、特ニ先方側カラノ要請モアリマシテ、個々ノモノニ限ラズ、全體ノ計畫ヲ示セ、サウシテ又其ノ全體ノ輸入ニ應ジテ見返リ物資ノ計畫ヲ出セ、斯ウ云フヤウナ要請ガアルノデアリマス、ソコデ現在出シテ居リマスノハ石炭、鐵礦石、鹽、非鐵金屬、石油類、此ノ石油類ノ中ニハ勿論重油カラ揮發油、輕油、潤滑油、原油モ入ッテ居リマスガ、サウ云フモノヲ含メテ石油類ト致シテ居リマス、ソレカラ只今問題ニナツテ居リマスル漁網關係ガ特ニ重大ナ關係ノアリマス棉花、サウシテ其ノ以外ニ是ハ食糧トシテ一番重要ナ穀類、ソレカラ砂糖、油脂類、肥料關係デ鐵礦石、飼料大體斯ウ云フヤウナモノヲ中心ニ致シマシテ要求致シテ居ルノデアリマス、ソコデ只今御尋ネノ石油類デアリマスガ、一應現在計畫シテ向フヘ出シテ居リマスノハ、來年ノ第二四半期即チ九月マデノ要輸入數並ニ致シマシテ、先程申上デマシタヤウニ石油ノ中ニ於テモ色々區別ハゴザイマスガ、總計致シマシテ六十五萬三千「キロ」ヲ要求致シテ居ルノデアリマス、隨テ此ノ輸入サレマスル石油ノ中デ、勿論現在ノ情勢カラ申シマス食糧ガ一番大事デアリマス、ソコデ輸送關係並ニ食糧ト致シマシテハ、水運關係ニ特ニ重點ヲ置イテ配分ヲ定メル、斯様ニ我々ハ承知致シテ居ルノデアリマス、又今マデノ軍ノモノヲ民ニ轉換シタ場合ノ配分ノ行キ方、或ハ終戦後ノ石油ノ配分計畫ニ於キマシテモ、常ニ輸送ト水運物ト云フモノガ第一順位デ、アトハ順

逆リテ賄フテ行ク、斯ウ云フコトニナツテ居リマスノデ、先程水產局長カラ御説明申上デマシタ水產物ノ増産上ノ油ノ輸入ガ確保サレマスレバ、著シク其ノ狀況ハ好轉致スモノト考ヘテ居ル次第デアリマス、棉花ノ方モ全體デ申シマスガ、第三四半期マデノ總計ヲ見マス、十八萬「ピタル」ヲ要請致シテ居ルノデアリマス、此ノ方ハ勿論一般ノ生活必需物資トシテノ衣料ト云フコトモ考慮致シテ居リマスルガ、同時ニ又漁業用水產物ノ資材トシテノ棉絲ノ給源ト云フ方面ニモ相當増シ得ルモノト、斯様ニ考ヘテ居ル次第デアリマス

○岡田(啓)委員 漁船ノ操業ニ付キマシテハ、農林聯合司令部ノ命令ニ依リマシテ、總「トン」數百「トン」未満ノ漁船ハ沿岸カラ沖合ノ最大距離ガ五百「キロ」マデハ出漁出來ルコトナツテ居リマスカラ、先ツ沿岸漁業ヤルノニハ一應事ヲ缺カヌノデハナイカト思フノデアリマスアレドモ、何レニ致シマシテモ四面ニ海ヲ持ツテ居リマスル日本ノ海面ニ於キマスル出漁許可區域即チ操業區域ガ兎ニ角制限ヲサレテ居ルト云フコトデアリマシラ、隨ヒマシテ從來日本漁業ト致シマシテ露領沿海州或ハ千島、「カムチャツカ」方面ノ北洋漁業ヲ初メト致シマシテ、支那海、南洋方面ノ漁業ト云フモノヲ喪失致シタ結果ト相成ツテ居ルノデアリマス、隨ヒマシナ我々國ノ漁場ハ戰前ニ比シテ著シク狹隘トナリ、爲ニ其ノ打擊モ大キイト見ナケレバナラヌノデアリマ

スガ、政府ハ聯合軍ニ對シマシテ、是等ノ喪失漁場ニ對スル出漁ノ懇請ト云フヤウナコトヲオヤリニナツテ居ルカ、今漁業用資材ニ付キマシテハ、色色ノ手ヲ打ツテ居ラレルト云フコトヲ御説明ヲ承シタノデアリマスガ、制限區域外ノ漁業ト云フモノニ對シマシテ、出漁懇請許可ノ要請ト云フコトニ對シテ、何カ手ヲ打ツテ居ラレマスルカ、何レニ致シマシテモ、私ハ今日ノ需要ヲ補フ爲メ水產物ヲ増産スル、漁獲ヲ増強ヘルコトガ何ト申シマシテモ必要デアルト思フノデアリマス、隨ヒマシテ許サレタ區域内ニ於ケル漁業ヲ十二分ニテラナケレバナラヌ、即チ定置漁業、機船底曳網漁業、或ハ揚網漁業即チ巾着網漁業ヲ大ニニヤツテ、此ノ生産ヲ確保シナケレバナラヌト云フコトガ、當面ノ最も重要ナル問題デアリマス共ニ、更に進ンデ許可區域外ニマデモ進出ヲスル必要ガアルノデハナイカト云フ風ニ考ヘテ居ルノデアリマス、是等ノ點ニ對シマシテ、何カ手ヲ御打チニナリマシタカドウカ、仄聞スル所ニ依リマスルト、「アメリカ」ノ太平洋艦隊司令長官ノ「スブル」アンス」提督ハ、日本ノ食糧ノ不足ノ實情ヲ諒致シマシテ、其ノ一助トシテ捕鯨漁業ナドニハ許可スルニ至ツタト云フ風ノコトモ聞クノデアリマス、併シ私ハ確ナルコトヲ存ジナイノデアリマスガ、是ハ事實デアルカ、此ノ點モ併セテ御伺ヒ致シマス

○笹山政府委員 只今操業區域ノ制限ニ依リマシテ、從來ノ水產業ガ相當ナ影響ヲ受ケテ居ルト云フヤウナ御話ガアリマシタガ、全ク其ノ通りデゴザイマス、北洋、支那海及ビ南水洋其ノ他南西方面ニ於キマシテ、從來相當ナ漁獲ガアツタノデゴザイマスルガ、現在是等ノ海域ハ總テ許可區域外ニアルノデゴザイマス、是等ノ區域外ニ出漁スルコトニ付キマシテハ、私共トシマシ

テ出來得ル限り日本ノ食糧ノ事情ヲ傳ヘマシテ、好意アリ援助ヲ受ケルヤウニ、實ハ交渉致シテ居ルノデゴザイマス、船ノ準備ガ付キ次第、又操業ノ實行ガ現實ニ於テ可能ナル範圍ニ於キマシテハ、出來ルデケ是等ノ海域外ニ於テモ出漁ガ出來ルヤウニ、今後トモ懇請ヲ致シテ參リタイト思フテ居ルノデゴザイマス、實ニ先般冬期間ノ捕鯨ノ中心ガ小笠原方面ニアリマスル關係上一月カラ三月ニ掛ケマシテ、是非小笠原島方面ニ於キマスル所ノ捕鯨ニ付キマシテ許シテ戴キタイト云フコトデ懇請ヲ致シテ居タノデアリマスガ、之ニ對シマシテ先般聯合軍カラ正式ニ許可ノ指令ガアリマシタ、當業者ハ出漁ノ準備ヲ目下進メテ居ルヤウナ次第デゴザイマス、一寸速記ヲ止メテ下サイ

○北委員長代理 速記ヲ止メテ下サイ

(速記中止)

○北委員長代理 速記ヲヤツテ下サイ

○岡田(啓)委員 次ニ私ハ水產物ノ集出荷、配給ノ點ニ付テ聽キタイノデアリマス、生鮮食料品、是ハ野菜モ鮮魚類モ含ムノデアリマスガ、之ニ付キマシテハ農林統制ガ擴張サレタノデアリマス、所謂九公ノ枠ガ擴張サレマシテ、價格面ニ於キマシテ自由ト相成リマシタ、其ノ後ノ狀態ヲ見テ居リマスト、是ハ勿論過渡期ノ現象デモアルト思ヒマスガ、相當混亂狀態ヲ呈シテ居リマス、殊ニ消費地ニ於キマスル魚價ハ、一般ニ比シテ非常ニ高クナリマシタ、消費者ノ負擔能力即チ購買力デハ、買ツテ食ヘルコトカ出來ナイ所ノ消費者モ相當多數ニアルト思フノデアリマス、當局ハ此ノ價格ノ調整ニ付キマシテ、何カ對策ヲ御考ヘニナツテ居リマスカドウカ、自由價格ダカウ此ノ

儘自然ノ推移ニ飽ケマデモ放任サレルトアルカト云フヤウナコトニ付テ、御伺ヒシタイト思ヒマス

○笹山政府委員 統制擴張後ノ鮮魚介類ノ集出荷ノ狀況並ニ價格ニ付キマシテハ、今御話ノアツタ通りデアリマシタ、價格ノ面ニ於キマシテハ、非常ニ高クナツテ居ルノデアリマス、大體「通産」シテ見マス、例外計可價格ノ最高ノ二十倍ニ達シテ居ルヤウナ狀況デゴザイマシテ、是等ノ問題ニ付キマシテハ、我々トシマシテハ出來ルデケ安イ價格、以テ消費者ニ配給スルト云フコトヲ希望シテ居ルヤウナ狀況デゴザイマスガ、何分ニモ現在ノ狀況ヲ以テシテハ、十分ニ參リ兼ヘル事情ニアルノデゴザイマス、ソコデ此ノ價格ノ問題ニ付キマシテハ、ドウシタラ安ク行カト云フコトニ付キマシテ、實ハ統制擴張後ニ於ケル集出荷ニ對スル措置トシマシテ、地方長官ニ指導シタノデゴザイマス、ソレハ二箇月毎ニ荷受機關、出荷機關、ソレト「業者」ノ統制協議會ヲ設ケマシテ、ソレト「水準」價格ヲ設ケマシテ、ソレニ依ツテ取引スル、又出荷先ニ付キマシテモ、ソレ等ノ協議會ヲ中心ニ統制シテ參ルト云フヤウナコトデ、指導サシテ居タノデアリマスルガ、ソレハ中々徹底シナイ向キモアリマスノデ、又一方消費地方面ニ於キマシテハ、入札賣或ハ競賣等ヲ實施致シマシタ結果、非常ニソレガ暴騰シマシテ、結局賣地ノ値段ガ高メタト云フヤウナ實際ノ問題モアリマ

尙ホ價格ノ基礎ニ依リマシテ、從來ノ
手數料率、小賣機關等ノ手數料率ガ、
現在ニ於テハ非常ニ高クナリ過ギテ居
ルヤウナ傾向モアリマス、是等ノ
價格ヲ現在ノ魚價ニ應ジテ、相當程度
ニ引下ゲヨウト云フヤウナ措置モ先般
致シタ次第デアリマス、何レニ致シマ
シテモ、法律ノ統制ガナクナリ、法
規ノ面ニ於テ之ヲドウスルト云フコト
モ出來マセヌノデ、結局出荷者、荷受
者雙方ノ理解アル自主ノ統制ニ俟タナ
ケレバナラスト考ヘルノデゴザイマ
ス、併シナガラ實際問題トシマシテ、
一般ノ經濟狀況、殊ニ購買力ガ相當各
方面ニ高マツテ居リマスノチ、之ヲ從
來ノヤウナ低價格ヲ抑ヘルト云フコ
トハ、中々困難デアリマスガ、我々ト
シマシテハ、出來ルダケ消費者ニ御迷
惑ノ掛ラナイ、而モ又生産者ニ迷惑
ノ掛ラナイ合理的ナ値段ニ依ツテ取引
スルヤウニ致シタイト考ヘテ居リマ
ス、其ノ一ツノ手段トシマシテハ、ド
ウシテモ自主ノニヤレト申シマシテ
モ、ソコニ利害關係ガアリマスノデ、
中々勵行サレナイ嫌ヒモアリマス、又
一方産地カラ市場ニ出スヨリモ、其ノ
他ノ方面ニ出シタ方ガ有利デアルト云
フヤウナ點モアリマスノデ、結局市場
ヲ通シテノ出荷配給ト云フコトガ非常
ニ出來難イト云フ事情ニアリマス、隨
ヒマシテ是等ノ出荷機關ガ、自主ノ統
制ガ出來得ルト云フ爲ニ或ル種ノ
裏打ヲソコニ致サナケレバナラヌノデ
ハナイカト云フ風ニ考ヘテ居リマス、
換言スレバ自主ノ統制ガ出來ルヤウ
ニ、或ル方面ニ於テ利害關係ヲ一致サ
セルト云フヤウナコトニ付キマシテ考
ヘテ居ルヤウナ次第デゴザイマスガ、
其ノ一ツノ手段トシマシテ、今後配給

サルベキ所ノ油、網等ノ資材ニ付キマ
シテモ、出荷「リンク」シタモノニ致
シタイト考ヘテ居ルノデゴザイマス、
即チ配給サレタ油ガ結局市場性アルモ
ノトシマシテ統制ノ自主ノ統制ノ面ニ
現ハレテ來ルヤウニ出荷サレルヤウ
ニ、ソレニ依ツテ實施シタイト云フ風
ニ致シテ參ル、今後ノ價格ノ面ニ於キ
マシテ、又配給先、配給數量ノ面ニ於
キマシテ自主ノ統制ガ出來易イヤウ
ニ、價格ノ面ニ於テヤツテ行ク積リデ
アリマス

○岡田(啓)委員 御話能ク分リマシ
タ、所デ生鮮魚介類ニ對シマシテハ丸
公ヲ外シタノデアリマスガ、水産製品
ニ付キマシテハ、所謂官治統制ト申シ
マスガ、從來ノ統制ガ存續シテ居ル
ノデアリマスガ、是ハ片方ガ生鮮食品
ダカラ取外シテ、其ノ製品ハ取外サナ
イト云フノデアリマス、是ハ今後トモ
尙ホ統制ハ持續セラレル御考ヘデアリ
マスガ、又水産製品ニ對スル價格ニ付
キマシテハ、ドウ云フ御考ヘヲ持ツテ
居ラレマスガ、此ノ點ヲ一ツ

○笹山政府委員 水産ノ加工品ニ付キ
マシテハ、只今ノ所鮮魚ノヤウニ統制
ハ實ハ撤廢致シテ居ラナイノデアリマ
ス、是ハ實ハ其ノ原料デアル所ノ鮮魚
介ガ値段モ配給關係モ法律ノ統制ヲ
撤廢サレマシタノニ鑑ミマシテ、今後
是等ノ水産加工品ノ配給關係ニ付キマ
シテモ、官治ノ統制ガ法律ノ統制
ガ困難デハナイカト云フ風ニ考ヘテ居
リマス、況シテ原料ノ價格ガ非常ニ區
ニナツテ居ル、隨テソレニ依ツテ製
造サレルモノモ、一ツノ價格デ以テ統
ツテ行クト云フヤウナコトハ、實際問
題カラシテモ無理デアリマスノデ、是
等ノ水産加工品ニ付キマシテハ、現在

ノ所デハ例外價格ヲ大幅ニ認メマシテ、
取引サレテ居ルノデアリマスガ、今後
ハ出來ル限リ速カニ是等ノ價格ニ付テ
モ考慮サセナケレバナラヌト思ツテ居
リマス、尙ホ是等ノ水産加工品ノ問題
ニ付キマシテハ、其ノ外ニ色々企業整
備當時ノ關係モアリマシテ、直ぐ撤廢
サレルト一部ニ又相當ナ打擊ヲ蒙ル面
モ出テ來マスルノデ、ソレ等ノ行政
ニ付テモ傍ラ考ヘテ行カナケレバナラ
イト云フコトデ、現在ソレ等ノ具體的
案ニ付キマシテハ、研究中デアリマス、
方向トシマシテハ將來價格ニ付キマシ
テモ、配給ニ付キマシテモ、法律ノナ
統制ト云フモノヲ廢メマシテ、自治的
統制ニ依ラレル方向ニ進ミタイト思ツ
テ居リマス

○岡田(啓)委員 先般御話ニナツタカ
ト思ヒマスルガ、所謂自治的統制ニナ
リマシテ、現在デハ集出荷機關ヲ通シ
テ消費市場ニ出ル分益ガ非常ニ減ジテ
來タト云フ實情デアルト思ヒマス、サウ
シテ所謂生産地市場處分サレ販賣サ
レル傾向ガ多分ニアルノデアリマス
ガ、自治的統制ヲヤル裏付ト致シマシ
テ、私ハ重要資材ノ配給ニ當リマシテ
ハ、水産業團體トノ結付キヲ持タセル、
言ヒ換ヘマスルナラバ、水産業團體ト
云フ機關ヲ通シテ重要資材ノ配給ヲヤ
ル、即チ出荷成績ヲ良好ナラシムル爲
ニサウ云フ方法ヲ執ルコトガ必要デ
アルト思ヒマスルガ、此ノ點ニ對シテ
ハ如何ニ御考ヘニナツテ居リマスガ

○笹山政府委員 自治的統制強化ノ方
法トシマシテ、資材ノ配給ニ付テ水産
團體ニ御願ヒスルト云フコトニ付キマ
シテハ、私モ其ノ通り考ヘテ居リマス、
從來トモ水産業團體ヲ通ジテ資材ノ配
給ハ致シテ居ツタノデアリマスガ、今

後ヤハリ自治的統制ノ主體、根幹トシ
マシテ水産業團體ガ活動スル譯デアリ
マスガ、資材ノ配給ニ付テモ全面的
ニ御願ヒ致シタイ、斯ウ考ヘテ居リマ
ス

○岡田(啓)委員 此ノ團體法ノ改正
ハ、申スマデモナク水産業團體ノ自治
的活動ノ促進ヲ期スルト共ニ、役員制
度ヲ改正サレマシテ、官治統制カラ自
治的統制ニ移ルト云フコトヲ骨子トシ
テノ改正デアリマシテ、是ハ今日當然
ノコトト思フノデアリマスルガ、其ノ
點團體法ノ改正ノ中ニ入ツテ居リマ
セヌガ、現行團體法ノ第三條ニ「水産
業團體ハ行政官廳之ヲ監督ス」ト斯ウ
ナツテ居ルノデアリマス、既ニ自治的
統制ニ移行シマスル以上ハ、此ノ行政
官廳ノ監督ノ範圍ハ、水産業會等ノ會
則ノ制定ノ認可トカ、又ハ四十七條ニ
規定致シテ居ル決議又ハ役員等ノ行爲
デ、法令又ハ會則ニ違反シタ行爲ニ對
スル監督ト云ツタヤウナコトガ規定サ
レテ居ルノデアリマスガ、サウ云フ
點ニ限定サレマシテ、行政官廳ノ一般
的ナ監督ナドハ御廢メニナツタラ宜イ
ノジヤナイカト云フ風ニ私考ヘルノデ
アリマス、即チ第三條ノ一般監督ノ規
定ハ寧ろ御廢メニナツタ方ガ宜イノジ
ヤナイカト云フ風ニ思フノデアリマス
ガ、此ノ點ニ付テ御所見ヲ伺ヒタイト
思ヒマス

○笹山政府委員 實ハ水産業團體ノ民
主化ニ依リマシテ、水産業團體ハ今後
ハ本當ニ會員ノ意思ニ依リ自由闊達ナ
活動ヲスルト云フコトガ本體デアラネ
バナラヌト思フノデアリマス、唯現實
ノ問題ト致シマシテ、水産業團體ニハ
良イ團體モアリマスルケレドモ、ヤハ
リ今後育成シナケレバナラヌ所ノ、

所謂育成途中ノ團體ガ相當アルノデハ
ナイカト云フ風ニ考ヘマス、實ハ此處
ニ畫イテアリマス監督ト云ヒマシテ
モ、決シテ色々ナ製肘ヲスル趣旨カラ
出來テ居ルノデアリマセヌデ、結局
育成シテ鞏固ナル本當ノ力ヲ持ツタ團
體ニ致シタイ爲ノ監督ヲ主ニシテ居ル
ノデアリマス、又是等ノ團體他ノ面
トノ關係、經濟的ナ關係、又組織員ト
團體ソレ自體トノ關係ニ付キマシテ
モ、ヤハリ公的ノ見地カラソレノ指
導シナケレバナラヌ面モ、或ハアルノ
デハナイカト思ヒマスガ、我々ト致シ
マシテハ、出來ルダケヤカマシ監督
ト云フモノハ廢メマシテ、結局將來水
産業團體ガ立派ナモノニナルヤウニ育
成シテ行キタイ、其ノ育成ヲシテ行ク
上ニ御注意申上グベキ所ハ申上ゲテ、
オ互ヒニ立派ナモノニナリタイト云フ
意味ニ之ヲ解釋スル次第デアリマス、
隨ヒマシテ從來色々喧シヤウナ規定
ヲ此ノ改正ノ機會ニ削除致シテ居ルヤ
ウナ次第デゴザイマス、左様御諒承願
ヒマス

○岡田(啓)委員 今御話ノ通り監督ノ
名ニ依ツテ、所謂監督ヲスルト云フコ
トヨリモ、指導ニ重點ヲ置カレタ監督
デアリタイト云フ、左様ナ御趣旨デア
ツタト承致シマスガ、希望致シテ置
キマス

次ニ私ハ法案ノ末尾ニアリマス附則
第二條第一項中、「改正規定ニ依ル
最初ノ理事ノ選任ハ命令ヲ以テ定ムル
期間内ニ之ヲスベシ」トアルノデアリ
マスガ、命令ヲ以テ定ムル期間ト云フ
ノハドノ位ノ期間ヲ決定サレテ居リマ
スルカト云フコトト、尙ホ自主的ニ役
員ノ選任、選舉等ヲヤルコトニ相成ル
ノデアリマスガ、是ハ下級ノ組織デア

第六期第三號 農林部法律中改正法律案外一件委員會彙錄 第四回 昭和二十年十二月十二日

五五

漁業會カラ地方ノ水産業會、更ニ中央水産業會ト云フ風ニ選舉ヲシテ行クコトデアラウト推察スルノデアリマスガ、サウ云フ御考ヘデアリマスカ、何時マデニ是等ノ自主的ノ選舉ヲ完了サセル御考ヘデアリマスカ

○笹山政府委員 最初ノ理事ノ選任ニ付キマシテハ、此ノ法案ガ通過致シマスレバ、出來ルダケ早イ機會ニ於テ實ハヤリタイト思ヒマス、何月ヤルト云フ具體的ナコトハ只今實ハ確定セテ居リマセヌガ、出來ルダケ速クニヤリタイト思ツテ居リマス、尙ホ此ノ選任ニ付キマシテハ、御話ノ通り單位漁業會ヲ先ヅ最初ニ御願ヒシマシテ、ソレカラ縣ノ水産業會、ソレカラ中央ノ水産業會、斯ウ云ツタ順序ニ依ツテ進メラレルト思ヒマス

○岡田(啓)委員 期間ノ豫定ガナイト仰シヤルガ、ドウセ自主的ニ早クヤルト云フコトデアリマスカラ、大體ノ目安ヲ御持チニナラナケレバナラス、單位團體、ソレカラ府縣ニ來ル、最後ニ中央ニナルノデアリマスガ、全部ガ完了スルノハ大體下ノ位ノヤウニ御考ヘニナツテ居リマスカ、是ハ農業團體ノ關係モアルノデアリマスケレドモ、參考ニ承リタイト思ヒマス

○補見政府委員 農業團體ノ方ノ順序ヲ申上ゲテ見タイト思ヒマス、是ハ色色ノ要求カラ致シマシテ、實ハ出來ルダケ早ク選舉ヲスルヤウニト云フヤウナ要請モ一部ノ方カラアルノデアリマス、併シ私共ト致シマシテハ、選舉ヲ致シマスル場合ニ色々選舉ノ規定ヲ用意シナケレバナラナイノデアリマスカ、其ノ内容ト致シマシテハ、選舉人名簿ヲ作ルトカ、其ノ他モ出來ルダケ簡略ニ致シタイト考ヘマスガ、サウ

云フ實際ノ手續上ノ準備ノ問題ガアリマス同時ニ、農業關係ニ於キマシテハ水産ト異ナリマシテ、特ニ御承知ノヤウニ現在供出ノ真最中ニアル譯デアリマシテ、而モ明年一月ニハ恐ク總選舉モアル、斯ウ云フコトニナリマス

ト、農村トシテハ混亂ト申シマスカ、忙シイコトニナリマスノデ、農業團體ノ方ハ大體斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス、市町村農業會ノ方ハ大體三月末マデニ選舉ヲスル、隨テ供出モ完了シ、或ハサウ供出ニモ大シタ影響モナク、又選舉ノ方ノ準備モ出來ルト云フ所ハソレマデニヤツテ戴イテ結構デスカ、終期ハ三月末マデニ市町村ノ選舉ヲスルヤウニシ、ソレカラ先ハ出來ルダケ早クヤリタイト考ヘテ居リマスガ、現在ノ所デハ市町村ノ選舉ガ済ミマシテ、ソレニ選バレタ會長サシ方道府縣ノ理事、幹事ヲ選任セラルレバ譯デアリマスカラ、大體一月位ノ餘裕ヲ置イテ、四月末マデニト云フ風ニ大體考ヘテ居リマスガ、尤モ是ハ或ハ其ノ半分ノ十五日間位ノ間ニ道府縣ノ方ヲ選任スルコトニシタラドウカト云フヤウナ意見モアリマスノデ、此ノ一月ニスルカ、半月ニスルカト云フ點ハ、皆様方ノ意向ヲ聽イテハツキリ致シタイト考ヘテ居リマス、一應私ノ頭ニアリマス

ノハ、道府縣ノ方ハ四月マデ、サウシテ完了シタラ、後全國ノ農業會ノ理事及ビ監事ヲ選任スル、結局今ノ豫定デアリマス、五月ノ初メニ全國ノ役員ガ選任セラル、斯ウ云フコトニナル譯デアリマスガ、先程申上ゲマシタヤウニ、道府縣ノ選任ヲ十五日程度ニ止メマス、當然四月中ニ全國ノ役員モ選任サレル、斯ウ云フコトニナル譯デアリマス

○笹山政府委員 水産業團體ノ役員ノ改選ニ付キマシテハ、大體單位業會ニ付テハ三月一パイ、ソレカラ府縣團體、中央團體ソレト一箇ノ間ノ仁裕ヲ以テアル積リデアリマス

○岡田(啓)委員 總務局長ノ答辯デ能ク分リマシタガ、極メテ細カイトコデスガ、私過日郡支部ニ關シマスル農業團體ノ規定ガ削除サレタルト云フコトニ對シテ質問致シタノデアリマス、其ノ點ヲ、所 此ノ法文カラハ削除シタケレドモ、自主的ニ設置スルコトガ現下ノ實情ニモ適スル譯デアリシ、其ノコトヲ而モ望ミ居ルト云フ答辯ヲ受ケテ、能ク諒解シタノデアリマス、現在デハ支部ニ於キマス支部長ハ理事ヲ以テ充テルトコトニナツテ居リマスガ、今後ハ自主的ニ必要ガアレバヤルノデアリマスカラ、支部ノ役員或ハ其ノ他ノ職員ヲ以テ其ノ支部ノ設置致シマシタ際ニ支部長トスル、是レ亦自主的ニ決定サレ問題ト思ツテ居リマスガ、サウ云フ解釋テ宜シウゴザイマス

○補見政府委員 御述ベニナリマシタ通りデアリマス、隨テ四月ニ入ツテ道府縣ノ理事ヲ選任致シ場合ニ、現在郡支部ハ道府縣農業會ノ理事ニナツテ居リマスカラ、ソレ等ノ人ト併セテ理事ノ候補置イテ置キマスレバ、之ヲ同時ニ併セテ選任スル、斯ウ云フコトニナリマス

○岡田(啓)委員 私人臣ニ對シマシテ質問スル事項ヲ保留致シマシテ質問ヲ終リマス

○北議員長代理 眞藤君 ○眞藤委員 水産ニ關スル質問ヲ致シタイト思ヒマス、第一ニ水産業ニ於ケル生産者ノ協同組織ヲ確立スル爲ニ

ハ、現下ノ新情勢ニ即シタ觀點カラ、新規ノ法律ヲ用意スベキデナカッタカト思フノデアリマス、水産業團體法ハ漁業法ノ中ノ漁業組合ニ關スル規定ト水産會法ヲ統合シ、之ニ戰時統制ノ理念ヲ感込シテ複雜ナ法律デアリマスルカラ、其ノ一部ヲ改正シタダケデハ、現下ノ要請ニ副ヒ得ナイモノガ多イノデアリマス、更ニ海洋漁業ニ對スル統制ガ廢止セラレタバカリデナク、現在所謂海洋漁業ナルモノハ毀滅狀態ニ置カレテ居リマスガ、將來漁村ニ於ケル企業力ガ強化サレテ來マス、漁村ヲ足場トスル新海洋漁業モ漸次勃興ヲ見ルモノト考ヘラレルトデアリマス、隨

テ今後ニ於テハ海洋漁業ハ總テ此ノ團體法ニ依ツテ處理スベキモノト思フノデアリマス、是等ノ事情カラスレバ、漁村ニ限ラズ、全水産業ノ協同體ヲ確立スル爲ニ、新タナ觀點カラ新規ノ組織法ヲ制定スベキデハナカッタカ、又近イ將來ニ制定スル爲ノ準備ヲ進メテ實ヒタイノデアリマスガ、之ニ對スル御所見ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○笹山政府委員 只今水産業團體ノ民主化ニ付キマシテ、現行法ノ改正ダケデハ物足ラナイト云フ御質問デアリマシタ、將來海洋漁業ニ含メタ大キナ意味ノ團體、而モ民主化サレタ團體トシテ考ヘナケレバナラナイト云フ御説デゴザイマスガ、私共同様ニ考ヘテ居ルノデアリマス、唯現在ノ狀況カラズレバ、水産業團體ニ付キマシテ、之ヲ海洋漁業ト同ジ團體ノ中ニ入レテ自主的ナ團體ニシタガ宜イカドウカ、ソレ等ノ點ニ付キマシテハ、尙ホ研究ノ餘地ガアルノデハナイカト思ヒマス、唯海洋漁業者ト沿岸漁業者トハ、非常ニ密接ナ關係ヲ持ツテ居リマスルノデ、

是等ノ兩面ガ調整ヲ取ツテ、ソレトノ分野ノ上デ發展シテ行クコトヲ希望シテ居ルノデアリマス、是等ノ水産業團體ガ、今度ノ改正デ以テドウシテモイカスト云フ點ガアリマシタ場合ニ於キマシテハ、今後團體法ノ海洋漁業ヲ含メタモノト一緒ニナツタ所ノ團體トシテ、ドウ取扱ツテ行クカト云フコトニ付キマシテ、其ノ時ニ於キマシテ實ハ研究シテ參リタイ積リデ居リマス、尙ホ此ノ改正サレタ團體ノ運営並ニ其ノ實施ニ付キマシテハ、能ク注意致シマシテ、改正ノ目的ガ立派ニ果サレルヤウニ指導シテ參リタイト考ヘテ居リマス

○眞藤委員 第二ニ漁業會ニ於ケル漁業ノ自營ニ關スル問題デアリマス、水産ハ新日本ヲ建設シテ行ク上ニ於テ、色々ノ使命ヲ負ツテ居ルノデアリマスガ、適當ツテハ食糧問題ノ解決ニ關スル大キナ使命ヲ分擔シテ居ルノデアリマス、此ノ大使命ヲ遂行スル爲ニハ、漁利ニ於ケル生産力ヲ出來ルダケ増強スルコトニ努力スルコトガ必要デアルコトハ勿論デアリマス、即チ其ノ具體的方法トシテハ、漁業會ニ對シテ積極的ニ漁業ノ自營ヲ許シ、漁業生産ノ集約化及ビ能率化ニ依ツテ生産ノ増強ヲ圖ルベキデアリマス、現行法ニ於テモ漁業會ニ於ケル漁業ノ自營ヲ認メル規定ハアリマスガ、行政官廳ノ許可事項ニナツテ居リマス關係上、慣行的ニ漁業會デ自營シタ來タ簡單ナ漁業ノミニ限ラレテ、積極的ニ漁業ニ付テハ許可ヲ與ヘナイ方針アツタヤウデアリマス、隨テ自營ニ付テハ許可規定ハアツテモ、事實ハ自營禁止ノ狀態ニ置カレテ居ルノデアリマス、漁業會ニ漁業ノ自營ヲ積極的ニ許サナイノハ漁業經營

ニ失敗シタ場合、經濟的ニ漁業會ノ基
礎ヲ危クスト云フヤウナ考ヘ方ニ基
イテ居ルヤウデアリマスガ、今日ノ漁
業會ハ昔ノ漁業組合ト比較シテ餘程進
歩シテ居リマス、漁業自營ニ付テノ實
力モ相當ニ持ツテ居ルと思ヒマス、漁
村ノ振興ヲ圖リ、水産業ノ劃期的ナ發
展ヲ期スル爲ニハ、漁村ノ自體ニ於
ケル企業力、或ハ漁業經營上ノ實力ヲ
高メテ行クコトガ肝要デアリマスガ、
斯様ナ考ヘ方カラシテモ、漁業會ニ於
ケル漁業ノ自營ハ寧ろ積極的ニ之ヲ奨
勵スベキモノト考ヘルノデアリマス、
之ニ對スル政府ノ御考ヘヲ承リタイ
思ヒマス

○笹山政府委員 只今御述ベニナリマ
シタ漁業會ノ自營ノ點デゴザイマス
ガ、從來御説ノ通り、割合ニ此ノ點ニ
付キマシテハ、行政官廳トシマシテ消
極的ナ取扱ヲシテ居ツタヤウナ傾向ガ
アルノデゴザイマス、併シナガラ漁業
會ノ實力モ段々付イテ參リ、又是等ノ
協同體ヲ中心ニシマシテ本來ノ漁業ニ
乗出ス、積極的ニ水面ノ開發ヲ進メル
ト云フコトハ、我々トシテ最も望マシ
イコトデアリマスノデ、現在アリマス
ル所ノ制限ニ付キマシテハ、極力之ヲ
緩和シテ參リタイ方デアリマス、尙
ホ今後は等ノ自營ニ付キマシテハ、色
色具體的ナ場合ニ付テ判斷シナケレバ
ナラヌ點ガ多クアルト思フノデゴザイ
マスガ、唯抽象的ニ良イト言ヒマシテ
モ、ヤハリ其ノ時ノ其ノ團體ノ實力ナ
リ、其ノ他經濟的事情並ニ全員ノ操業
トノ關係、是等ヲ關聯シテ考ヘテ行キ
タイト思ヒマス、方針トシマシテハ、
從來ノ制限ヲ緩和シマシテ、出來ル
ケ積極的ニ乗出シテ戴クト云フ方向ニ
向ツテ進ミタイト思ヒマス

○眞藤委員 ソレカラ第三ニ地方水産
業會並ニ中央水産業會ニ對シテモ、漁
業ノ自營ノ途ヲ開クベキデハナイカト
思フノデアリマス、比較的大規模ノ漁
業ニ付テハ、之ヲ區々ノ漁業會ニ自營
セシムルコトハ、不適當ナ場合モアリ
得ルト思フノデアリマス、此ノヤウナ
漁業ニ付テハ、地方ノ水産業會、又ハ中
央水産業會ニ於テ、直接其ノ經營ニ乘
出スベキガ妥當デハナイカト存ズルノ
デアリマス、將來ノ水産業ヲ考ヘル時
ハ、其ノ程度ノ積極性ハ是等ノ上部團體
ニ附與スベキデアルト思フノデアリマ
シテ、此ノ點ニ付テ改正案ハ何等ノ考
慮モ拂ハレテ居ラナイヤウデアリマ
スルガ、何カ御考ヘガアリマセウ
カ、一寸伺ヒタイト思ヒマス

○笹山政府委員 今御話ノアリマシタ
地方ノ水産業會、中央水産業會ニ對シ
マシテ漁業ノ自營ヲ認メ規定ニ付キマ
シマスガ、實ハ現在ノ規定ニ付キマ
シテハ、其ノ點ハ解釋ニ付テ色々議論
ノアルコトモ聞イテ居ルノデゴザイマ
ス、併シナガラ我々トシマシテハ、地
方ノ水産業會、中央ノ水産業會、ソレ
ゾレ此ノ法律ニ目的、事業ガ掲ゲテア
リマス、此ノ範圍内ニ於キマシテハ、
漁業ノ自營ノ場合ニ依ツテハオヤリニ
ナルト云フコトニ付キマシテハ、何等
差支ヘナイト考ヘテ居ル次第デアリマ
ス

居リマスル定置漁業權、區劃漁業權、
特別漁業權並ニ專用漁業權ノ中、僅カ
ニ專用漁業權ノミガ漁業會ニ其ノ所有
ヲ許サレテ、會員タル漁民ニ開放サレ
テ居リマスガ、他ノ三種ノ漁業權ハ、
特定ノ個人ニ獨占セラレテ居リマス
ノデ、多數ノ漁民ハ此ノ三種ノ漁業權
含マレル漁業ノ恩惠カラ閉出サレテ居
ルヤウナ關係ニアル者ガ多イと思ヒマ
ス、而モ此ノ三種ノ漁業權ノ對象トナ
ツテ居ル漁業ハ、何レモ漁獲高ガ多ク、
何レモ有望ナモノノバカリデアリマス、
其ノ有望ナ漁業ヲ一部ノ者ニ獨占
セシムルコトガ、今日ノ考ヘ方カラシ
テ、如何ニ不合理ナ制度デアルカハ、
此處ニ申上ゲルマデモナイト思フノデ
アリマス、故ニ地先海面ニ於ケル漁業
ハ、總テ之ヲ一般漁民ニ開放スベキデ
アリマシテ、此ノヤウナ積極的ナ方途
ヲ講ズルコトナクシテハ、漁民ノ生活
ヲ安定シ漁村ノ新シキ建設ヲ期待スル
コトハ出來ナイノデナイカト考ヘルノ
デアリマス、此ノ問題ハ農業分野ニ於
ケル耕地開放ノ問題ト同性質ノモノ
デアルト思フノデアリマス、即チ農業
分野ニ於テハ、農地調整法改正案ガ此
ノ議會ニ提出セラレ、永年地主ノ獨占
下ニアツタ耕地ガ開放サレヤウトシテ
居リマス、漁業權ニ付テモ是ト同ジ考
ヘ方ヲ以テ臨ムベキモノト信ズルノデ
アリマス、私ノ考ヘデハ漁業法ヲ改正
シ、總テノ漁業權ヲ漁業會ニ歸屬セシ
メテ、漁業會ガ中心トナツテ是ガ經營
ヲ管理シテ行ク制度ヲ確立スルコトガ、
今日ノ時代ニ最も相應シイノデハ
ナイカト思フノデアリマス、此ノヤウ
ナ意味ニ於キマシテ、政府ハ近キ將來
ニ漁業法ヲ改正ヲ斷行ナサル要ガアル
ノデハナイカト認メルノデアリマス

○眞藤委員 第四ニハ漁業權ノ開放ニ
關スル問題デアリマス、漁業權ニ關ス
ル問題ハ、本改正案ノ條項トハ直接關
係ハアリマセウガ、漁業會ノ健全ナル
發達ヲ圖リ、漁村ノ經濟的繁榮ヲ望ム
ナラバ、ドウシテモ漁業權ニ關スル問
題ノ解決ガ必要トナツテ來ルノデアリ
マス、御承知ノ如ク漁業法ニ規定シテ

ガ、御所見ヲ伺ヒタイト思ヒマス
○笹山政府委員 只今御話ノ漁業權ノ
問題デゴザイマスガ、私共トシマシテハ、
地先海面ノ利用、漁業開發ニ付キマシ
テハ、出來得ル限り之ヲ沿岸漁民ノ手
ニ依ツテナサレコトヲ希望スル者デゴ
ザイマス、從來定置漁業、區劃漁業ガ、
實ハ漁業會ノ手ヲ離レテ、他ノ一部ノ
人ニ獨占サレテ居ツタト云フコトハ、
是等ノ漁業ガ割合ニ資本ノ投資ガ相當
掛ルノト、ソレカラ斯ウ云ツタ企業ニ
付キマシテノ苦心ガ、一方ニ於テ相當
件ヲ云フヤウナ關係ニ於キマシテ、
漁業會ガ手ニ染メナカツタト云フコト
モ、場合ニ依ツテハアルト思ヒマス、
又斯ニ依リマシテハ、慣行ニ依ル所ノ
專用漁業權等ニ付キマシテハ、徒ラニ
權利ノ上ニ眠ツテ居テ、十分ナ利用開
發モ行ハレテ居ラナイト云フヤウナコト
モアリマスノデ、是等問題トシマシ
テハ、現下ノ情勢ニ即シマシテ、出來
ルだけ多數ノ漁民ニ使用ノ機會ヲ均等
ニ與ヘ、沿岸ノ都市方面ニ付テモ供給
ヲシテ參リタイトスウ云フ風ニ考ヘテ
居ルノデアリマス、隨ヒマシテ是等ノ
方針カラ考ヘ、現在ノ漁業法ガ果シテ
適當デナルカドウカト云フコトニ付キ
マシテハ、只今研究中デゴザイマス、
若シ改正ヲ必要トスルト云フコトデア
リマスレバ、其ノ點ニ付キマシテモ、
將來改正ヲ致シタイト考ヘテ居ル次第
デアリマス

○眞藤委員 第五ニ系統團體ノ自主的
統制ニ付テ御伺ヒタイト思ヒマシタ
ガ、先程岡田君ノ質問ニ對シテ漁價ノ
急騰致シマシタニ付テ、之ニ對スル對
策トシテ、先程水產局長カラ御答辯ガ
アリマシタノデ繰返サヌコトニ致シマ
スガ、唯私ハ今日ノ如ク漁價ガ上ツタ

ノデハ、現在東京都内ニ於キマシテハ、
殆ド配給ハアツテモ配給ノ魚ヲ買受ケ
ラレナイト云フ人ガ非常ニ多イガ事實
デアリマス、寧ろ此ノ市中中デハ魚ハ
食ベルモノデナク見ルモノト云フヤ
ウナコトモ言ハレテ居ルヤウナ狀態
デ、私共漁業關係ノ者トシテハ、魚ノ
額ト人ノ額ヲ見ルト、洵ニ恥カシイ氣
持ガ致シテ居ルノデアリマスガ、私ハ
此ノ高クナツタ事情ニ付テハ、能ク知
ツテ居ルノデアリマスルケレドモ、ソレ
ヲ今更變返シテモ取返シノ付カナイコ
トデアリマスカラ、唯今後如何ニスレ
バ安ク多ク大衆ノ人々ニ食ハヒラレ
カト云フコトニ向ツテ、善處邁進シナ
ケレバナラヌト思ヒマス、ソレニハ先
程水產局長カラ御答辯ガアリマシタ
ガ、大體ノ考ヘ方ハ私モ同様ニ思フノ
デアリマスガ、要ハ資材ノ十分ナル裏
付ケニ依ツテ、生産ノ絕對量ヲ得ルニ
アラザレバ、此ノ魚ノ價格ト云フモノ
ハ、外ノ食糧ニ同ジデアリマセウガ、
魚ノ方ハ特に私ハサウ感ジテ居ルノデ
アリマス、私資材ノ問題ニ付テモ御尋
ネスル積リデアリマシタガ、先程岡田君
ノ質問ニ對シテ大體諒承致シテ居リマ
スルカラ、資材問題ニ付テハ此處テ繰
返サヌコトニ致シマス、唯只今申上ゲ
マシタ今ノ高イ魚ノ一日モ早く値段ヲ
安クシテ、多クノ人ニ食ハシタイト云
フ念願デアリマスルカラ、ドウカ一ツ
此ノ點ハ先程モ伺ヒマシタケレドモ、
一層ノ御盡力ヲ願ヒタイト思フノデア
リマス

次ニ第六點デアリマスガ、特に系統
團體ノ中央機關ニ對スル政府ノ育成方
針ニ付デアリマスガ、從來ノ實情カ
ラシマスレバ、水産業團體ノ中央機關
ニ對スル水產局方面ノ態度ハ極メテ消

極的デアツテ、之ヲ積極的ニ育成シテ行カウト云フ熱意ガ、ドウモ缺ケテ居ツタカノヤウニ思フノデアリマス、中央機關ハ政府ガ作ツタ法律ニ依ツテ出來タモノデアリマシテ、謂ハバ政府ガ生ミ落シタ團體デアリマスルカラ、政府ハ今一段ト徹底シタ親心ヲ以テ、其ノ育成ニ努力シテ戴キタイト思フノデアリマスルガ、其ノ御方針ガアルナラバ一寸伺ヒタイト思ヒマス

○笹山政府委員 中央水産業會ニ對スル所ノ政府ノ育成デゴザイマスルガ、從來モ先任者等ニ於キマシテハ、相當熱ヲ持ツテ此ノ育成ニ努メテ參ツタコトト存ズルノデアリマス、尙ホ今後自主的ナ團體トハ申セ、水産業會ノ發展ノ爲ニハ政府ト全ク表裏一體ヲ成ス團體デゴザイマシテ、寧ロ今後ノ水産業會ノ發展ニ付キマシテハ、此ノ團體ノ力ヲ以テ解決ヲシナケレバナラヌ點ガ多クアルト存ズルノデアリマス、其ノ意味合ニ於キマシテ、私共ト致シマシテハ、今後中央系統團體ニ對シマシテハ、出來ル限リノ御援助ナリ、御力添ヘテ致シタイ積リデゴザイマスルノデ、ドウカ系統團體アタリカラモ、活潑ニ政府ニ對シマシテソレトモ、意見ヲ開陳セラレ、相共ニ今後ノ水産業ノ再建ニ付キマシテ邁進致シタイト存ズルノデアリマス、サウ云ツタ考ヘヲ持ツテ居リマス

○眞藤委員 ソレデハ第七ニ、漁業金融機關ノ獨立ニ關スル問題デゴザイマス、漁業金融機關ノ獨立問題ハ、長イ間ノ懸案デアリマシテ、現在ハ御承知ノ如ク、農林中央金庫トシテ所謂農業分野ニ專屬シテ居リマスガ、漁業ハ經營上ノ危險率ガ多イ所カラ、其ノ融資ハ警戒的ニナツテ居リマス、貸付後ニ

於ケル事業ニ對シテモ、監視的トナラザルヲ得ナイヤウデアリマス、ソコデ經濟情勢ガ「デフレ」ニ轉ズルヤウナコトガアツタ場合ニ、漁村方面ニ對スル金融ハ、相當ニ逼迫シテ居リタイラウト思フノデアリマス、斯クノ如キ經濟情勢ニ備ヘル爲ニモ、又漁村ニ於ケル漁業ノ經營ヲ活潑ニ展開サセル爲ニモ、獨自ノ金融機關ヲ獨立スベキデアルト思フノデアリマスガ、之ニ付テ御所見ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○笹山政府委員 漁業金融ノ獨立ノ問題デゴザイマスガ、實ハ現在御話ノ通り、農林中央金庫ニ漁業金融部門モ屬シテ居ルノデアリマス、所デ之ヲ獨立シタ方ガ最も強力、圓滑ニ出來ルカト言ヒマス、只今ノ狀況ト致シマシテハ、必ズシモサウ言ヘナイノデアリナカト云フ風ニモ考ヘルノデアリマス、農林中央金庫ニ屬シマシテ、サウシテ其ノ全體ノ金融ノ下ニ活動シ、融資ヲ致シテ參ルト云フコトガ、寧ロ彈力性ガアツタ良イ面モアルヤウニ思ハレルノデアリマス、唯漁業ニ對スル所ノ金融ノ點ニ付キマシテ、圓滑ヲ缺クヤウナ問題ガアルトスレバ、ソレハ融通ノ方法、方式等ニ缺陷ガアルノデハナイカト思フノデアリマシテ、是等ノ點ニ付キマシテハ、金融機關ノ方ニ當ニ連絡ヲ取リマシテ、圓滑ニ參ルヤウニ進メタイト存ズルノデアリマス

○眞藤委員 第八ニ、漁業保險制度ノ確立デアリマスガ、漁業ハ海上ノ職場トスル關係上、諸種ノ危險ノ發生率ガ多ク、故ニ保險制度確立ノ必要ガ早カラ叫バレタノデアリマスガ、今以テ實現ヲ見ナイノハ、甚ダ遺憾デアルノデアリマス、此處デ言フ保險ト云フモ

ノハ、漁業保險、漁船保險等ノ外ニ、社會政策的見地カラ致シマシテ、漁業勞務者ノ對象トスル保險ノ意味スルモノデアリマス、最も漁船保險ハ既ニ實施ヲ見テ居リマスガ、漁船ニ制限ヲ設ケテ居ルノノ極限ニシテ、少クとも全部ノ漁船ヲ對象トスル漁船保險ノ設置ヲ希望スルノデアリマス、我が國ニ於ケル食糧問題ハ、米ノ増産ヲ輸入ニ依ツテハ解決サレナイノデアリマス、ソレニ依ツテ是ノ問題ハ解決スルカモ知レマセメケレドモ、榮養ノ問題ハ魚ノ増産ガナクテハ絕對ニ解決サレナイノデアリマス、國家ハ國民ノ榮養ヲ生産スル水産業ノ發達ニ對シテ、積極的ニ努力スベキコトハ勿論デアリマスガ、其ノ一ツノ方法トシテ、國家ニ依ツテ漁業保險制度ヲ實施シ、物ト人トヲ保障スルコトガ必要デハナイカト考ヘルノデアリマス、之ニ付テ御所見ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○笹山政府委員 只今漁業保險ノ制度ニ付キマシテ御話ガアリマシタガ、實ハ漁業保險ニ付キマシテハ、從來研究致シタコトガアルト云フ風ニ聞イテ居ルノデアリマス、唯御承知ノヤウニ漁業ガ地方的ニ見マシテ非常ニ危險率ノ算定ガ困難デアルノデアリマシテ、是等ノ條件等ニ付キマシテ、十分ニ調査ヲシタ上デナケレバ、之ヲ國營ニ移スト云フコトニ付キマシテハ考慮ヲ要スベキ問題ダラウト思フノデアリマス、是等ノ問題ニ付キマシテハ、先ツ適當リト致シマシテハ、漁業會等ノ共濟制度ニ依リマシテ、是等ノ社會的ナ施設ヲ講ズルコトガ適當デアラウト云フ風ニ私共考ヘテ居リマス、併シナガラ今後ノ問題ニ付キマシテハ、從來カラノ研究調査ヲ進メテ參リタイト

考ヘテ居リマス
○北委員長代理 岡田君、保留サレタ大臣ニ對スル質問願ヒマス
○岡田(答)委員 今日日本ノ國ガ當面致シテ居リマスル色々重要ナ問題ガアルノデアリマスルガ、中デモ私ハ、今日ハ食糧政策ガ一番大事デアルト思フノデアリマス、民生ノ安定、國民生活ノ確保ト云フコトヲ申シマスケレドモ、私ハ食糧問題ヲ離レタ民生ノ安定ハアリ得ナイ、國民生活モ食糧ヲ離レタハ確保シ得ナイト云フ風ニ考ヘテ居ルノデアリマスルガ、今日ハ國民ノ飢餓ト寒苦カラ救フ爲ニ、食糧ト住宅ト衣料ノ問題ヲ解決シナケレバナラヌ時ニ直ニ面致シテ居リマス、政府ハ「マツカーサー」司令部ニ對シテ食糧「百萬トン」ノ輸入ヲ懇請シテ其ノ許可ヲ得ラレタトノコトデアリマスルガ、是ハ食糧危機ニ直面致シテ居リマスル今日、我が日本國民ト致シマシテハ、洵ニ辛ツスル所デアリマスガ、其ノ輸入ハ大體何時頃ニナル見込デアリマスガ、御差支ヘナケレバ承リタイト思ヒマス

○松村國務大臣 原則的ノ許可ハ得マシタガ之ヲドウヤウニシテ持ツテ來、又ドレ位ノ數量ヲ寄越スカト云フコトニ付テハ、只今ノ所見込ガ付テ居リマセヌ、實ハソレニ付テ今日非常ニ心配モシ、努力モ致シテ居ル體デゴザイマス、今日ハ既ニ向ソカラノ指示モアリマシテ、是ハ食糧ノミデハアリマセヌガ、政府内部ニ是等ノ物ヲ受入レル機關ヲ作レト云フ指示ヲ受ケテ、今度商工省ニモウ一課ヲ設ケテ、ソコデ一手ニ輸入ヲ圖ルト云フコトニナルノデアリマス、ソコデ政府全體トシテ要請ヲ致シテ居リマスノデ色々ソレニ要ス

ル書類等モ只今出シテヤウチ居ルノデアリマスケレドモ、見返リ物資等ニ付キマシテモ、色々向フヘ提示ヲ致シテ居ルノデアリマス、此ノ程度以上申上ゲルコトハ出來マセヌ次第デアリマスガ、未ダサウ云フ御尊不ノ所マデ進ンデ居ナイコトハ洵ニ遺憾デゴザイマス

○岡田(答)委員 私共當局ガ今日ノ實情ニ鑑ミマシテ、食糧輸入ニ最善ノ御努力ヲシテ下サツタコトニ對シマシテハ、洵ニ多トスルノデアリマス、ガ一面輸入ガ極メテ重要デアリマスルト共ニ國內ノ農民ガ増産ヲシナカッタリ、又供出ヲ遊シタリ致シマシテハ、食糧ハ愈々窮乏ヲ告ゲルモノデアルト思フノデアリマス、何ト申シマシテモ生産、増産ガ第一デアリマシテ、是ニハ肥料ノ關係等、先刻來相當質疑應答ガ交ハサレ、同時ニ供出ニハ同胞愛ニ懇ヘナケレバナラヌト云フ點ハ、松村農林大臣ハ常ニ同胞愛ニ懇ヘテ三千萬石ノ供出ニ期待ヲ掛ケテ居ラレルノデアリマスガ、本年ノ作柄ニ鑑ミマスルト、是レ亦其ノ完遂ハ難カシイ問題デアルト思フノデアリマス、併シナガラ農民ハ御承知ノ通り、常ニ自己保有米サヘ確保出來ルナラバ供出ニハ喜ンデ居リマシマスガ、實情トシテ農民ハ生活必需物資ヲ買フノミモ、其ノ見返リトシテ米其ノ他ノ物資ガ要ル、病氣シテ醫者ニ行ツテモ、其ノ他何處ニ行ツテモ米ヲ呉レト云フコトヲ言ハレルノデアリマシテ、斯ウ云フ實情ノ下ニ、農民ハ保有米ノ外ニ、兎ニ角食糧ヲ持タナケレバ、今日ノ生活ガナシ得ナイト云フ狀態ニ置カレテ居ル、假ニ農民ガ米ヲ出サナイト云フコトガアレバ由々シキ間

致シテ居リマスノデ色々ソレニ要ス

題アリ、人海上カラモ許サレナイノ
デアリマス、併シ供出ニ不公平モアリ、
供出價格ハ一般物價ニ比ベテ安イ、還
元米ハ約東ワシナガラ、ソレガ莫切ッ
レタ、又供出後ニ種々ノ名目ニ依ツテ
更ニ追加供出ヲ要求サレト云フコト
ガ地方ニ多キアル、殊ニ粒々辛苦シタ
米ガ、終戦直後ニ、已ムヲ得ナカッタ
事情カモ知レマセヌガ、此ノドサツサ
紛レニ不當處分ガアツタト云フコト
ハ、農民ノ供出意欲ヲ阻害スルコト、
實ニ大ナルモノガアツタノデアリマ
ス、併シナガラ食糧危機ニ直面シテ居
ル今日、農民トシテ國民同胞ノ餓死ヲ
默視スルコトハ、出来ナイノデアリマ
ス、不平モ不滿モ祖國再建ノ爲ニハ、
同胞再建ノ爲ニハ、新日本建設ノ爲ニ
ハ、同胞愛ニ依ツテ拂拭シ、多少ノ犠
牲ハ、否大ナル犠牲ヲモ忍ンデ負担ス
ルコト農民道デアルト私ハ信ズルノデ
アリマス、ソコデ供出相當ハ權力ツク
デハ勿論イケマセヌ、實情ヲ無視シタ
ヤリ方デハナリマセヌ、農民ガ納得ノ
行クヤウニ、誠意ヲ以テ農民ニ接シ、
農民ノ心理ヲ把握スルコトガ一番大事
デアルト思フ、此ノ點ニ付テハ松村農
林大臣ハ御忙シイ中ヲ地方ニ御出掛ケ
ニナリ、農民ニ特ニ接シテ、是等ノ點
ニ付テ農民ノ氣持ヲ把握スルコトニ御
努力ニナツタコトモ御承知シテ居リマ
ス、同時ニ斯ノ如クシテ政府ニ對スル
農民ノ信頼ガ強ケレバ強イ程、此ノ供
出問題ノ解決スルノニ一番役立ツト思
ヒマス、此ノ點ニ付テハ私ハ當局ノ更
ニ善處ヲ要望セザルヲ得ナイノデアリ
マス、又此ノ食糧事情ノ下ニ於テ全國
民ハ三合配給ヲ要請シテ居ル、無給ノ
關係上是ガ實現ハ困難デアルト私共ニ
ハ考ヘラレル節ガアルノニ、兎ニ角國

民ハ三合配給ト云フコトガ酒々トシテ
要請サレテ居ル、而モ國民ノ榮養狀態
ハ塞心スベキ狀態デアアル、今ヤ此ノ實
情ヲ調ベマス、悉ニハ榮養失調者ガ
續出シテ居ル、冬ニ向ツテ今ヤ懸ヒ掛
ル寒氣ト共ニ餓死者ヲ見テ居ル、最
近デハ榮養失調者ノ續出ト共ニ、榮養
低下ノ爲ニ結核患者ガ非常ニ殖エテ來
テ居ル實例ヲ、私ハ到ル處ニ聞ク、是
ハ由キイ問題デアアル、是等ノ對策ハ
勿論、厚生省ニ於テモ講ゼラレナケレ
バナラヌ點ダト思ヒマスガ、サウ云フ
狀態デアリマシテ、私ハ飢饉對策トシ
テ此ノ際三合ノ主食ノ配給ハ難カシイ
デアリマセウガ、食糧三合相當榮養量
ノ配給ヲ、何トカ御考ヘニナツテ、國
民ノ榮養失調ヨリ救フテヤルコト云フコ
トガ必要デアリナカト思フノデアリマ
ス、政府ニ於テキマシテハ、米、麥、諸
類並ニ粉食其ノ他所謂未利用資源ノ利
用ノ外ニ、動物性蛋白質ニ富ンデ居ル
所ノ魚介類、端のニ申シマスルナラバ、
私ハ魚ヲ以テ三合相當榮養量トスルコ
トハ、刻下ノ急務デアルト云フ思ヒ
フノデアリマスガ、此ノ點ニ付キマ
シテ、當局ノ御所見ヲ承リタイト思ヒ
マス

○松村國務大臣 御答ヘ申上ゲマス
ガ、主眼食糧デケデ三合ト云フコトハ、
是ハ一年ニ一石一斗足ラズ位ニナル數
字デゴザイマシテ、平年通りニ食フト
云フコトデアリマス、此ノ不足シタス
ウ云フ場合、負ケ戦ノザウシテ凶作ヲ
致シテ居ル場合ニ、國民ガ平生通り食
ハウト云フ要求ハ、是ハ無理ナ要求デ
アツテ、此ノヤウナ考ヘ方デ聯合國側
カラ、三合モ食フテ、ソシテ其ノ上多
數食糧ヲ寄越セト言ツテモ、是ハ勿論
得ルコトノ出来ナイ數字デアリ、即チ

「ヨーロッパ」アタリノ關係カラ見マシ
テモ、忍ビ忍ンデ足ラナイ所ダケノ補
ヒシカ供給ヲ得ルコトガ出来マセヌノ
デアリマスカラ、主要食糧ニ於テ三合
ヲ食ハセト云フ說ハ、今日ノ日本ノ此
ノ事態ヲ正シク見タナラバ申サレナイ
デアラウト私ハ思フノデゴザイマス、
併シナガラ御説ノヤウニ、大體三合ヲ
配給シロト云フ聲ハ無理カラヌコトデ
アツテ、一日ノ營業ヲ總テ主眼食糧デ
攝ツテ行カウ、一時配給ニ依ツテ何モ
得ルコトハ出来ナイ、野菜モ得ラレナ
イ、漁獲モ得ラレナイト云フヤウナ場
合ノ叫ビガ固デアツテ、是ハ無理カラ
ヌコトト思ヒマスガ、之ニ三合程度ノ
榮養ヲ攝ルモノト云フ只今ノ御質問
ニ對シテハ、私共ハ努力次第ニ依ツテ
ハ是ハ言ヒ得ルノデアリ、又今日ニ於
テハ戰時程度充サレツ、アル所モアル
ノデハナイカトサヘ思ハレル位デアリ
マシテ、是ハ一生懸命デ努力致シマ
スナラバ、其ノ目標、其ノ得ル「カロ
リー」ニハ達シ得ルモノト、私共ハ自信
ヲ持ツト申上ゲテモ、努力次第ニ於テ
ハ言ヒ得ルコト思フノデアリマス、サウ
云フ意味ニ於テキマシタナラバ、私ハ御
趣旨ハ非常ニ結構デアリ、我々モソレ
ガ爲ニ大ニ努力ヲ致シタイト思フテ
居リマス、近來生鮮食料ナドノ榨ノ外
シマシタノモ此ノ爲デアリ、不幸ニシ
テ尙未過程中デアリマスガ故ニ、價格
ガ高クテ、細民階級ニハ困リマスケレ
ドモ、併シ之ニ付キマシテハ、聯合軍
側カラ重油モ特ニ魚獲ノ爲ニ寄越シテ
呉レテ居ルコト云フヤウナ廉モアリマス
ノデ、漁獲高モ増シテ、今御説ノヤウ
ナ程度ニ十分ナ供給ヲ致シタイト考ヘ
テ居リマス

○岡田(憲)委員 大臣ノ御説明ニ依ッ
テ了承致シタノデアリマスガ、私ハ
今御話ノ通りニ二合一「ブラス」輸入
「イクオール」二合一、二合一「ブ
ラス」副食ト申シマスガ、榮養食糧就
中魚即チ三合相當榮養量ト云フ考ヘヲ
以テ、榮養給源デアル水産物ノ増産ト
云フコトニ、今日ハ最も努力ヲシテ戴
カナケレバナラヌ、斯様ニ確信ヲ致シ
テ居ルノデアリマス、農ノ第八十八議
會ニ於テキマシテモ、當時總理大臣官邸
アリマシタ可久遠官邸下ニ於テセラレ
マシテハ、アノ際施政方針ノ演説ノ中
ニモ、水産ノ劃期的増産ヲ強調サレマ
シテ、今日ノ食糧事情ニ寄與スル一方
面トシテ、水産物ニ努力スル外ハナイ
ト云ツタヤウナ御趣旨ノ御演説ノアリ
マシタコトヲ記憶致シテ居ルノデアリ
マスガ、私正ニサウナケレバナラヌ
ト存ジテ居ルノデアリマス、日本ノ國
ノ領土ハ「ボツダム」宣言受諾ノ結果狭
小ニナリマシタ、海モ制限サレテ居ル
ノデアリマスルケレドモ、是モ先刻承
リマスルト、聯合軍ニ交渉ヲ願ツテ、
海洋漁業モ亦許可ヲ得ル點ニ於テ御努
力ヲ願ツテ居ルコト云フコトヲ承ツタノ
デアリマスガ、何ト申シマシテモ、
此ノ食糧ノ面ニ御努力ヲ願ハナケレバ
ナラヌ、資材ノ面モ先般政府委員ヨリ
承リマシタカラ、重キテ御導不ハ致シ
マセヌガ、此ノ日本ノ國ト致シマシテ
ハ、即チ國民榮養食糧ノ生産面カラシ
テノ水産物、即チ魚類ト云フモノ、又
敗戦ノ結果賠償物資トシテノ水産製品
ト云フ二ツノ大キナ面ガアルト思フノ
デアリマスカラ、ドウカ此ノ上トモ私
ハ現在ノ食糧事情ニ鑑ミマシテ、水産
ニ對シマシテ政府ハ劃期的振興施策ヲ
御講ジ下サト共ニ、之ニ依ツテ食糧
問題解決ノ一助ニサレンコトヲ重ネテ

要望致シマシテ、大臣ノ折角ノ御努力
ヲ御願ヒシタイト思フノデアリマス
○北委員長代理退席、委員長著席
○松村國務大臣 全く同感デゴザイマ
シテ、出来ルダケノ努力ヲ致シテ食生
活ヲ充シタイト存ジテ居リマス
○森川委員 連日御奮闘ノ大臣ニ、サ
ソ御疲れノコトト存シマスノデ、極メ
テ簡單ニ水産問題ニ關聯シテ一點ダケ
御伺ヒ致シマス、ソレハ只今同僚岡田
君カラ御話ガアリマシタ通り、現下ノ
食糧事情ノ下ニ於ケル水産物増産 如
何ニ重要デアアルカト云フコトハ、是ハ
モウ申スマデモナイコトデアリマス、
私ハ常ニ考ヘテ居ルノデアリマスガ、
水産ガ此ノ位重要デアリナガラ、水産
ニ對スル論議ガ餘リニ低調デ、議會ニ
於テモ水産ニ對スル論議ガ續ケラレタ
コトハ、恐ラク今ノ同僚議員二、三人
ガ申上ゲタ位デアリナカト思フテ甚ダ
遺憾ニ存ジテ居リマスガ、此ノ水産ニ
關聯シテ、特ニ私ハ水産教育ノ問題ニ
付テ、大臣ノ御所見ヲ伺ヒタイノデア
リマス
事業ノ經營ハ總テハ勿論人デアリマ
ス、其ノ人ヲ養成スル意味ニ於テ、水
産教育ガ大變重要ナコトダト思フノデ
アリマスガ、是ガ非常ニ切迫サレテ居
ルノデハナイカト云フ點モ考ヘテ居ル
ノデアリマス、前年中學校ガ工業學校
ニ轉換シ或ハ商業學校ガ工業學校ニ轉
換致シマシタ當時、私ハ時ノ水産局長
ニモ伺ツテ見タノデアリマスガ、セメ
テ商業學校、中學校ガ轉換スル場合
ニ、水産學校ニ轉換スルヤウナ計畫ヲ
御立テニナツタコトガアルカト伺ツタ
所ガ、サウ云フコトヲ考ヘタコトハナ
イト云ツタ御答辨ヲ伺ツテ、實ハビツ
クリシタデデアリマスガ、水産教育ト云

ア問題ニ、餘リニ冷淡デハナカッタカ
ト考ヘルノデアリマス、ソレカラ特ニ
水産教育ニ關聯シマシテ、漁村ノ青
年學校ノ問題ヲ、モウ少シ考ヘテ行カ
ナケレバイカス、ソレハ同青年學校
デアリマシテモ、農村ノ年學校ト漁
村ノ青年學校トハ、本質的ニ違ハナ
レバナラヌト思フデアリマス、所ガ
色々ナ事情デ、殆ト同ジ養育的ナ教育
ヲヤツテ居ルデアリマスガ、是デ
ハ本當ノ意味ノ水産教育ガ出來ナイト
思ヒマス、殊ニ水産業ノ中心ヲ成シテ
居リマスル漁村ノ若イ青年ト云フノ
ハ、一番純眞デ、一番可愛イノデアリ
マス、漁村ノ中心ヲ成シテ居ルノデア
リマス、私ハ漁村ノ青年ト特ニ親シク
致シテ居リマシテ、自分モ自ラ漁船ニ
乗ツテ海ニモ行キマスシ、又漁村ノ青
年ヲ宅ヘ呼び、又自分モ一結ニ其ノ部
屋ヘ行ツテ談話シ、色々ナコトヲスル
機會ヲ得テ居リマスガ、實ニ純眞デア
ル、併シテチカラト申シマス、世間
的ニ指レテ居ナイデケニ、之ヲ教育シ
テ本當ノ日本ノ水産業ノ中核トナルヤ
ウナ人ヲ作ツテ行クト云フコトガ特ニ
必要デヤナイカト云フコトヲ考ヘルノ
デアリマス、斯ウ云フ意味カラ申シマ
シテ、私ハ水産關係ノ此ノ中等學校
ニシマシテモ、或ハ進ンデ青年學校ニ
致シマシテモ、是ハ文部省ヲ離レテ、
農林省ガ之ヲ直接專管スルト云フヤウ
形ニ進ムベキデハナイカト云フコト
ヲ考ヘテ居ルノデアリマスガ、是等ニ
關シマシテ農林大臣ノ御答ヘハ如何デ
アリマスカ、伺ヒタイト思ヒマス

○松村國務大臣 御話ノ通りデゴザイ
マシテ、水産ニ對スル教育ト云ヒマス
カ、訓練ト申シマスカ、此ノ面ニ於テ
將來ノ水産業ノ重大ナルコトヲ考ヘマ
ス時ニ、是非ハ乘出シテヤラネバナ
ラヌコトヲ考ヘルノデアリマス、日
本ノ國土ハ此ノヤウニ狭小ニナリマシ
テ、殘ル所ハ海面ヲ拓イテ、サウシテ
國ノ富ヲ増スト云フ大キナ使命ヲ持ツ
テ居ルノデアリマスガ、現在ノ食糧
危急ノ突破ト云フデケノコトデハナ
イ、永遠ニ互ル大キナ使命ヲ持ツテ居
ルコトヲ思ハレルノデアリマス、隨ヒ
マシテ之ニ對スル青年ノソレニ向ク訓
練、教養ト云フコトニ付テハ、特別ノ
教育ヲ要スルコトヲ思フデアリマス
ス、全ク同感デアリマシテ、其ノ方面
ニ努力ヲ致シタイト思ツテ居リマス、
農林省ニハ御承知ノ通り水産講習所ガ
アツテヤツテ居リマスガ、此ノ講習所
ノ長イ歴史カラ見マス、相當ノ人材
ヲ此ノ面ニ出シテ居リマスコトハ御承
知ノヤウナ譯デアリマシテ、アノ點カ
ラ見マシテモ、其ノヤウナ機關ニ付テ
是非私共モ考慮致シテ行キタイト思
ヒマス、文部省ノ所管ノコトニ付キマ
シテハ、是ハ此處デ申上ゲルコトデケハ
遠慮申シタイト存ジテ居リマス

○森川委員 非常ニ力強イ言葉ヲ戴イ
テ感謝ニ堪ヘナイデス、ドウゾ其ノ方
針ヲ御進ミ戴キタイト思ヒマス
ソレカラモウ一點デケ水産局長サン
ノ御答辭デモ宜イノデアリマスガ、御
伺ヒ致シタイノデアリマスガ、近時遠
洋漁業等ノ大企業ガ出來ナクナツタ關
係上、大資本家ガ沿岸ノ漁業權ヲ買漁
ツテ、而モ非常ニ高値ニ昂上ゲテ賣ツ
テ、サウシテ沿岸漁業ニ轉換シテ進出
シテ參ツテ居ル傾向ガ各地トモ多分ニ
アルノデアリマス、此ノ儘ニシテ放
置スルナラバ、恐ラク非常ニ困ツタ事
態ガ起ツテ來ルノデヤナイカ、折角今
マデ營々トシテヤツテ居ツタ小サイ資

本、又ハ自分ノ資本ニ依ツテヤツテ居
ツタ漁業家ガ、非常ニ悲境ニ陥ル事態
ガ來ルノデヤナイカト云フヤウナ點ヲ
考ヘマス、此ノ場合何等カノ處置方
法ヲ考ヘナケレバナラヌデヤナイカト
考ヘルノデアリマスガ、是等ニ對シテ
ドンナ御考ヘヲ持ツテ居ラレマスカ、
御伺ヒ致シタイト思ヒマス
○笹山政府委員 遠洋漁業者ガ現在操
業海域ノ制限ニ依リマシテ、從來通り
ノ活動ガ出來ナイ、隨ヒマシテ其ノ結
果沿岸漁業ノ方ニ進出シテ、沿岸漁
民ヲ困ラシテ居ルト云フヤウナ御話デ
ゴザイマスガ、一部左様ナ所モアルト思
ヒマス、實ハ現在ノ食糧事情ニ鑑ミマ
シテ、緊急ニ相當魚ヲ漁獲シナケレバ
ナラヌ關係上、出來ルデケ能率ノ上ル
漁業ニ依タナケレバナラヌ點モアリマ
スノデ、是等ノコトニ付キマシテハ、
沿岸漁業ト關係ガアリマスルケレド
モ、ソレ等ノ關係ヲ能ク調整シマシ
テ、能率アル漁獲ヲ致シテ居ルヤウナ
次第デゴザイマス、今後斯ウ云ツタ過
渡的ナ事態ハ、操業海域ノ制限ノ撤廢
等ニ依リマシテ、將來ニ於テハ必ズ解
消スル問題デアルト思ヒマスルシ、沿
岸漁民トノ調整ニ付キマシテハ、十分
注意シテ行キタイト考ヘテ居リマス、
○森川委員 其ノ他少シ伺ヒタイコト
モアルノデアリマスガ、大臣ガ御忙
ヲ以テ終リマス

○川崎委員長 又ニ唐橋君カラ大臣ニ
對シテ簡單ナ御尋ネガアルサウデスカ
ラ 唐橋君
○唐橋委員 餘リ簡單デモアリマセヌ
ガ、先達テノ本會議ニ於ケル三宅
代議士ノ質問ニ付テハ、統制外ノ食
糧ノ橫流シヲシテ居ルモノ一千萬石ト
云フ推定ニナツテ居リマス、農林大臣
ハ左様アラウトハ思ハナイト言ツテ居
リマシタガ、一千萬石アルカ八百萬石
デアルカハ別ト致シマシテ、相當量ノ
食糧ガ統制ノ枠外ニ横流シラシテ居ル
コトハ、爭ハレザル事實デアルト考ヘ
マス、其ノ點ニ付キマシテハ、私モ農
村人デゴザイマシテ、ヨク考ヘル人
ニモ聽イテ居リマスガ、村々ニ依ツテ
事情ハ違ヒマスケレドモ、供出數量ノ
二割位ガ農家ノ浮動保有米トナツテ殘
ルノデアアルマイカト考ヘテ居ル者モ
アリマス、二割ト云フ數字ニナリマス
ト大變ナ數字ニナリマスガ、少クトモ
一割以上位ノ主要食糧ト云フモノガ、
政府供出以外ノ浮動食糧トシテ農家ノ
手ニ殘ツテ居ルノデアハナカラウカ、論
ヨリ證據ニハ、今初メテデモゴザイマ
セヌガ、買出ニ地方ヘ往來スル人々ノ
手持ノ品物ニ、米ガ入ツテ居ナイモノ
ハ恐ラクナカラウト思フデアリマス
シテ、斯ウ云フモノガ假ニ一割アツタト
致シマスレバ、ソレヲ政治的ニ糶ムコ
トニ依ツテ二合ニ付ノ配給ヲ二合ニ付
ニ配給スルコトハ、出來ナケレバナラ
ヌコトデアルト思フノデアリマス、
然ルニ此ノ浮動保有米ト云フモノガ、
完全ニ政府ノ手ニ依ツテ糶ミ得ナイ、
素直ナ正シイ供出ガナシ得ナイト云フ
所ニ、此ノ食糧配給ノ不均衡ヲ來シ、
一方ニ饑饉食レ者モアリ、一方ニハ榮
養失調ヲ來ス人ガ居ルト云フコトヲ心
秘カニ考ヘテ居ル所デアリマス、ソ
レコト今日ノ制度ヲ見マス、糶レ
タ數ダト云フ數字ヲ政府ガ糶出シテ、
之ニ對シテ農家ノ供出スル數量ハ
是レノデアアルカ、オ前ノ村ニハ是デケ
ノ供出能力ガアルモノダト云フコトデ
糶付ケルノデアリマスガ、實際ノ末端

ノ町村ニ參リマス、一方ニハ供出シ
テ餘裕アル者ハ浮動保有米ヲ持テ得ル
者ガアリ、一方ニハ過小農家、小作農
家ノ如キニ至リマシテハ、明日カラ遠
元配給ヲ受ケナケレバ食ベ得ナイ程度
ノ供出ヲ致ス者モアル、農村ニ參リマ
スト、農村自體ノ間ニ食糧ノ窮迫ヲ感
ジテ悲痛ナ叫ビヲ上ゲル者ガアリ、横
流シヲナシ、糶ヲナシ得ル餘裕ガアル
者ガアルト云フ實體ナノデアリマス、
致デ私共地方ノ役場ヲ預リマス者ノ立
場カラ考ヘマシテモ、ドウシテモ此ノ
浮動保有米ヲ政府ガ糶ムコトヲ考ヘナ
ケレバナラヌト思フノデアリマス、
此ノ點ニ付キマシテ、最モ必要ガアル
ノハ政治力デアアル、政治ノ力ヲ以テ末
端ノ供出ヲ擔當スル町村長ト政府トノ
間ニシツカリシタ血ノ繋リガナケレバ
ナラヌ、之ニ依ツテノミ此ノ浮動保有
米ヲ政府ノ手ニ吸收シ得ルモノト考ヘ
ルノデアリマス、ソコデ私ハ政府ニ
御尋ネヲ致シタイト思ヒマスコトハ、
本年ノ供出ハ是カラデスカラ、全力ヲ
舉ゲテ私共ハ地方ニ居ツテ供出ノ完達
ニ努力ヲ致ス積リデゴザイマスケレド
モ、其ノ供出ノ完達ヲ、糶當ラレマシ
タ數字ニ因ハレテ、ソレヲ完達シヨウ
ト致シマス、只今申上ゲマシタヤウ
ニ、一方ニハ還元配給ヲ受ケナケレバ
食ヘナイ者ガ出テ參リ、一方ニハ供出
シテ餘裕アル者ガ出テ來ルヤウニナル
ノデアリマスカラ、ソコデ私共ノ希望
スル所ハ、モット政府ガ大マカニ町村
ノ需給狀態ヲ調ベテ、其ノ範圍ニ於テ
町村ノ需給計畫ヲ立テテ、町村民ニ食
ハセルモノハ町村ニ出來タモノヲ食ハ
セル、サウシテ其ノ殘ツタ所ノ物ヲ以
テ供出ニ充テルヤウナ制度ヲ立テ戴
クコトガ本當ダト思フノデアリマス

ス、今日ハ戦争ガ終リマシテ、事態ハ變テ參リマシタガ、戰時中ハ是ダケノ米ハ、應レナケレバナラヌ筈ト云フ假想ノ數字ノ下ニ割當テ、ソレガ完達サレバ非國民民、愛國心ガ足ラヌ、斯ウ言ツテ地方事務所ハ市町村長ニ鞭撻ヲ加ヘ、市町村長ハ農事實行組合ニ鞭撻ヲ加ヘ、全ク蠶一的ナ供出ノ割當ヲ強制シタノデアリマス、本年ノ如キハ如何ナルモノカハ、豫斷ヲ許サヌガ、此ノ割當ノ數字ヲ完達致シマスニハ、是ハ同ジヤウナ努力ヲ致シテ行カナケレバナラヌデアアル、政府ハ納得シタ供出ヲサセルト仰シヤツテ居ルノデゴザイマスガ、其ノ納得ト云フコトハ、決シテ斯ウ云フ出来タコトニ對シテノ數字ヲ唯頭カラ割付ケテ、其ノ供出ヲ命ズルト云フノデハ、納得デハナイト考ヘル、根本基調ナルモノハ町村長デアアル、或ハ町村農事會長デアアル、即チ町村當局ガ初メカラ是ダケノ米ハ出シ得ル、俺達ノ村デハ是ダケノツテ、是ダケ食ツテ、是ダケノモノヲ出シ得ルト云フ數字ガハツキリ生レテ來ルコトニ依ツテ、私ハ納得シタ供出ガ出來ルト考ヘルデアリマス、ソコデ政府ノ供出方針トシテハ、實收高調査ノ爲メ、所謂坪刈ナドヲヤツテ、福島縣ハソコカラ二合八勺五分ノ自家保有米ヲ認メルコトニナツテ居リマス、サウシテソレヲ差引イタ數字ガ供出數ニナルノデゴザイマスガ、實際町村ノ實情ニ接シマス、其ノ數字ノ通り行カヌノデアリマス、ソコデ私ハ此ノ際政府ニ御要望申上ゲ、御尋ネシテ見タイト思ヒマスコトハ、先ツ政府ガ供出セル數ハ今ノコトデ宜シイガ、モウ一ツハ、是ハ今年ノ間ニハ合ハナイノデ、明年ノコトデゴザイマ

スガ、各町村長ハ、自分ノ村デハ供出量幾ラ、食糧管團ノ手ヲ通ジテ還元配給シタモノガ幾ラ、此ノ數字ハ過去五箇年ノ實績ニ依ツテチヤント分ツテ居ル筈デス、此ノ數字ヲ基礎トシテ、町村ノ實情ヲ考ヘレバ、一應出シ得ル米ノ數並ニ云フモノハ町村長ニハ分ルト思ヒマス、先ツ割當ヲナサレバ、町村長ニ向ツテ此ノ數字ヲ自發的ニ出サセタラ如何カト考ヘマスガ、御考ヘノ程ヲ承リタイ

○松村國務大臣 色々地方ノ實情ニ即スル御話ヲ承リマシテ、私共事實至ラヌ所ガ多イと思フノデアリマス、今御話ノヤウナ點ニ付キマシテ、今日マデ戰爭中ノアノヤウナ至メラレタ供出カラ、今日ノヤウナ終戰直後、斯ウ云フコトニナツテ來テ居ルモノデアリマスカラ、今年ノ供出モ或ル程度ノ改正ヲ加ヘマシタダケデヤツテ居ルノデアリマシテ、地方ノ實情ニ關ハス點ガ相當多イカト思フノデアリマス、明年以後ノ供出制度ノヤリ方ニ付キマシテハ、色々根本的ニ考ヘナケレバナラヌ點ガアルダラウト思ヒマスガ、今年ハ是デヤツテ行クヨリ外ニ途ガナイト存ジマス、明年以後ノコトニ付キマシテハ、只今御話ノアリマシタヤウニ考ヘルコトモ、一ツノ大キナ方法デハナイカト思ツテ拜聴致シタノデアリマス、即チ地方ニ即シタ考ヘ方カラ割出シテ來ル、是ハ何ト云ツテモ町村長ノ力デアリマスカラ、其ノ考ヘニ依ツテヤルト云フコトガ、非常ニ實效ヲ擧ゲル所デアルト思フノデアリマス、唯今日ノ場合ニハ、ソレヲヤツテ、ソレカラ出タ數字デ果シテヤツテ行ケルカドウカ、斯ウ云フ食糧ノ非常ニ窮乏シタ時デアリマスカラ、其ノ點ニ付テハドウ

カ存ジマセヌガ、少シ食糧ノ生産ガ増スト云フコトニナリマスレバ、サウ云フ方法ガ或ハ最も良イノデハナイカト考ヘマシテ、將來ノヤリ方ニ付キマシテハ、十分考慮致シタイト思ヒマス

○唐橋委員 私も目前ノ急場ヲ突破シナケレバナラヌ場合ニ、明年以後ノコトヲ御話スルノハ如何カト存ジマスガ、明日ニモ二十一年ノ生産ニ著手シナケレバナラヌ場合デアリマス、少シク時間ヲ要スル次第デアリマスガ、モウ少シ私ニ尋ネサシテ戴キタイト存ジマス

只今私ノ申上ゲマシタコトガ、明年以後ノ問題トシテ、大體大臣ノ御諒承ヲ得タコトハ、非常ニ有難イコトデアリマスガ、將來ノ問題ト致シマシテ、只今中上ゲマシタ通り、町村ノ貼ヒハ地方町村デ立テル、町村ト申シマシテモ、市街地ノ町場ハ別デゴザイマスガ、生産地ノ農村ニ於テハ、町村長ノ權限ヲ以テ自給自足ノ貼ヒヲ立テル、斯ウ云フ建前ヲ以テ進ンデ參リマスレバ、自然食糧管團ノ農村部面ニ於ケル配給ト云フモノハ、町村機構ノ一部カ或ハ農事會ノ一部トシテヤツテ行ク、斯ウ云フヤウナコトニ變ラナケレバナラヌト思ヒマスガ、將來ニ於テ農村生産地帶關スル限リ、食糧管團ノ配給ヲ農事會ニ御任セニナルコトヲ御考ヘニナリマセヌカドウカ、此ノ點ヲ御聽キシタイト思フノデアリマス

○松村國務大臣 其ノ點ニ付キマシテモ、斯ウ云フヤウナコトニナリマスレバ、自然其ノ點ニモ考慮シナケレバナラヌト考ヘテ居リマス、實ハ此ノ委員會バカリデアリマセズ、其ノ問題ハ二、三四モ承リマシテ、地方一ツノ大キナ要望ニナツテ居ルノデハナイカ

ト考ヘラマスノデ、是等ノ點ニ付テハ十分ニ考慮シタイト考ヘテ居リマス

○唐橋委員 私も中上ゲルコトハ大臣ニ大體諒承サレタヤウデゴザイマスガ、此ノ際モウ一ツ御伺ヒ致シタイト思ヒマス、只今私ノ申上ゲマシタコトガ大臣ノ御諒承ヲ戴イタトシタナラバ、昭和二十一年度ノ供出ノコトハ、生産ニ即シナイ供出ガアルベキ管ガナイコトハ申スマデモナイノデアリマスガ、今日ノ町村農事會ハ蠶一

のナ割當制ノ爲ニソレノ完達ニ日モ尙ホ足ラザル狀況デアリマシテ、村ノ實情ニ即シテ計畫ヲ立テル暇ガナイト云フノガ實情デゴザイマス、米ノ割當ガ來テ、米ヲ一生懸命ニヤツテ居ルト麥ノ割當ガ來ル、麥ヲヤツテ居ルト蕎麥ノ割當ガ來ル、木炭ノ割當ガ來ル、其ノ一ツノガ悉ク離レ、幾多ノ系統カラ町村ニ割當ラレテ居ル實情デゴザイマス、サウシテ其ノ數字ガ只今中上ゲマシタヤウニ、町村ノ實情ニ即シナイモノヲモ理論數字ニ依ツテ、割當ヲセラル、之ヲ完達シナケレバ同胞ガ飢エル、戰爭ニ敗ケル、斯ウ云フコトデヤツテ來タノデゴザイマスガ、私ハ少クトモ昭和二十一年以後ノ食糧問題其ノ他ノ重要ナル生活必需品ヲ生産シ供出スル爲ニハ、只今カラ昭和二十一年度ノ生産並ニ農村ノ食糧對策ヲ考ヘテ行カケレバナラヌト思フノデアリマス、今日マデ戰時中ヲ通ジマシテ農村ニ供出ヲ強要セラレタノハ、米麥等ノ主ニ食糧ヲ初メシテ、繭、羊毛、木材、薪炭、雜糧、凡エルモノガ要望セラレテ居ッタノデゴザイマスガ、其ノ中ニハ只今申上ゲマシタヤウニ、理論數字ヲ割當テ、徒フニ耕地反別ニ基キ山林反別ニ基イテ割當ラレ

テ居リマス關係上、所ニ依ツテ木ノナイ所ニ薪ノ割當ガ行キ、山ナキ所ニ炭ノ割當ガ來ルト云フヤウナコトガ多クアツタノデゴザイマス、ソコデ私ハ今年度ノ食糧配給ヲ突破スルコトハ、大臣ノ御手腕ニ信賴スルコトハ、昭和二十一年度以後コソハ、町村ノ生産能力ニ應ジタ本當ノ供出體制ト云フモノガ確立サレナケレバナラヌト考ヘルノデアリマス、二十一年度ノ期シテ、二十一年ノ生産計畫並ニ食糧供出對策ヲ目標トシテ、急速ニ全國ノ町村長ニ號令ヲ下サレマシテ、政府ノ必要ナ物ハ、大キナモノハ指折ツテ見レバ分ルト思フ、主要食糧、木材、木炭、斯ウ云フヤウナ物ハドウシテモ農村カラ供出セラレバナラヌモノデアリマス、サウ云フ物ニ付キマシテ、國家ノ必需數目凡ソノ目當ヲ付ケテ、ソレヲ大臣ノ胸ニ納メテ置イテ、一應過去ノ實績ニ基イテ各町村ニ呼ビ掛ケ、町村長ノ獨自ノ見解ニ基イテ、食糧ハ此ノ程度出ス、木材ハ此ノ程度出ス、蕎麥ハ此ノ程度出ス、計畫ヲ立テサセテ、ソレヲ御集メニナツテ、町村長ガ自ラ背負ツテ立ツ、是ナラナシ得ルト云フ情報ヲ御集メニナツテ見タラドウカ、サウシテ國家ノ必需數目、町村長ガ責任ヲ負ヒ得ル數目ト間ニハ、多分相當ノ差額ガ出來ルト思ヒマスガ、其ノ差額ヲ詰寄セテ、オ勸ノ村ハモウ少シ努力ガ出來ヌカ、米ノ方デ猶對出來ナイナラバ木炭デモツト出來ナイカ、食糧出來ナイモノハ蕎麥デモウツツ努力ガ出來ナイカ、斯ウ云フコトニシテ、政府ト町村トガ本當ニ語リ合ヒ歩ミ寄ツテ、少クトモ國家ノ要請ニ應ヘ得ルダケノ働キヲスルト云フヤウナコトヲヤルコトガ非常ニ有效デアアル、今

カ存ジマセヌガ、少シ食糧ノ生産ガ増スト云フコトニナリマスレバ、サウ云フ方法ガ或ハ最も良イノデハナイカト考ヘマシテ、將來ノヤリ方ニ付キマシテハ、十分考慮致シタイト思ヒマス

○松村國務大臣 其ノ點ニ付キマシテモ、斯ウ云フヤウナコトニナリマスレバ、自然其ノ點ニモ考慮シナケレバナラヌト考ヘテ居リマス、實ハ此ノ委員會バカリデアリマセズ、其ノ問題ハ二、三四モ承リマシテ、地方一ツノ大キナ要望ニナツテ居ルノデハナイカ

ト考ヘラマスノデ、是等ノ點ニ付テハ十分ニ考慮シタイト考ヘテ居リマス

○唐橋委員 私も中上ゲルコトハ大臣ニ大體諒承サレタヤウデゴザイマスガ、此ノ際モウ一ツ御伺ヒ致シタイト思ヒマス、只今私ノ申上ゲマシタコトガ大臣ノ御諒承ヲ戴イタトシタナラバ、昭和二十一年度ノ供出ノコトハ、生産ニ即シナイ供出ガアルベキ管ガナイコトハ申スマデモナイノデアリマスガ、今日ノ町村農事會ハ蠶一

日ノ町村長ハ借リタ覺エノナイ借金ヲ拂ハサレテ居ルノデアリマス、決シテ米ヲ何程出スト言ツタ覺エガナイ、幾ラ生産スルト言ツタ覺エガナイ、サウシテ秋ニナツテ割付ケラレテ、之ヲ出サナイ者ハ町村長ニ對シテ、斯ウ言フテ難堪サレノデアリマスガ、政府ハナセ早ク町村長ニ對シテ書カセナイカ、本年度ハ益ダケノ生産ヲ必ズシマス、是ダケノコトヲヤツテ國家ノ要請ニ應ヘマセウト云フ此ノ諒解ガ付クナラバ、町村長ハ直チニ村ニ歸ツテ農業會長、農事實行組合長、凡ニ機關ト共ニ二十一年度ノ生産計畫ヲ立テテ、之ヲ完遂スベク生産ノ面カラ先ヅ計畫ヲ立テラウト考ヘルノデアリマス、私ハ此ノ際急遽ニ昭和二十一年度ニ對シマシテ、町村當局ニ向ツテ、明年度ノ生産計畫ト國家ノ要請スル必要數量トヲ示シテ生産計畫ヲ立テサセテ、サウシテ昭和二十一年ノ増産ノ完璧ヲ期シタラドウカト考ヘルノデアリマスガ、急遽ニサウ云フコトヲヤツテ見セヨウト云フ思召ハゴザイマセウカ

○村松國務大臣 私詳シイコトハ存ジマセヌガ、今日ノ計畫作付デアリマスネ、アレハサウ云フヤウナ下カラ盛上ル形ヲ縣ナリ國ナリガ今御話ノヤウニ話合ヒヲシテ作付計畫ヲ決メル、生産計畫ヲ決メル、斯ウ云フコトニナツテ居ルノデアリカト思ヒマスガ、ソレガ實際ニ行ハレナイデ、ヤハリ上カラ割付ケタ形ニナツテ町村長アタリノ責任ノアル人 意見モ聽カナイデ割付ケテ來ル、斯ウ云フコトニナツテ來ルノデアリカト思ヒマスガ、若シモサウ云フコトデアリマスナラバ、私等モ皆テ議會デモソレ等ノ問題ニ付テ聽イタ

コトガアリマスガ、出來ルダケヤハリ町村ノ實際行ヘル計畫ニ基イテヤルト云フコトニ改メタイト思ヒマス、是ハ若シモサウ云フコトデアリマスナラバ、早速歸リナイ中ニ其ノ御考ヘヲ出來ルダケ實行致シタイト考ヘテ居リマス

○唐橋委員 御考ヘニナツテ居ル所ハ、恐ラク作付ノ割當等ヲナサツテ居ルコトハ、サウ云フヤウナ意味ヲ多分ニ含シテ居ルコト云フコトハ、私モ十分承知致シ居リマス、併シナガラ膝詰ノ談合ト申シマスカ談判ト申シマスカ、其ノ點ニ付テハ全ク上カラノ割當デアリ、引受ケテ來ダケノモノヲ、是ダケ作ルノダツト云フ、斯ウ云フノガ、今日ノ實情デハナイカト思フ、ソコデ町村長ニハ味ガアリマセヌ、仕事ヲヤルノニ味ガアリマセヌ、デアリマスカラ、是ハ是非一國一城ノ主トシテ町村長ヲ取扱ツテ戴キマシテ、其ノ村々ノ特質ヲ十分ニ活カス、例ヘバ迎モ私ノ村デハ米ハ是レ以上出セナイガ、炭ナラモウ少シ出シマセウト云フヤウナ見當デヤツテ戴キタイト思フノデアリマス、此ノ見地ニ立ツテ、取敢ヘズ二十一年度ニ於テサウ云フ計畫ヲ立テサセテ見ル、更ニ町村長自體ヲ以テ其ノ町村ノ農産物ノ増産並ニ供出計畫ニ付テ五箇年計畫位ノモノヲ各町村ニ樹立セシメラレマシテ、サウシテ今年ノ供出ハ是ヨリ以外ニ出來ナイガ、私ノ村ニハ開墾スレバ是ダケノモノガ出來ル、溜池ヲ造レバ是ダケノ水田ガ出來ルト云フヤウナモノヲ、其ノ計畫カラ計畫ヲ立テシメマシテ、其ノ計畫ニ即應シタル補助、助成ヲナサル、斯ウ云フコトガ宜シイノデアリカラウカト考ヘルノデゴザイマスガ、此ノ開墾或

ハ土地改良等ノ問題ノ如キモ、事實ハ一ツノ側面主義デゴザイマシテ、客土ヲスレバ宜イ所ニ暗渠排水ヲヤリ、暗渠排水ヲヤレバ宜イ所ニ客土ヲヤルト云フヤウナコトデ、折角割當ラレタモノヲ達成シナイノモ残念デアリ、サレバト申シテ達成シヨウト思ヘバ實情ニ即セザルヤウナコトモ往々ニシテ行ハレテ居ルノデゴザイマス、歸スル所私ノ申上ゲマスルコトハ、モット町村長、農業會長ト云フヤウナモノヲ大キク御信頼ニナツテ、サウシテ自主ノ計畫ヲ立テサセテ、ソレカラ色々中央カラ御計畫ニナル、開墾或ハ土地改良等ノ如キモ、唯

割當主義ト云フヤウナコトデナクヤツテ戴ク、又細カナ補助金、先刻色々御話ガ出マシタガ、畜産ノ獎勵ニセヨ、養鶏ノ獎勵ニセヨ、餘リニ細カナモノヲ數々ノ助成ヲナサラズニ、町村自體ガ立テサウシタ生産並ニ供出ノ計畫ニ對シマシテ、大マカニ助成金ト云フヤウナモノハ町村長ノ手腕ニ任セテ之ヲ交付スルト云フヤウナ建前ヲ御執リニナルコトニ依ツテ、私ハ今後ノ本當ノ民主主義農村ガ生レテ來ルト考ヘルノデゴザイマス、是等ノ點ニ付テ大臣ノ御意見ヲ伺ヒタイト思ヒマス、更ニモウ一ツ此ノ機會デゴザイマスカラ附加ヘテ申上ゲマスガ、サウシタ計畫ヲ以テ進ンデ參リマス爲ニハ、町村長ト農業會長トノ關係ト云フモノハ、相當ニ是ハ重要ナコトニ相成ツテ參ルト思フノデゴザイマス、今回ハ特ニ町村民ノ農業會員ノ意思ニ依ツテ、選舉ニ依ツテ出テ參リマス所ノ役員カ出テ參ルト云フコトデアリマスルガ、其ノ結果ニ依ツテハ一町村ノ當局ト農業會長トノ間ノ關係ノ點ニ於テ缺クルヤウナ

結果ニナル懸念ハナイカ、斯様ニ考ヘルノデアリマスガ、莫クハ農業會長ハ町村長ヲシテ兼務セシムルノガ適當デアルト考ヘルノデゴザイマスルガ、之ニ對シテノ御所見ハ如何デゴザイマスカ

○村松國務大臣 大體御話ノヤウニ運ビタイト考ヘテ居リマス、先刻申シマシテ、出來ルダケ本當ノ實行性ノアル計畫ニ基イテヤリタイ、補助ノ御話ノヤウナ點ハ、是ハ事實私共其ノ弊害ヲ認メテ居ルノデゴザイマシテ、出來得ルナラバ御話ノヤウニ漸次變ヘテ行クコトガ、非常ニ效果的デアラウト考ヘテ居リマス、ソレカラ町村長ト農業會長ヲ一ツニ兼ネシムルト云フコトニ付キマシテハ、是マデ色々議論ノアル所デアリマスガ、大體ニ於テサウ云フコトハ宜カラウカト存ジマスケレドモ、今日此ノヤウニ民主主義ト申シマスカ、農業會員ノ考ヘ方ヲ基礎トセネバナラヌニ於キマシテハ、サウ云フコトハ望マシキコトト思ヒマスケレドモ、サウ云フコトヲ選舉ニ依ラズシテ決メルト云フコトハ如何ナモノカト存ジテ居ル次第デアリマス

○川崎委員 此ノ際申シ上ゲマス、大臣ハ餘程時間ヲ御急ギナサルヤウニ思ヒマスカラ

○唐橋委員 私ノ質問ハ是デ終リマス

○川崎委員 又ト加藤君一人殘ツテ居ルノデスガ、ソレデハ大臣ガ非常ニ御急ギノヤウデアリマスカラ、今日ハ是デ散會ヲ致シマシテ、明日ノ朝十時カラ開會ヲ致シマス

午後六時十二分散會